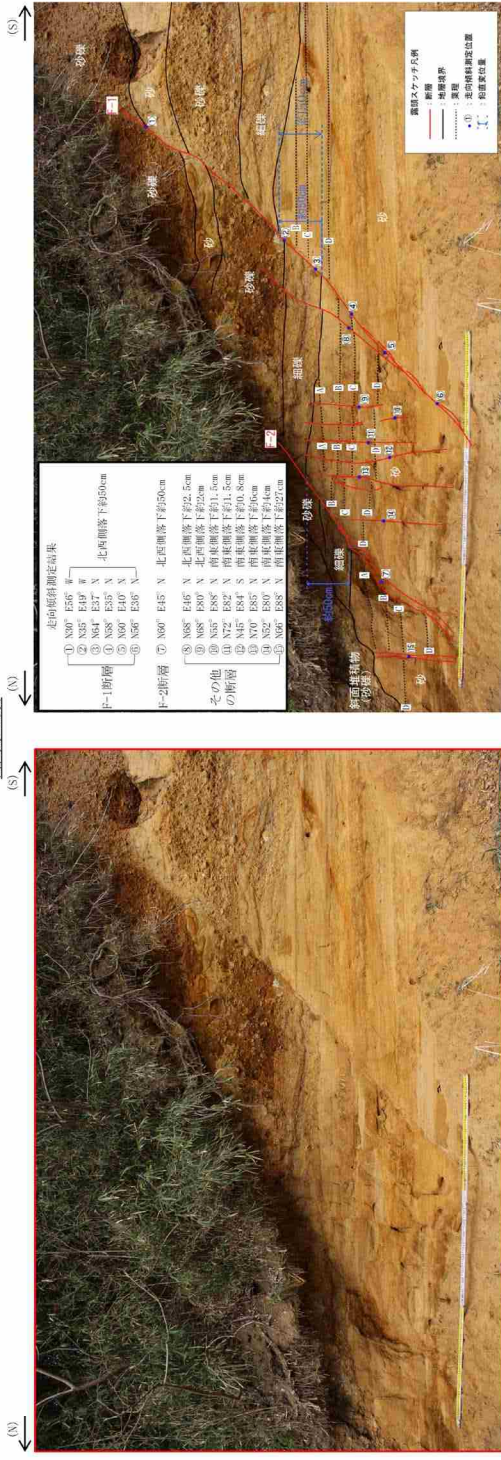




露頭全景



断層部拡大

露頭スケッチ (断層部)

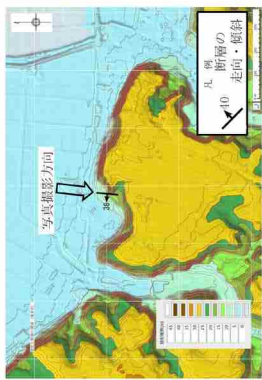
①F-1及びF-2断層の走向と砂丘頂の斜面の方向は、NE-SWで概ね一致しており、傾斜は右上部で約56° W、露頭下方に向かって緩くなり、最下部で約36° Nと、円弧状の形態を呈する。

②F-1及びF-2断層の鉛直変位量はいずれの対比基準面についても概ね同様で、約50cm北西側低下であり、変位の連続性は認められない。

③また、これらの断層の上盤側には、ほぼ同様な走向で主に高角度傾斜の小規模な断層が多数認められる。これらの断層は主に南東側落下数cmの変位を示し、幅1mm程度開口している部分もあり、上端、下端はF-1及びF-2断層を越えて連続しない。

④F-1断層とF-2断層間の砂層の葉理構造は、これらの断層によってF-1断層に向かって階段状に低下していることから、F-1断層とF-2断層間に見られる小規模な断層は、上盤が南東側に傾き下る回転により形成されたものと推測される。

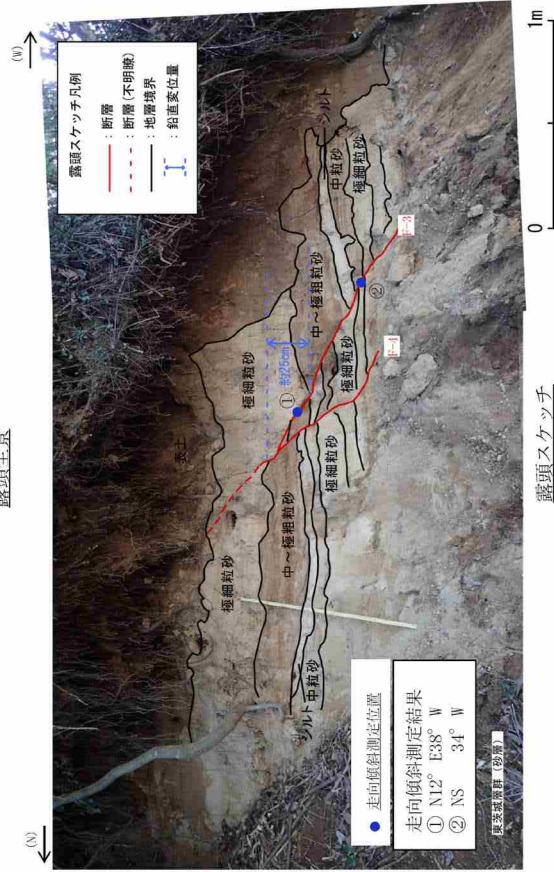
第3.2.139 図 露頭スケッチ (大貫池北方)



②海老沢



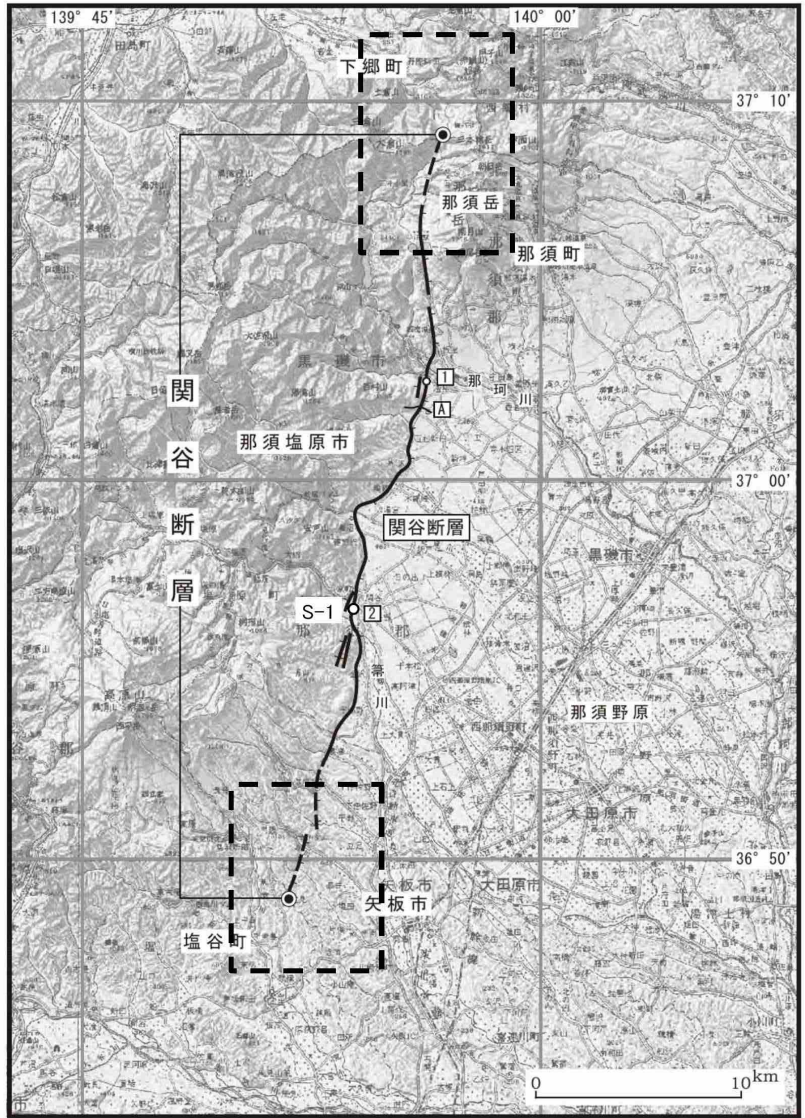
露頭全景



露頭スケッチ

露頭の西端にF-3及びRF-4断層が認められる。
 F-3及びRF-4断層は段丘崖の斜面表層部に位置し、斜面の傾斜方向へ変位する正断層である。
 F-3及びRF-4断層の走向と段丘崖の斜面の方向はN-S方向で概ね一致しており、傾斜は上部で約38° W、露頭下方に向かって緩くなり、下部で約34° Wと円乳状の形態を呈する。
 鉛直変位量は約25cm西側低下である。

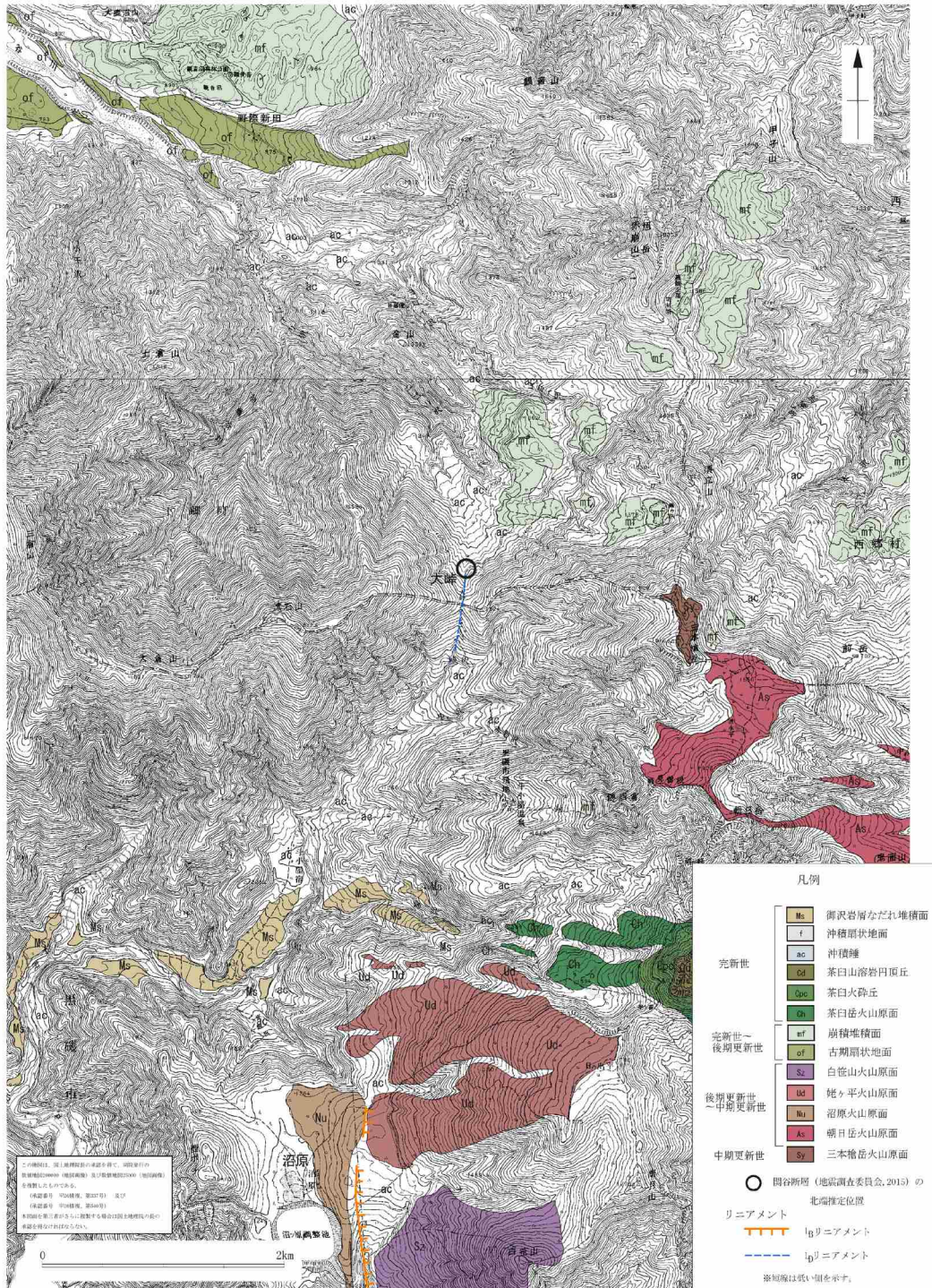
第3.2.140 図 露頭スケッチ (海老沢)



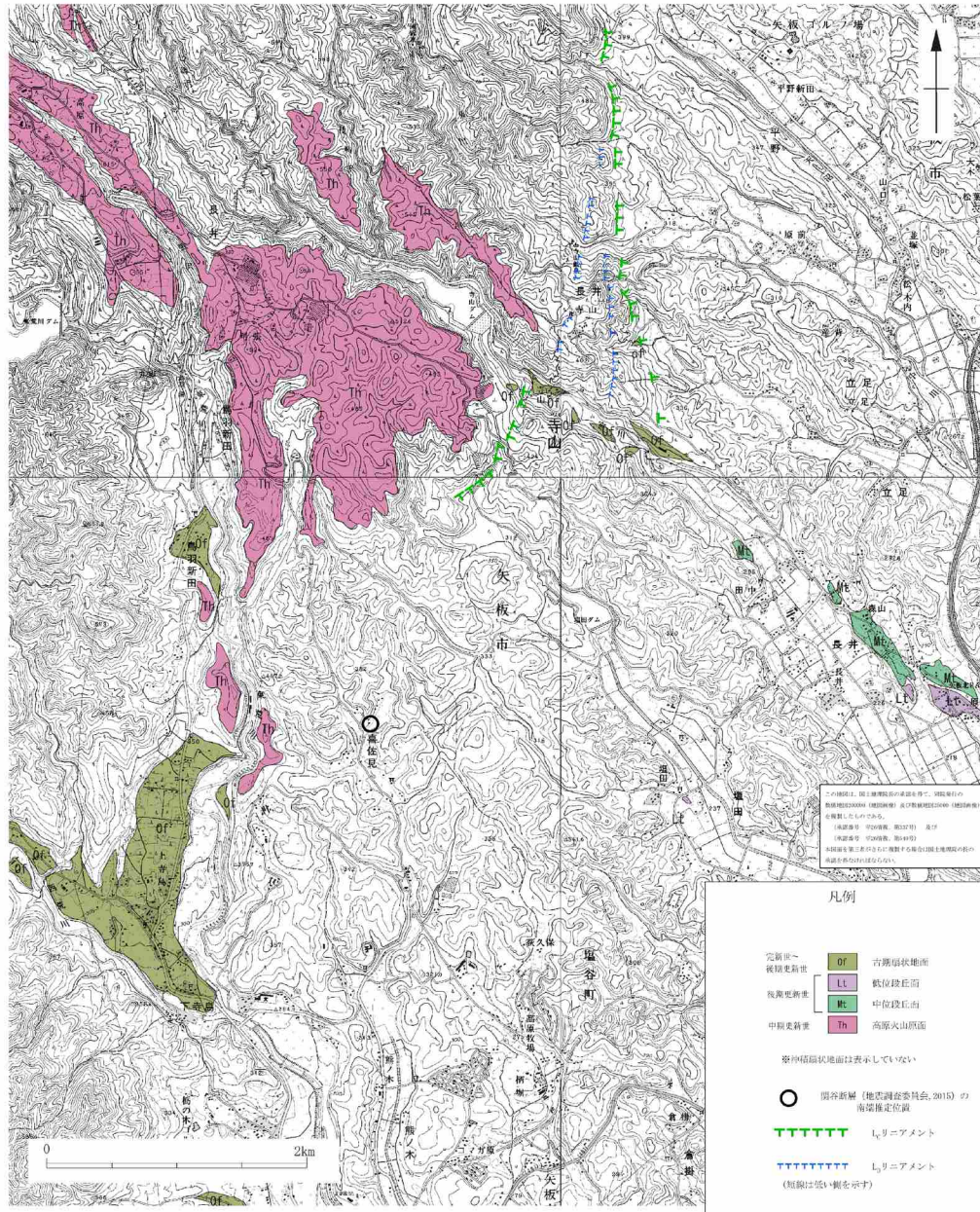
- ①~②: 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された調査地点
(1: 百村地点、2: 関谷地点)
- △: 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された反射法弾性波探査測線
- : 「関谷断層の長期評価(一部改訂)(2015)」による断層帯の北端と南端

凡例	
○	スケッチ箇所
△	変動地形調査範囲
S-1	地点番号

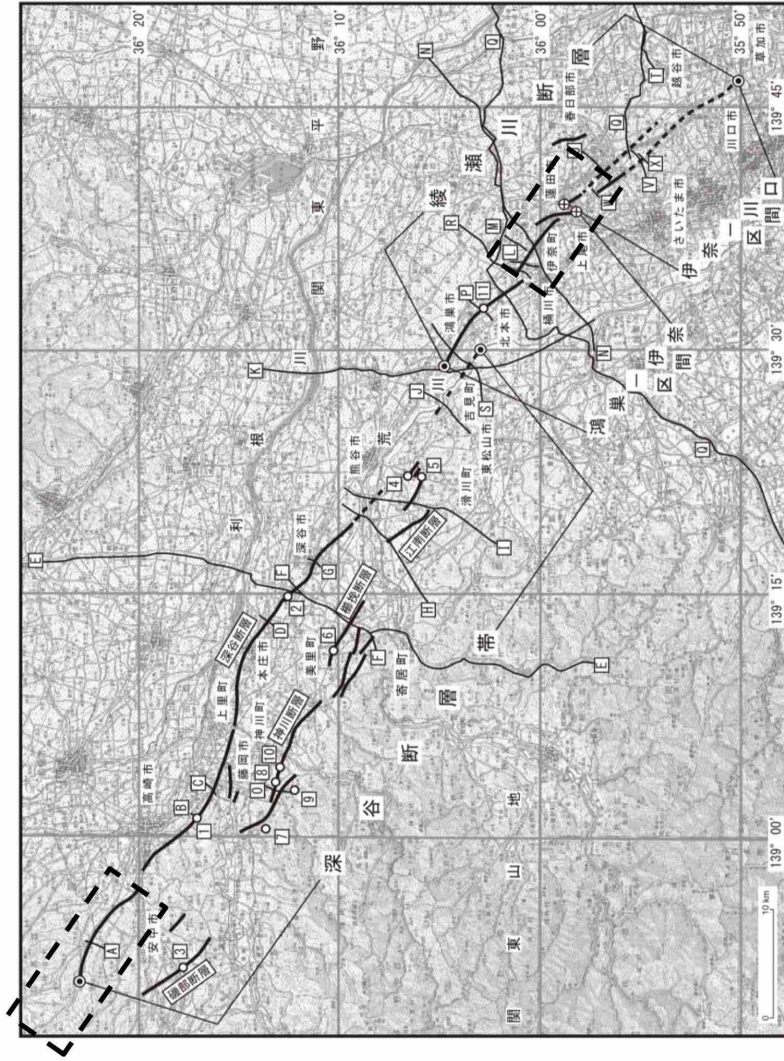
第3.2.142図 関谷断層調査位置図 (「地震調査委員会」(2015)に一部加筆)



第 3.2.143 図 関谷断層北端部付近の変動地形学的調査結果



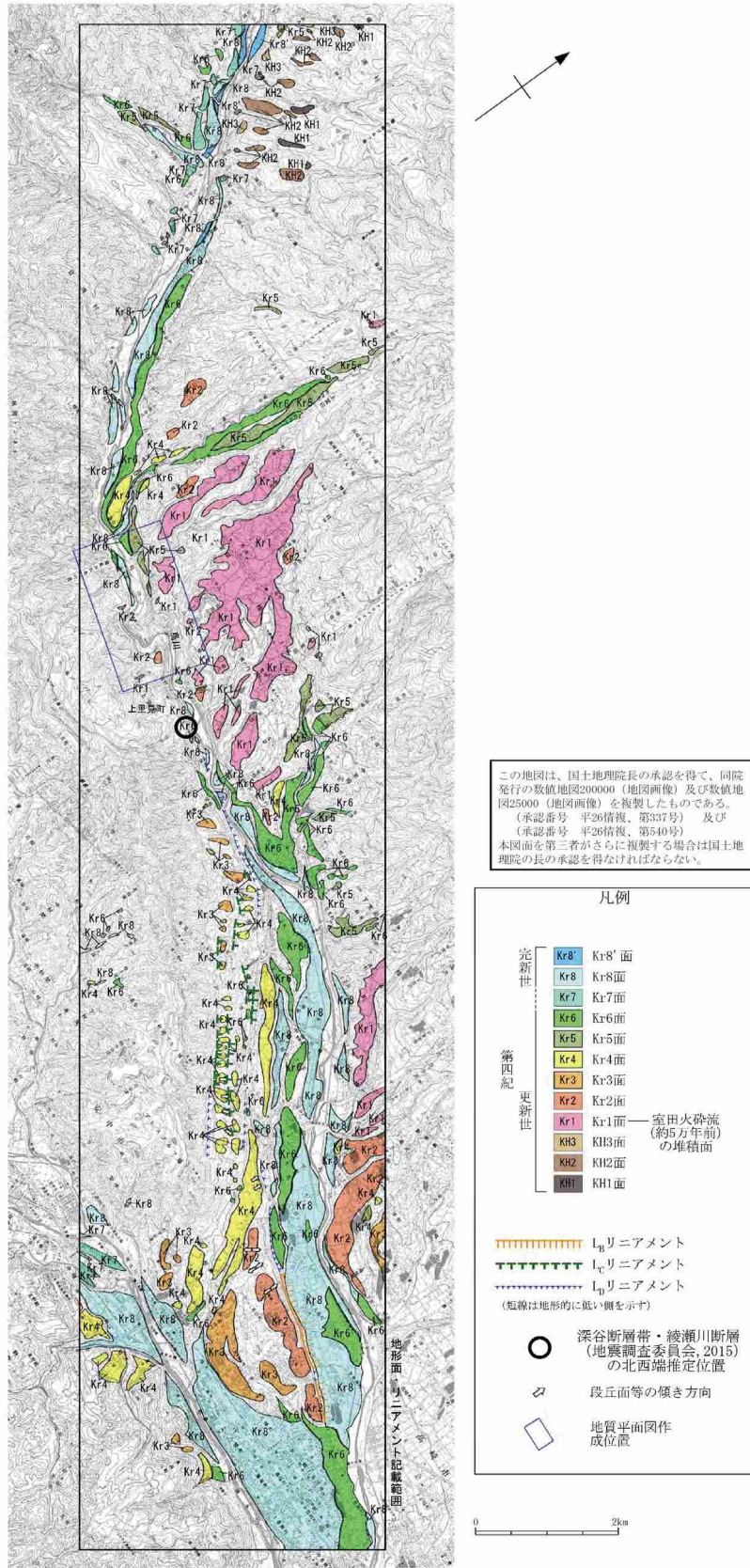
第 3.2.144 図 関谷断層南端部付近の変動地形学的調査結果



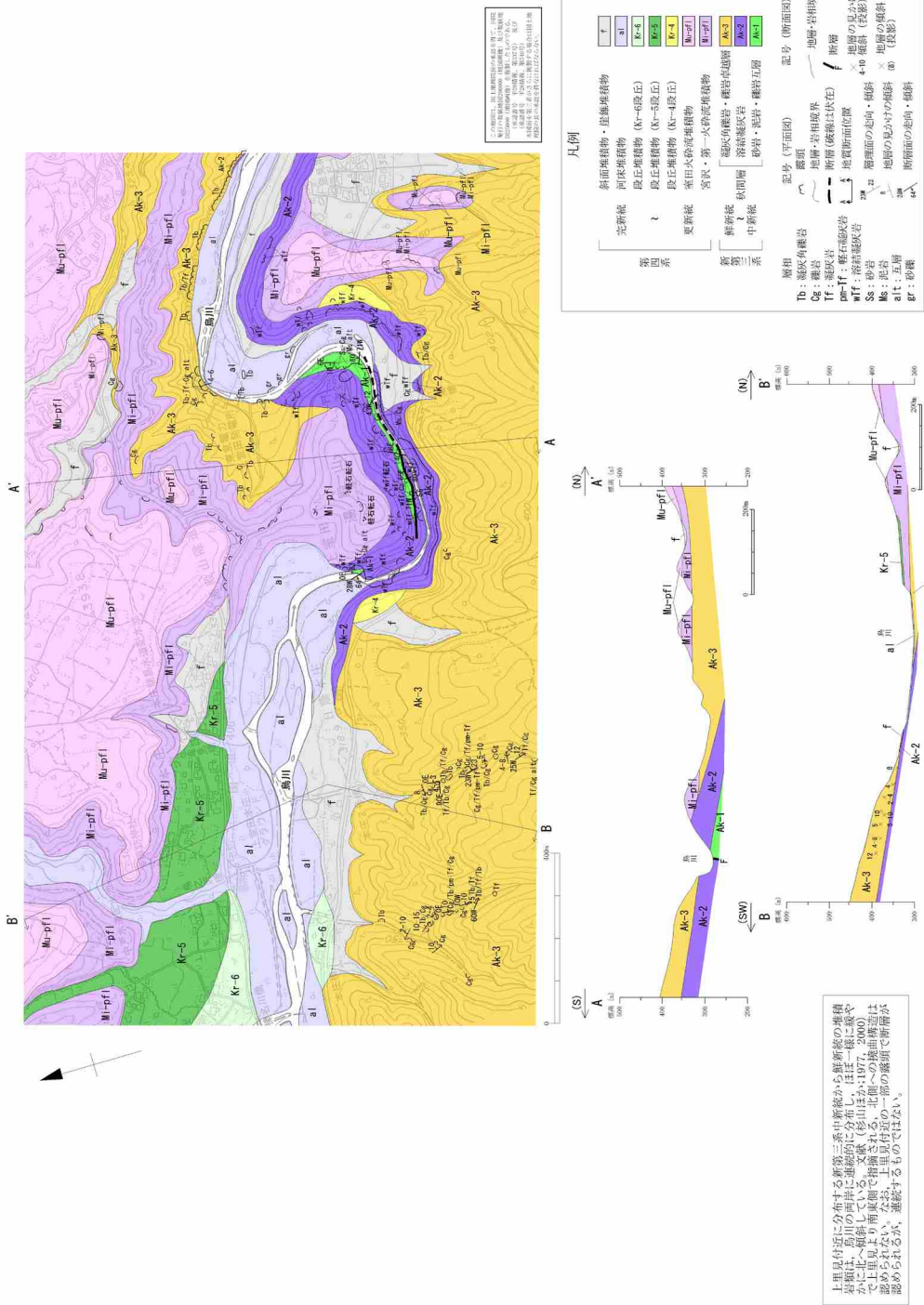
- ⑨ : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された調査地点
- △⑩ : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に記載された反射法弾性波探査測線
- : 「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」による断層帯の北西端と南東端

□ : 変動地形的調査等範囲 (「深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯)の長期評価(一部改訂)(2015)」に一部加筆)

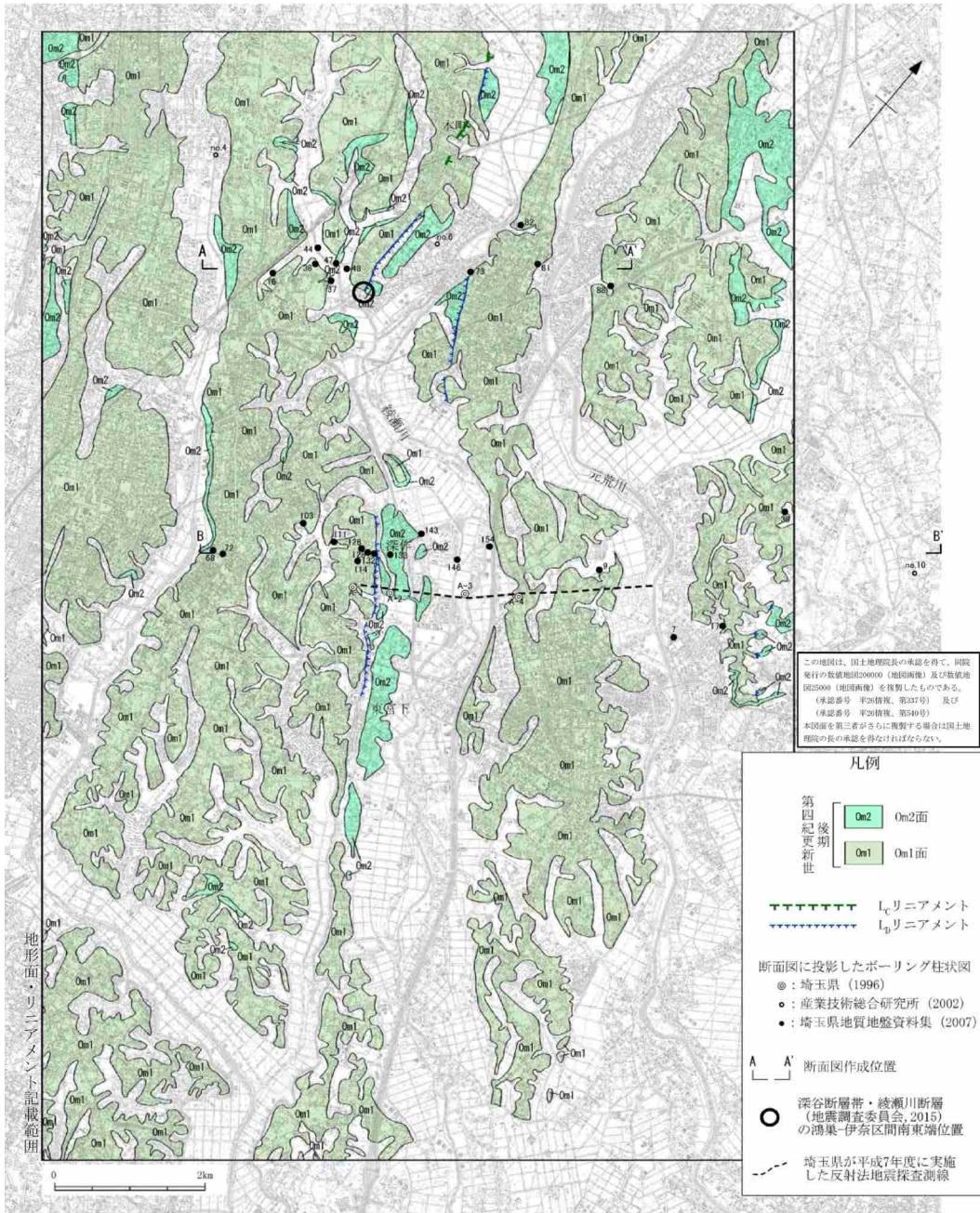
第 3. 2. 146 図 深谷断層帯・綾瀬川断層調査位置図 (「地震調査委員会」(2015)に一部加筆)



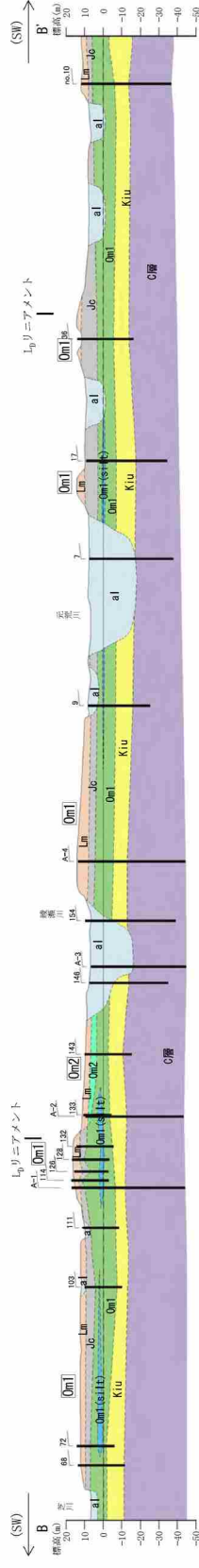
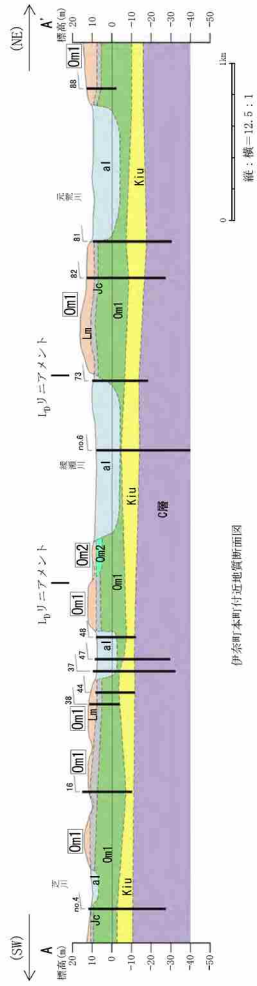
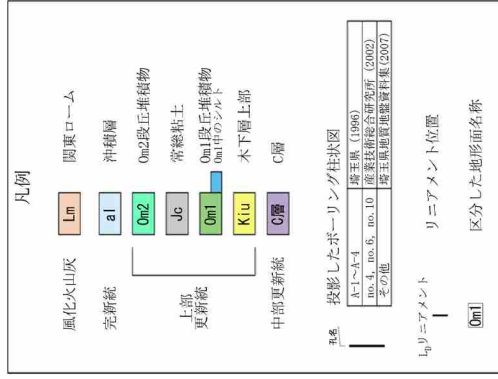
第 3. 2. 147 図 深谷断層帯・綾瀬川断層北西端部周辺の変動地形学的調査結果



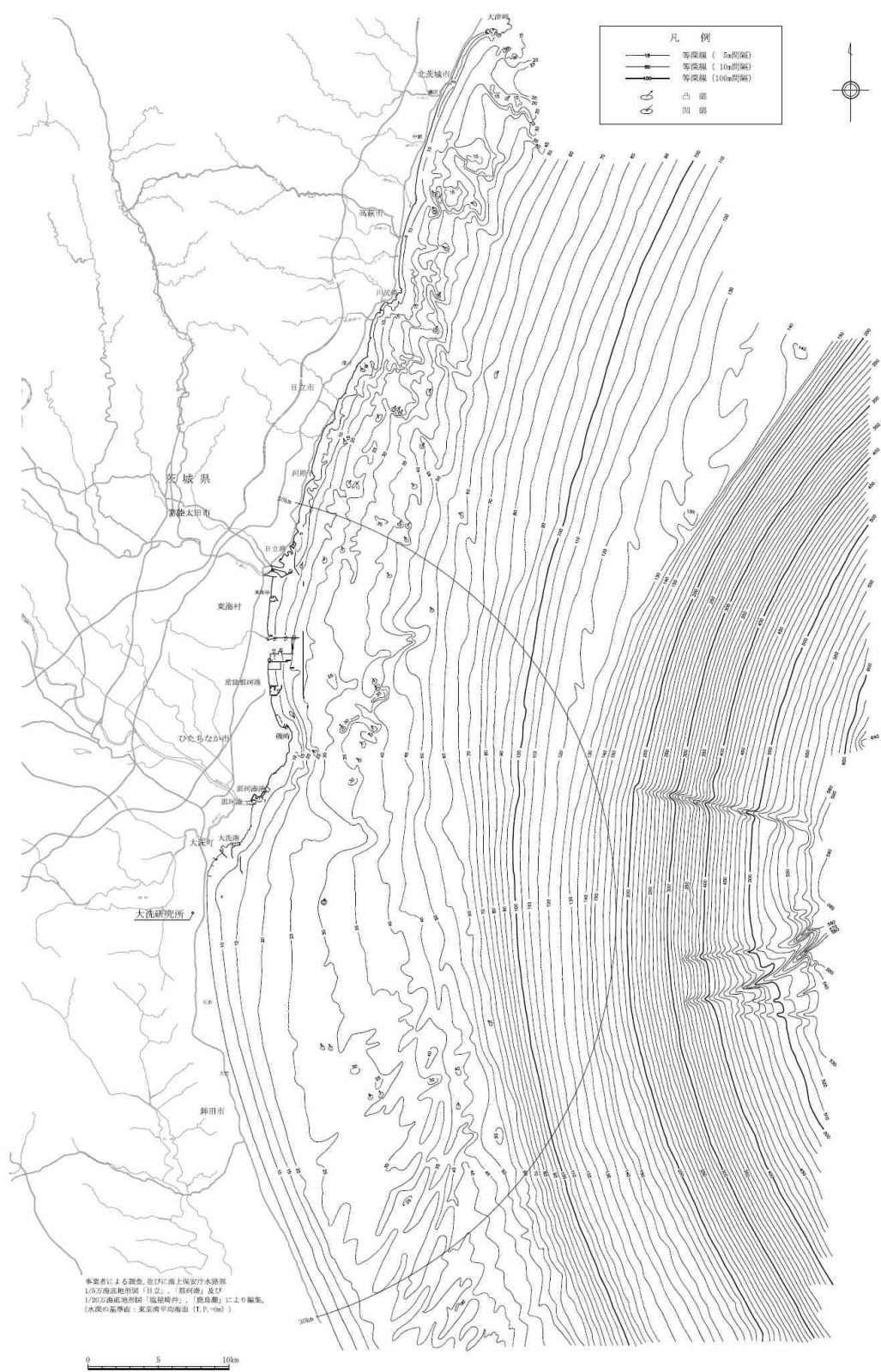
第 3. 2. 148 図 深谷断層帯・綾瀬川断層北西端部 (上里見町付近) の地質図及び地質断面図



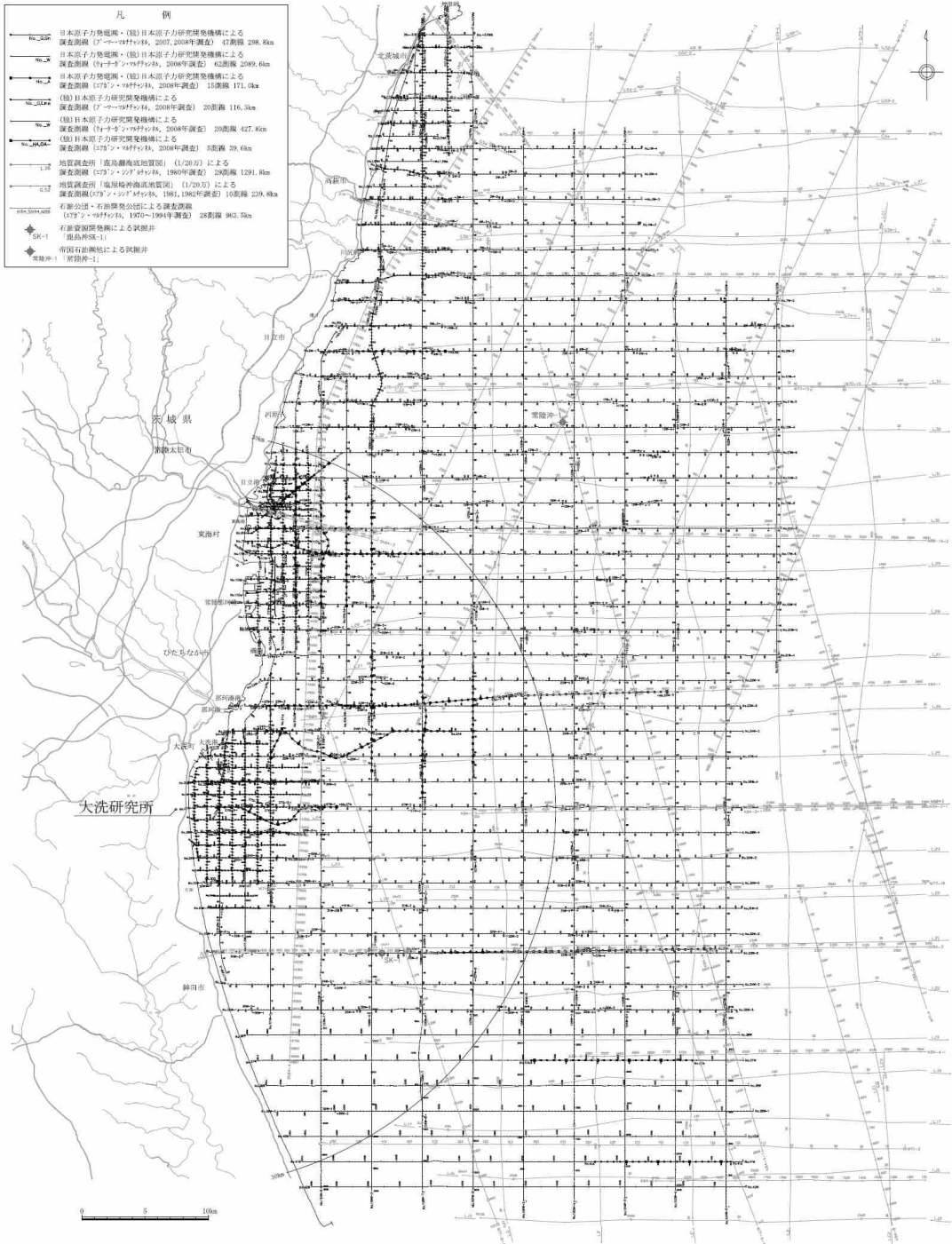
第3.2.149図 深谷断層帯・綾瀬川断層南東端部周辺の變動地形学的調査結果



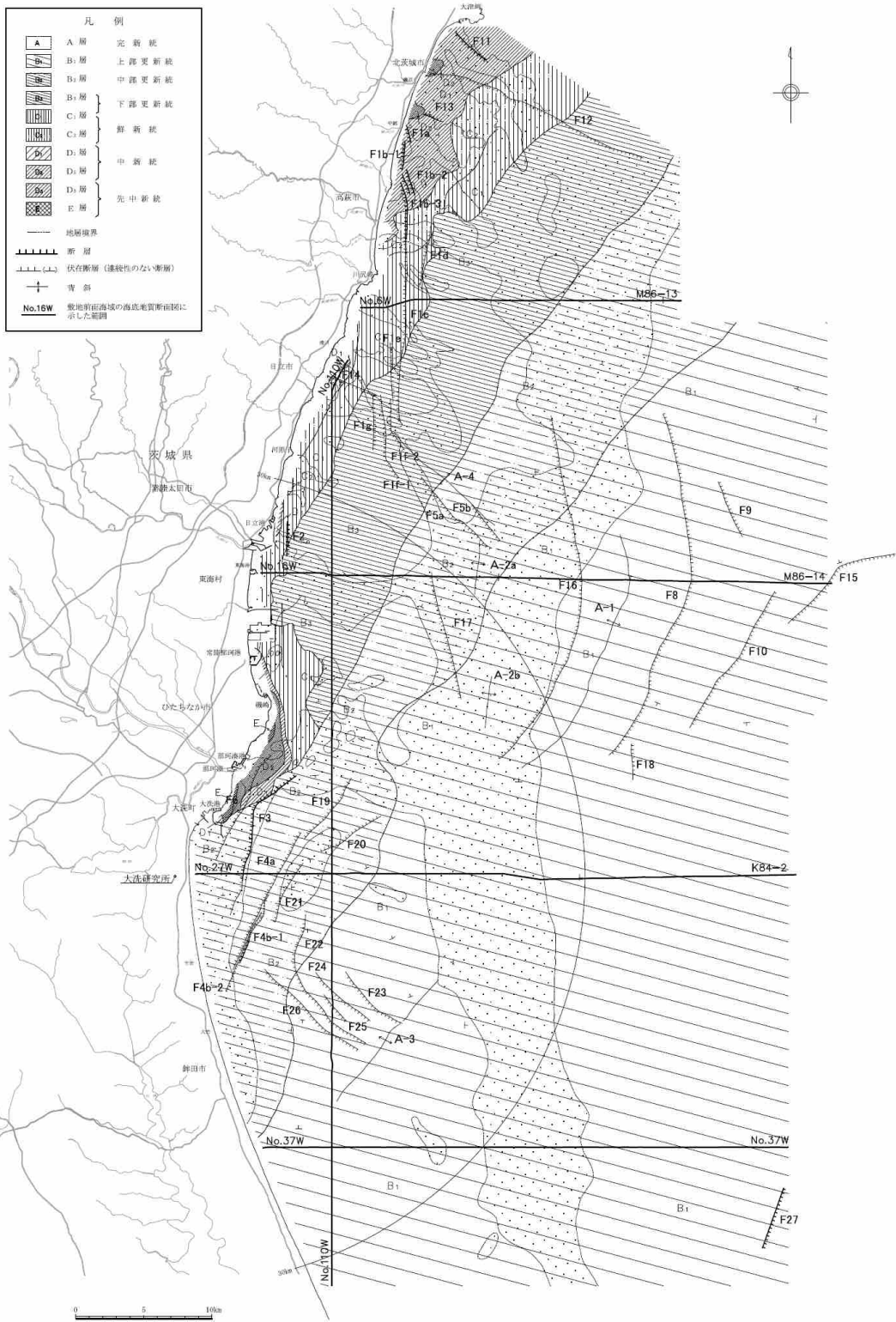
第 3.2.150 図 深谷断層帯・綾瀬川断層南東端部周辺の地質断面図



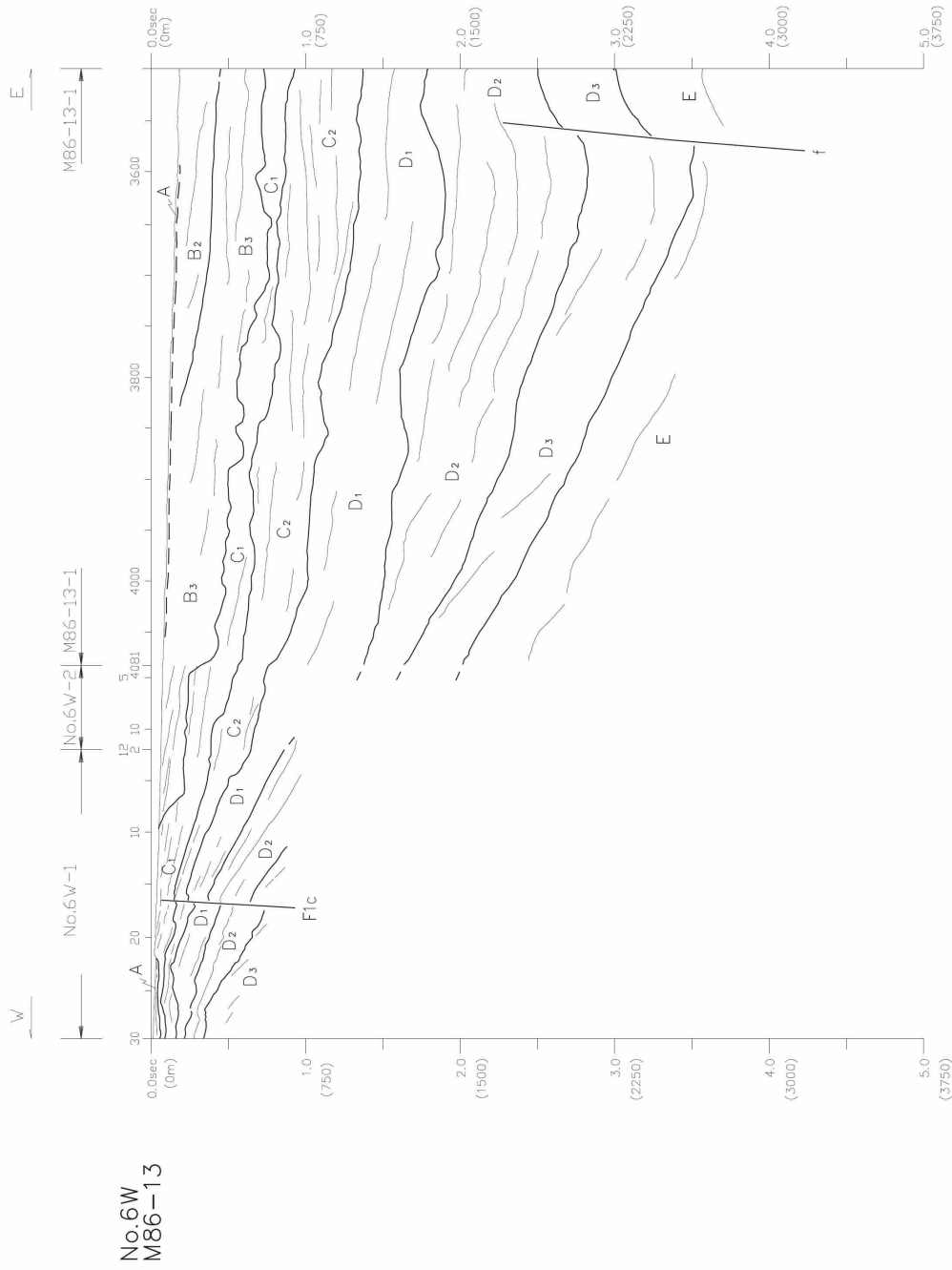
第3.2.151 敷地前面海域の海底地形図



第 3. 2. 152 図 敷地前面海域の海上音波探査測線図

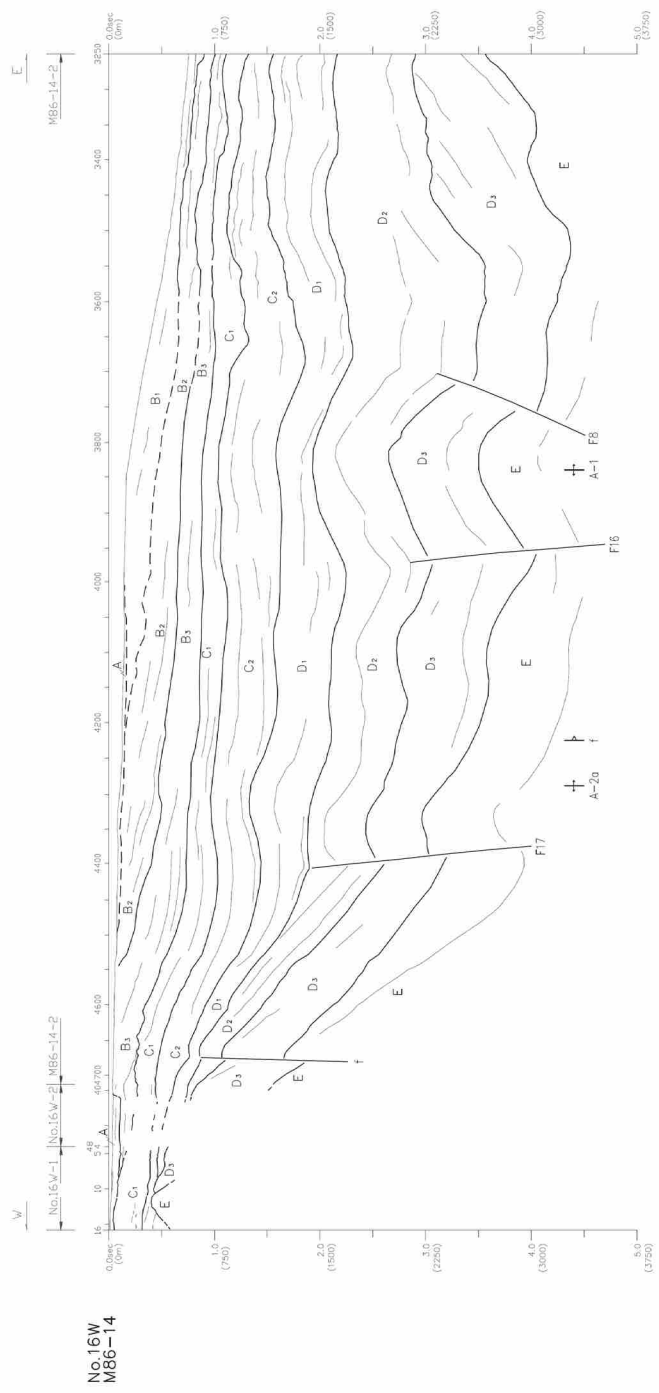


第3.2.153 敷地前面海域の海底地質図

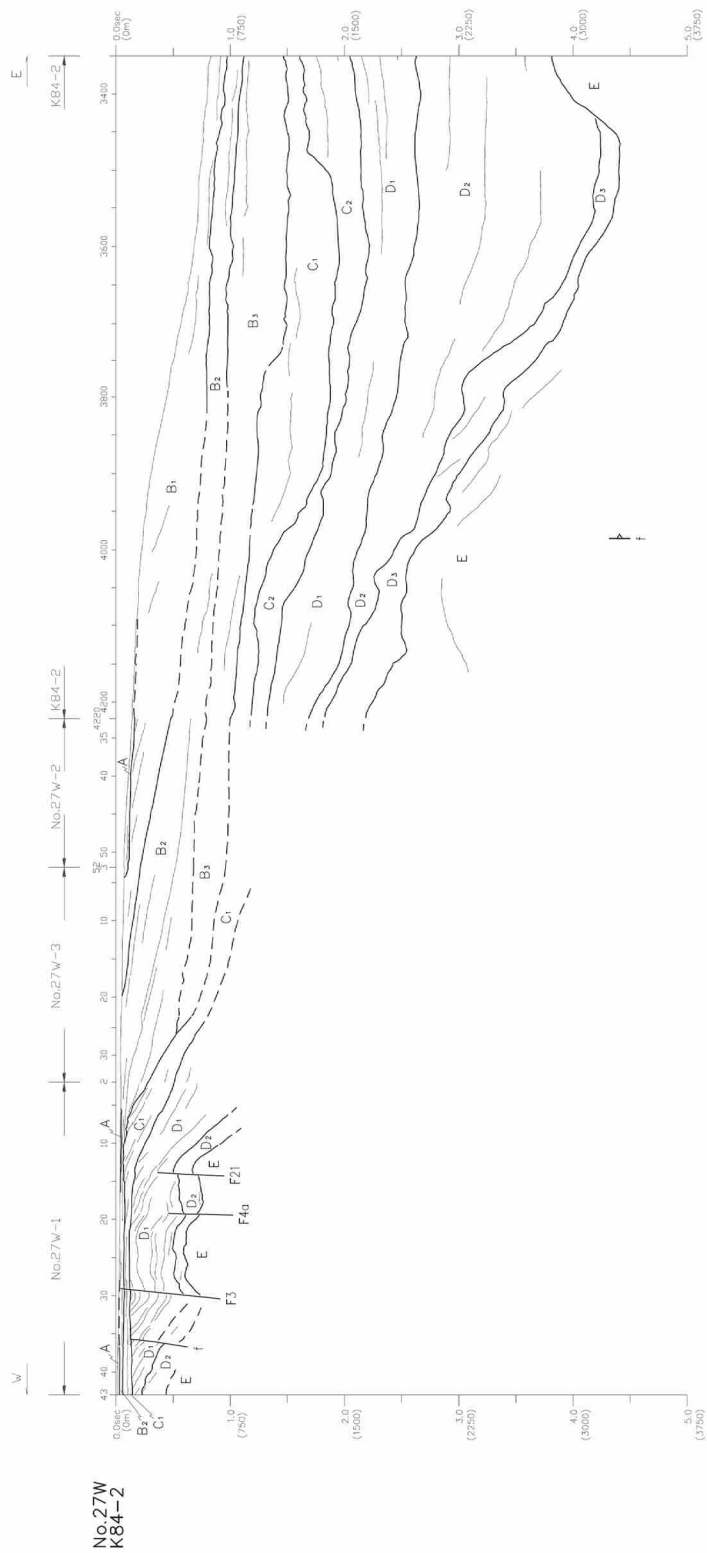


No.6W
M86-13

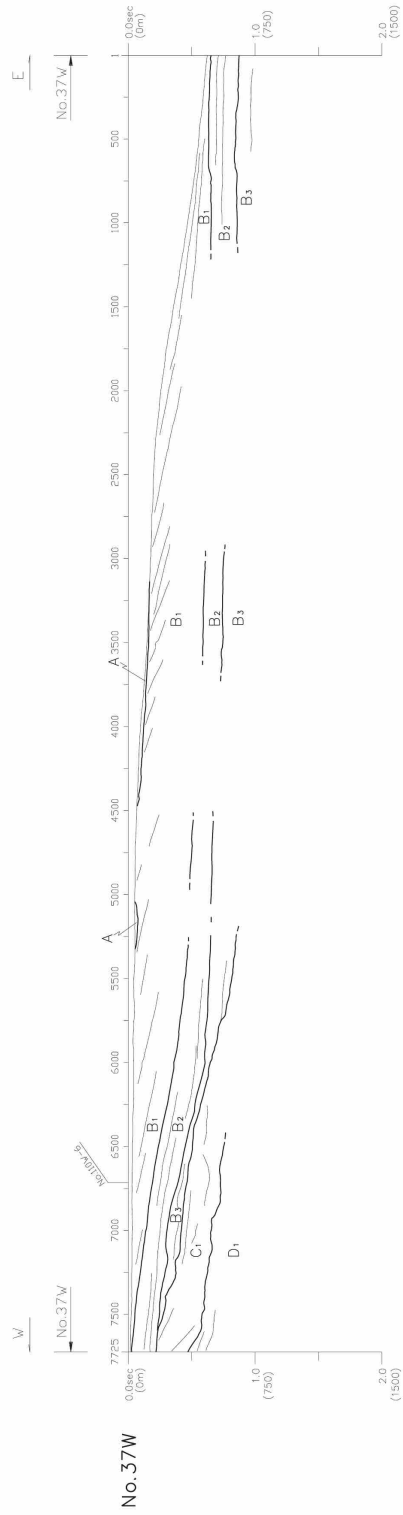
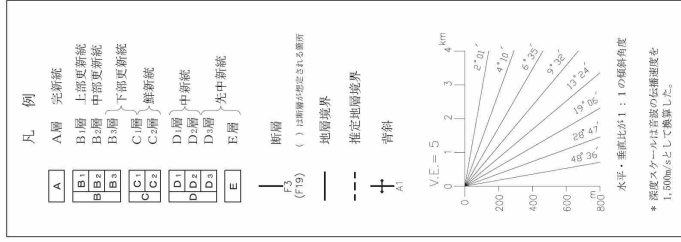
第3.2.154図(1) 敷地前海域の海底地質断面図 (その1)



第3.2.154図(2) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その2)



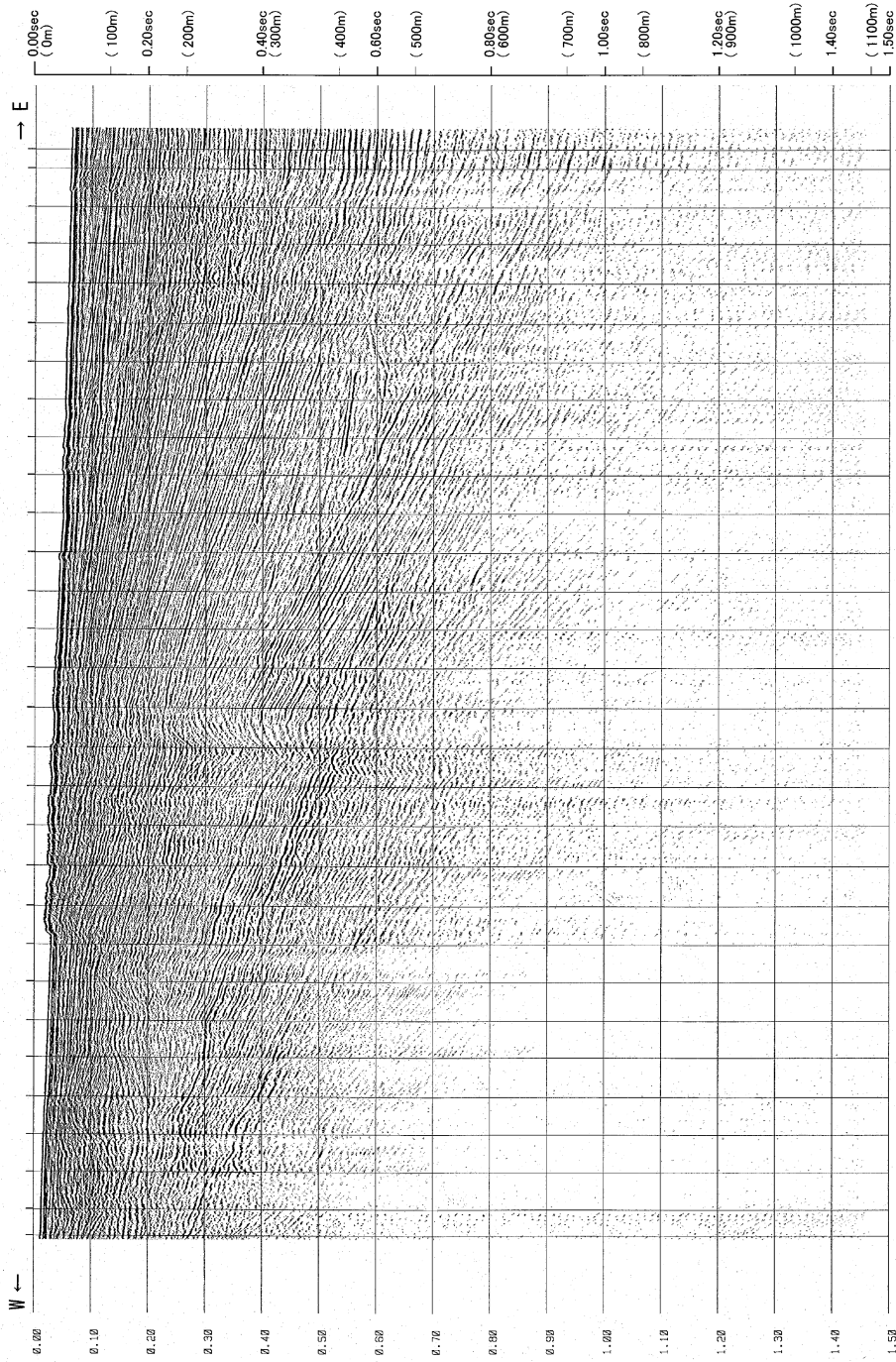
第3.2.154 図(3) 敷地前面海域の海底地質断面図 (その3)



第 3. 2. 154 図 (5) 敷地前海域の海底地質断面図 (その 5)

No. 6W-1
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

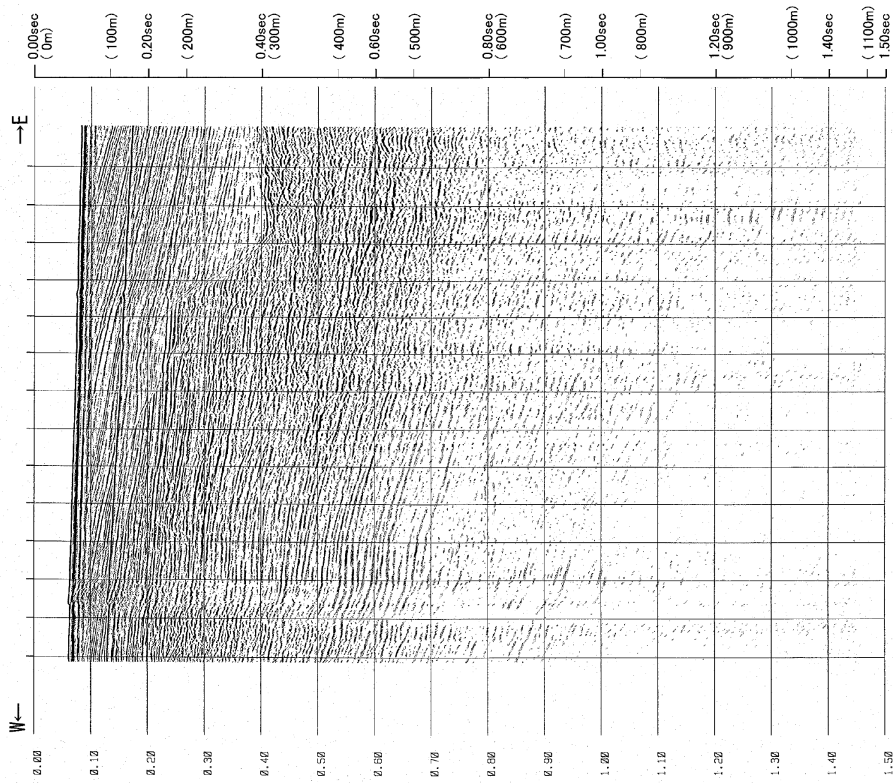
EVENT 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2



第 3. 2. 155 図(1) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.6W-1)

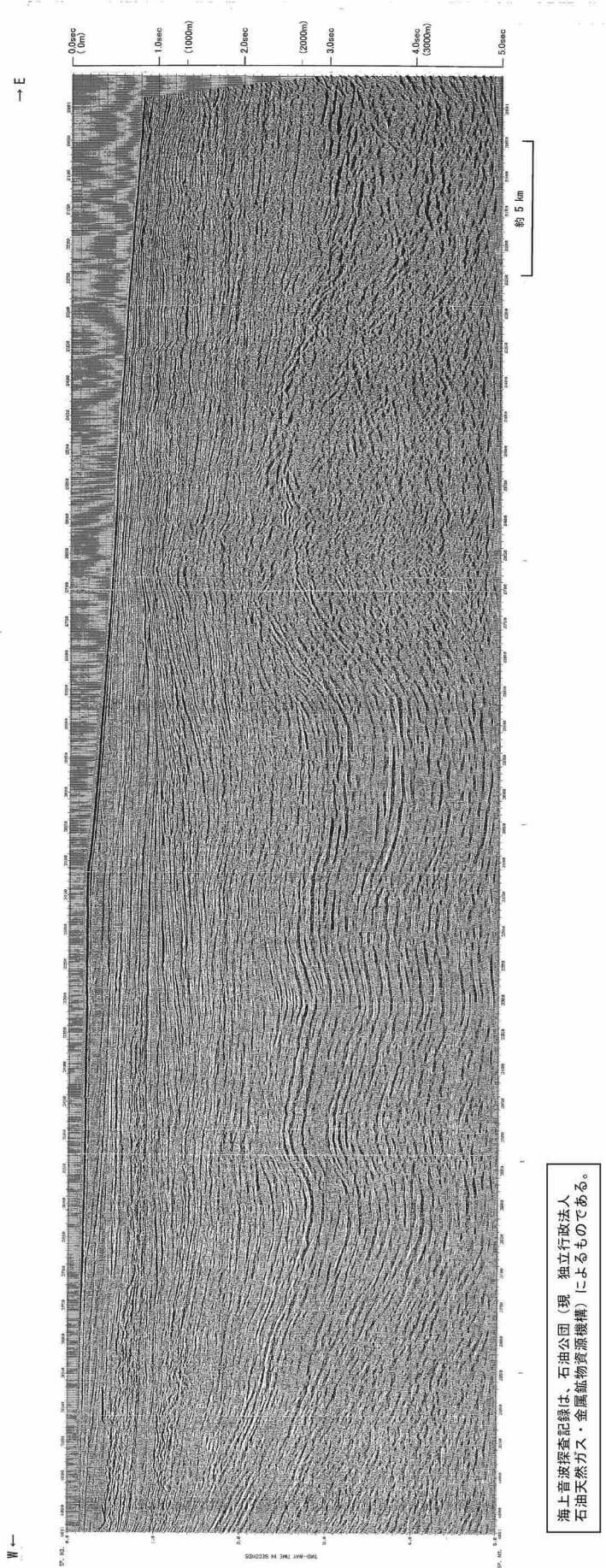
No. 6W-2
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

EVENT 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3



第3.2.155図(2) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.6W-2)

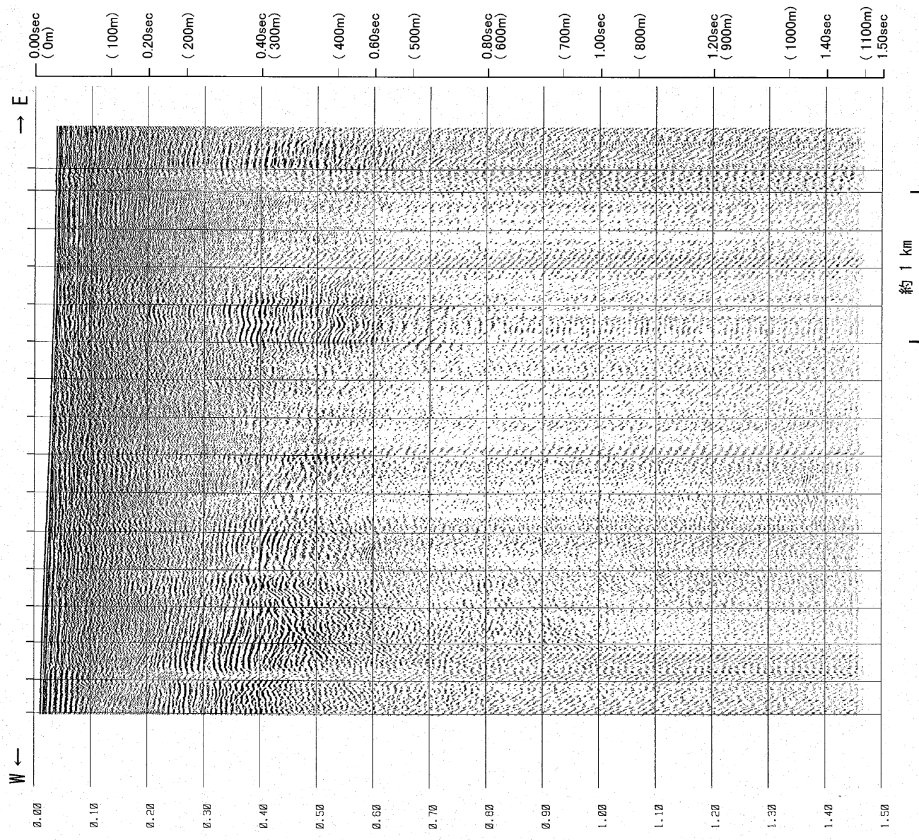
M86-13-1
 石油公団(1986)
 エアガン



第 3. 2. 155 図 (3) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (M86-13-1)

No. 16W-1
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

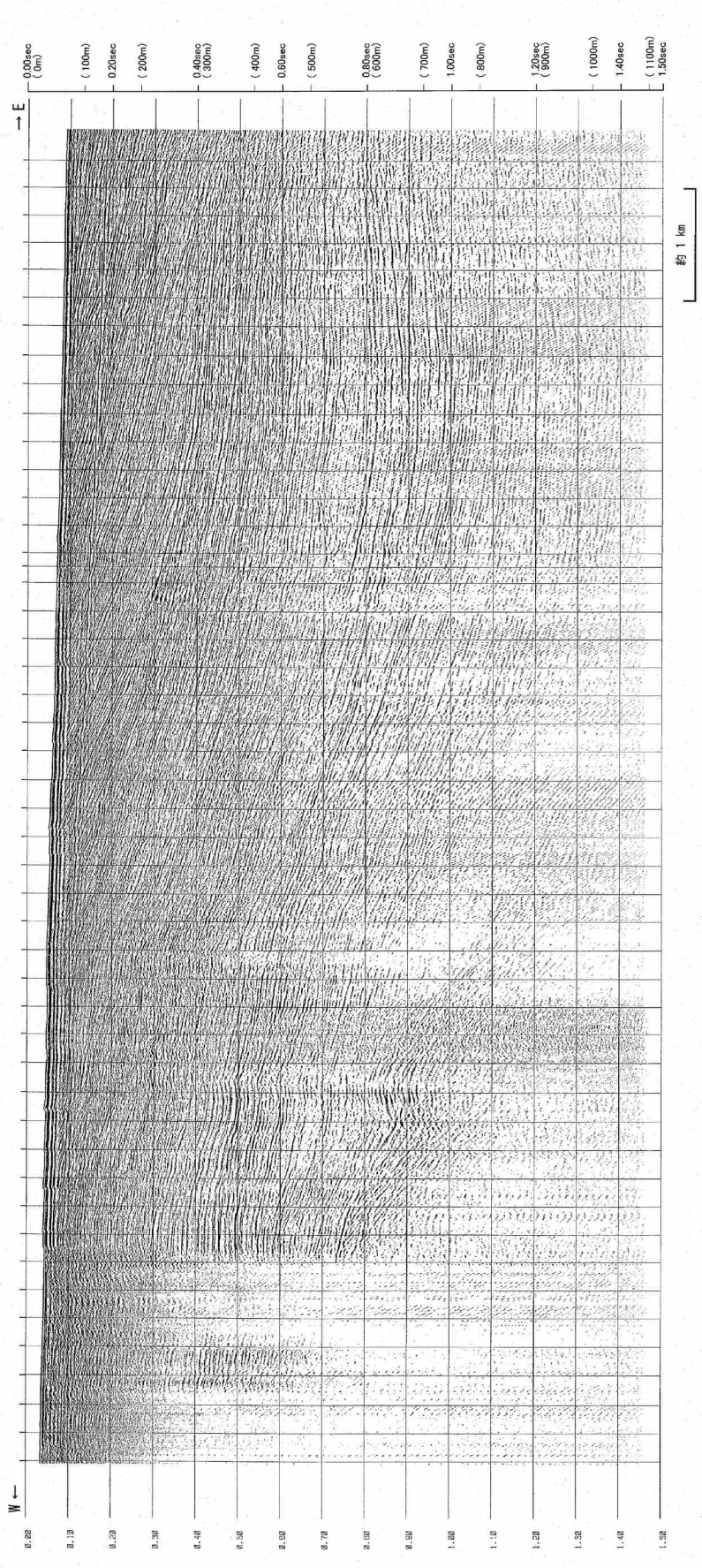
EVENT 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4



第 3. 2. 155 図 (4) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.16W-1)

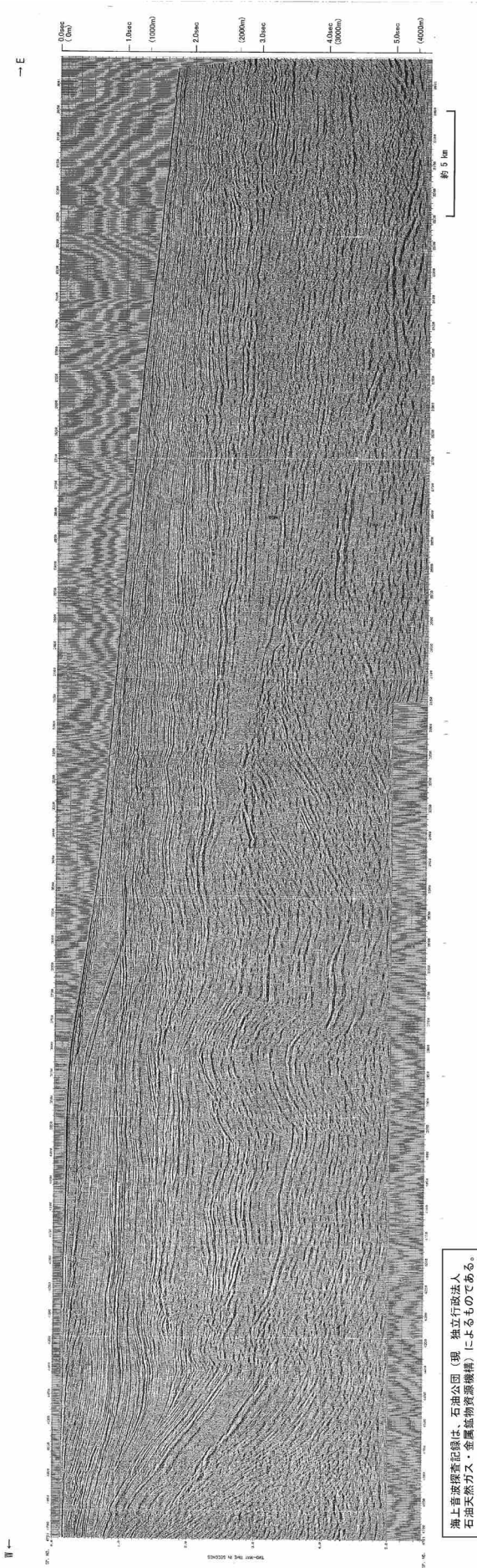
No. 16W-2
 原簿: JAEA0008
 ウォーターガン

EVENT 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2



第 3. 2. 155 図 (5) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No. 16W-2)

M86-14-2
石油公団(1984)
エアガン

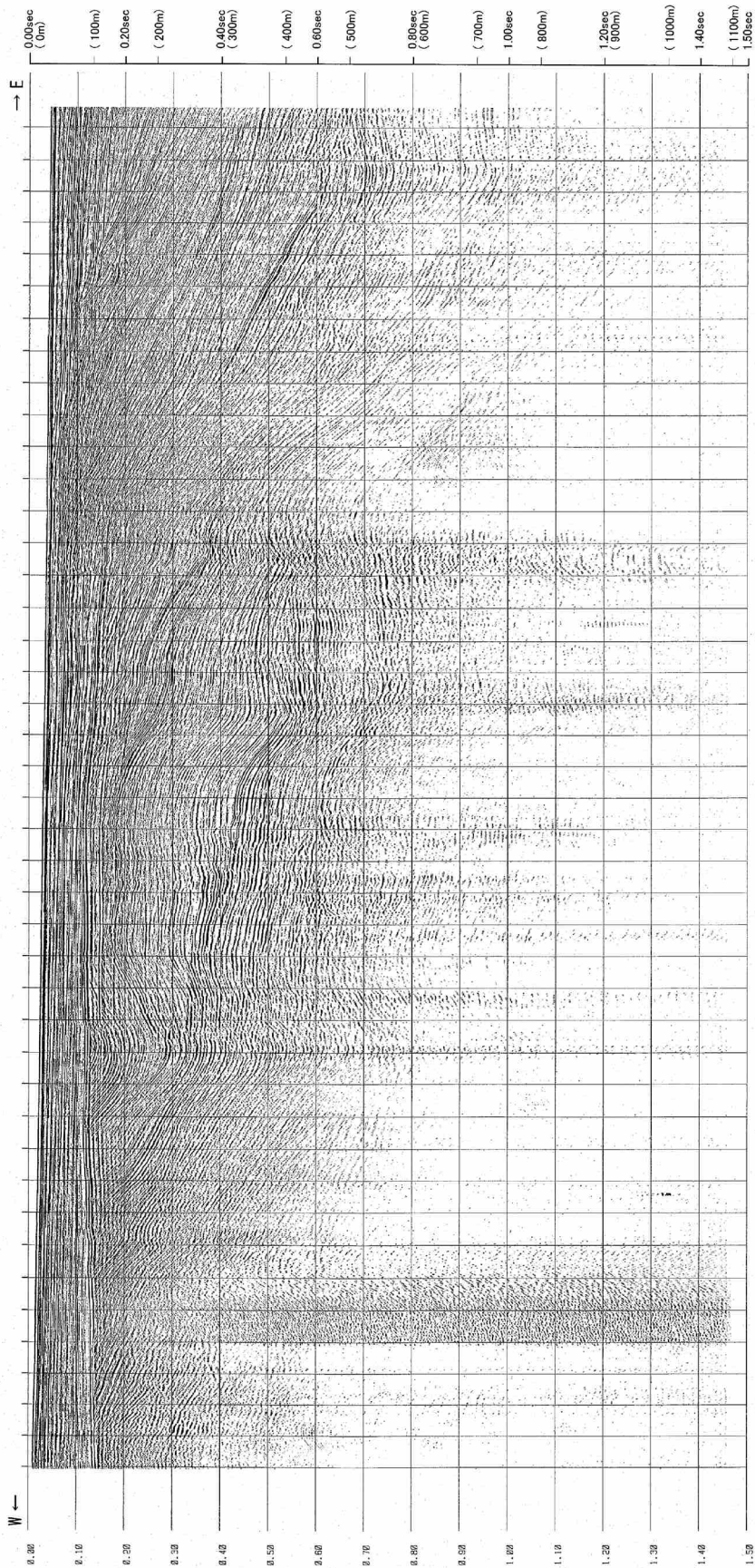


海上音波探査記録は、石油公団（現、独立行政法人、石油天然ガス・金属鉱物資源機構）によるものである。

第 3. 2. 155 図 (6) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (M86-14-2)

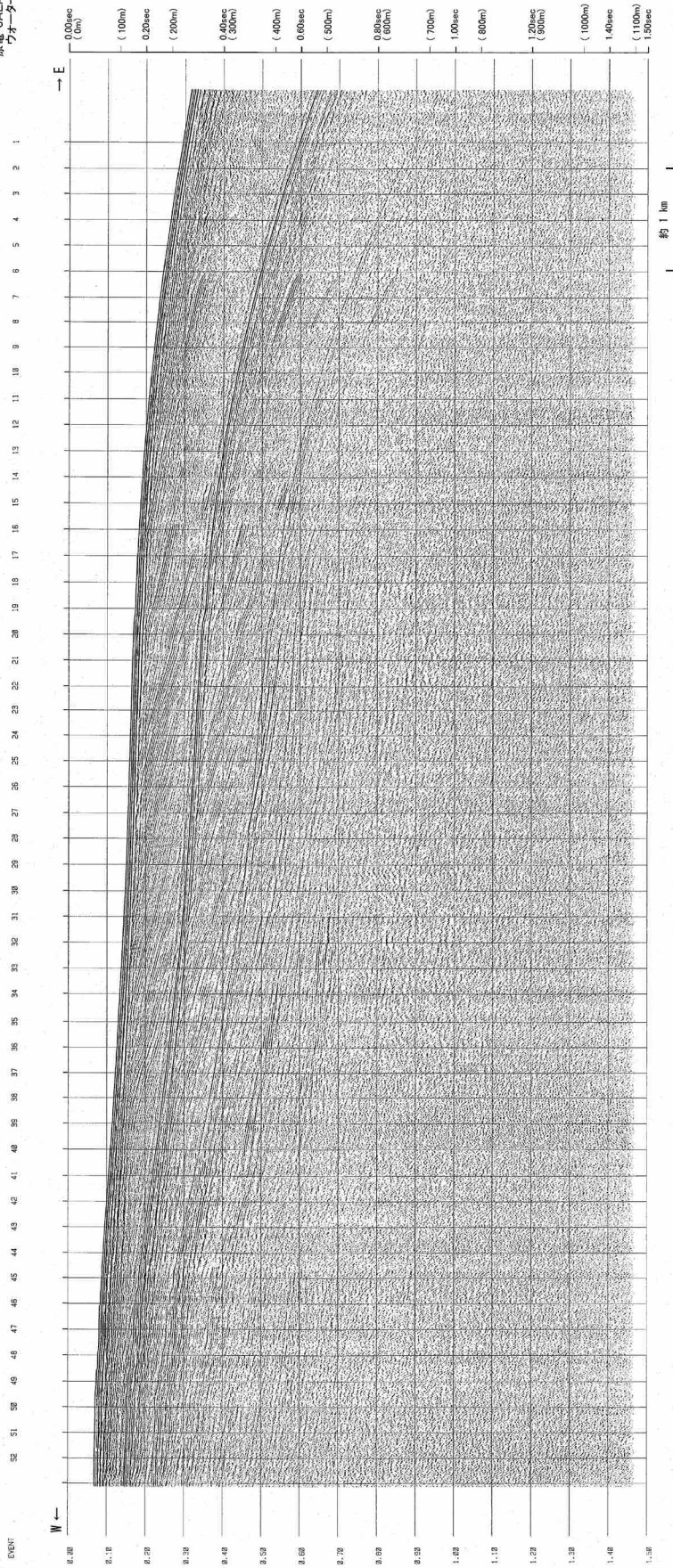
No. 27W-1
原電・JAEA2008
ウォーターガン

EVENT 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2



第 3. 2. 155 図 (7) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.27W-1)

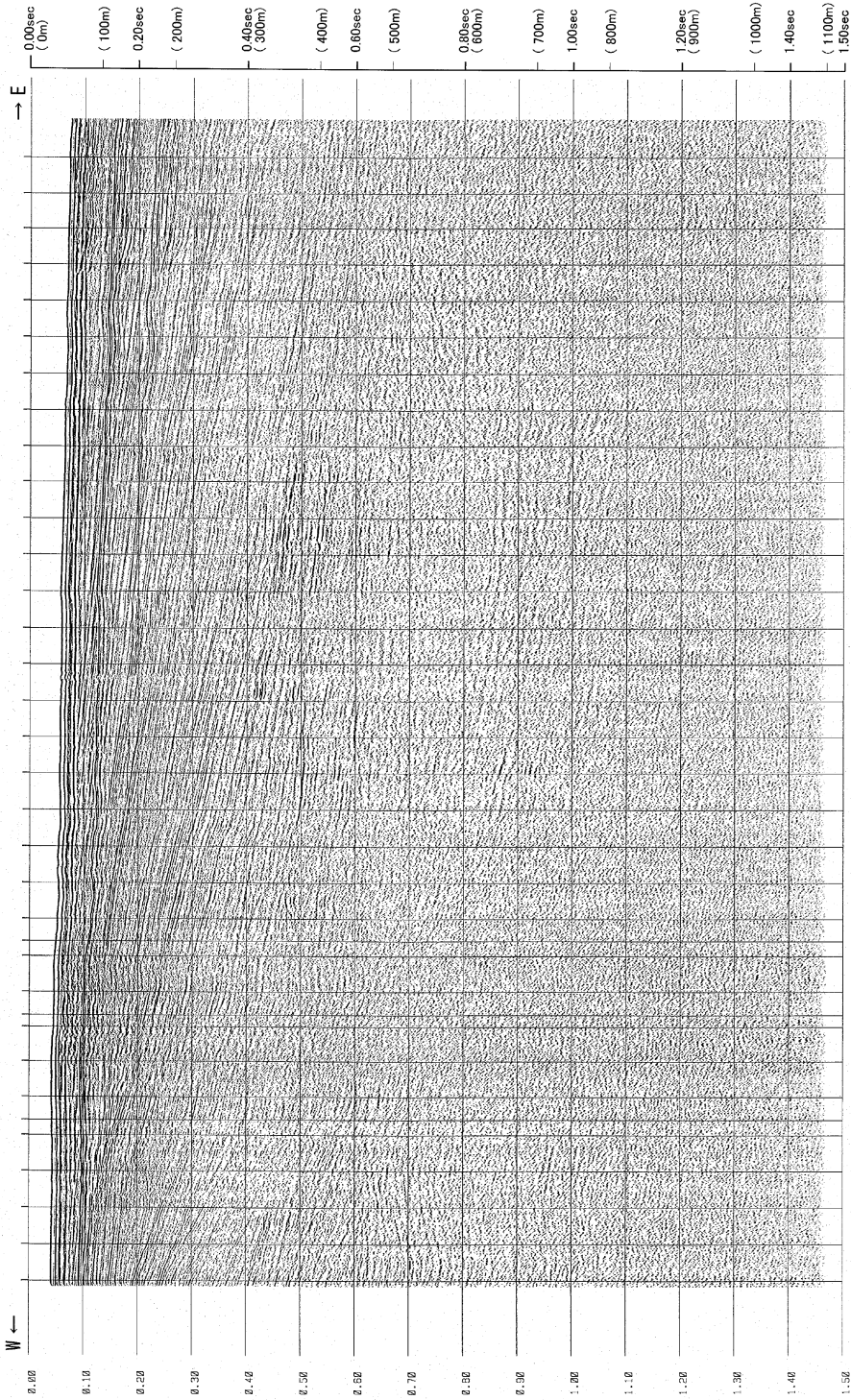
No. 27W-2
 原電-JAEA2008
 ワーターガン



第 3. 2. 155 図 (8) 敷地前海域の海上音波探査記録 (No. 27W-2)

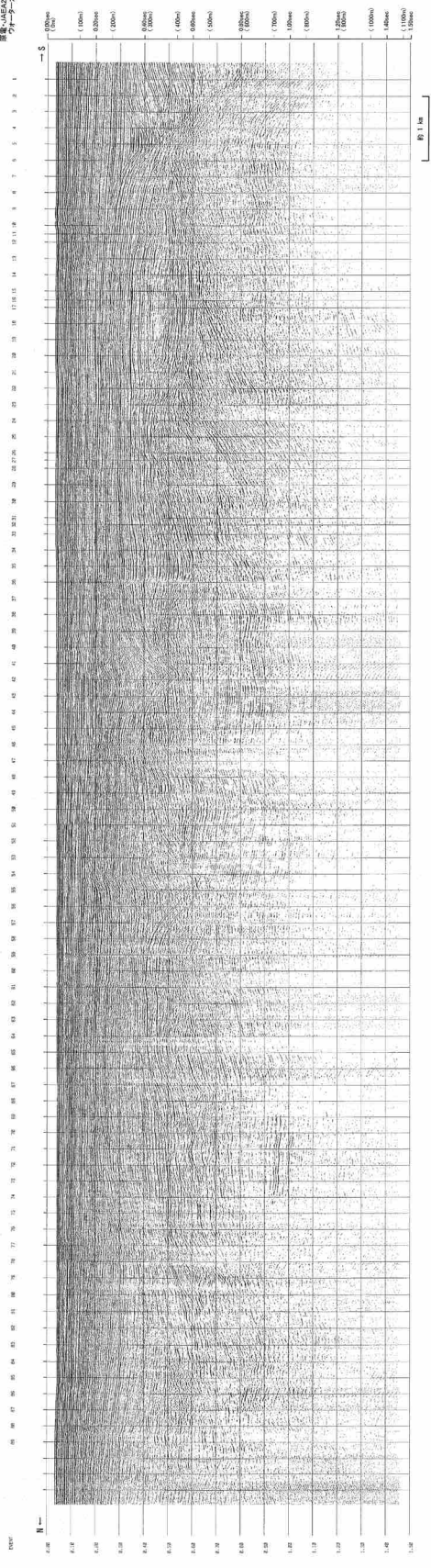
No. 27W-3
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

EVENT 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3



第 3. 2. 155 図 (9) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.27W-3)

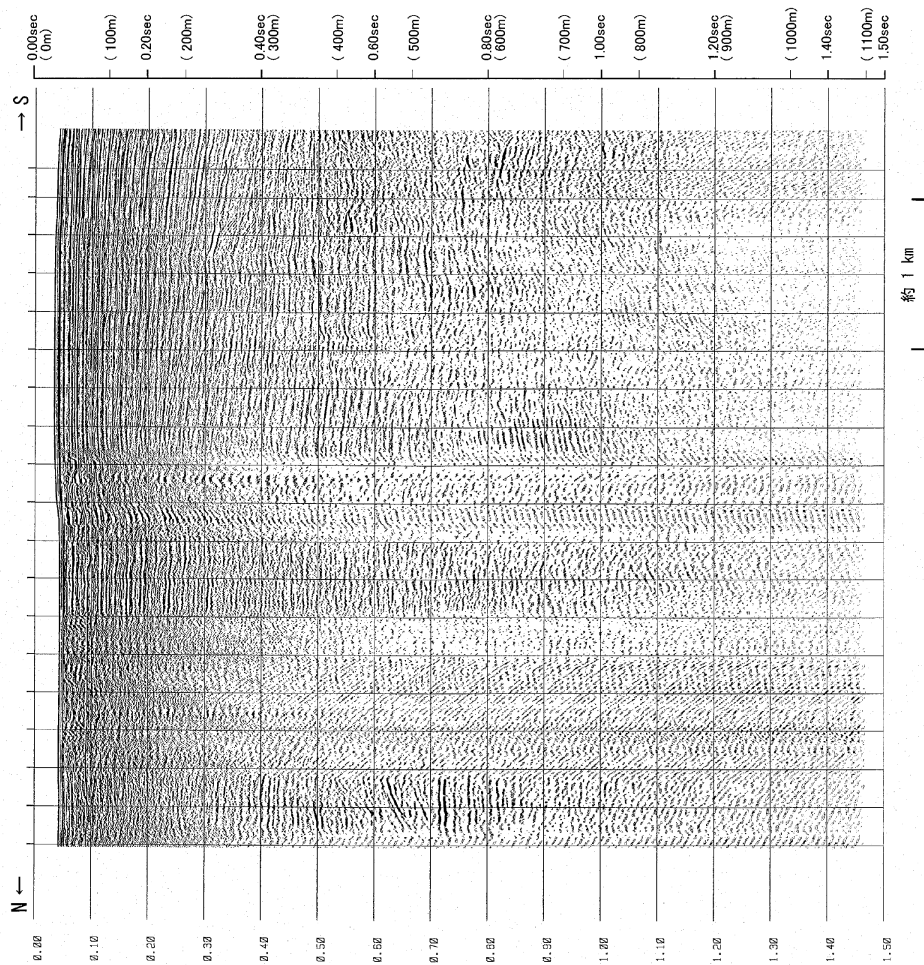
No. 110W-1
 海上音波探査記録
 プログラム



第 3. 2. 155 図(11) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-1)

No. 110W-2
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

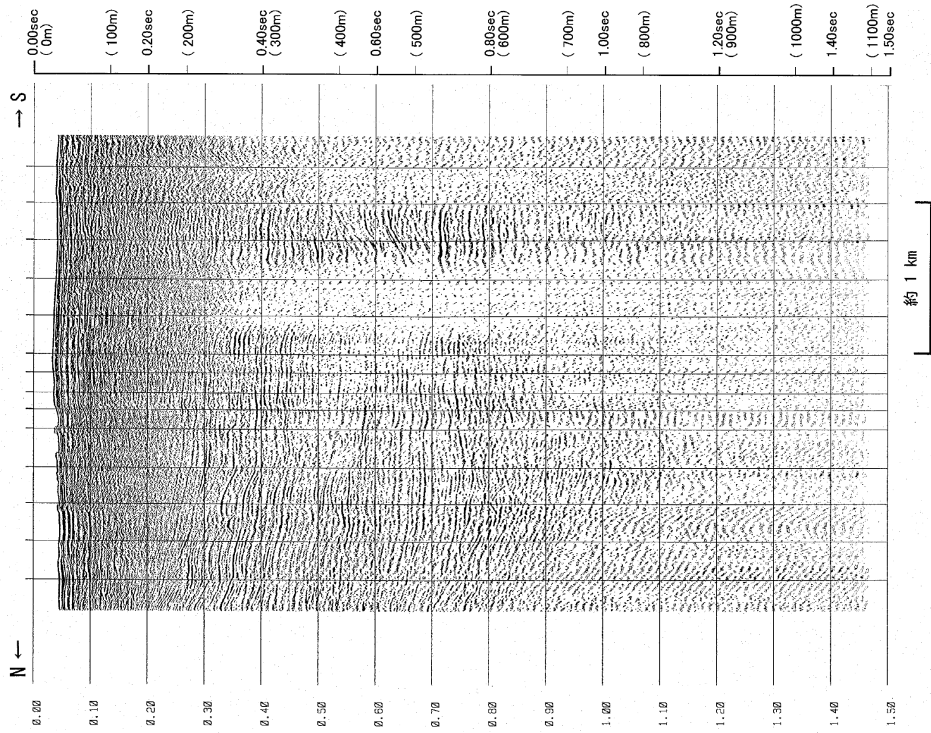
EVENT 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4



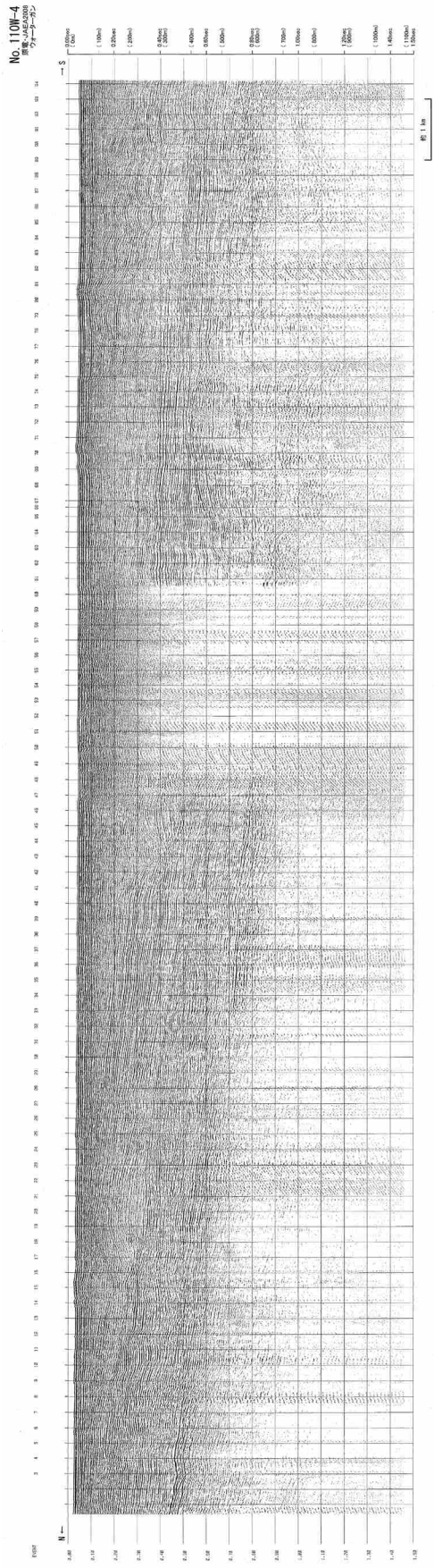
第 3.2.155 図(12) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-2)

No. 110W-3
 原電・JAEA2008
 ワーターガン

EVENT 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3



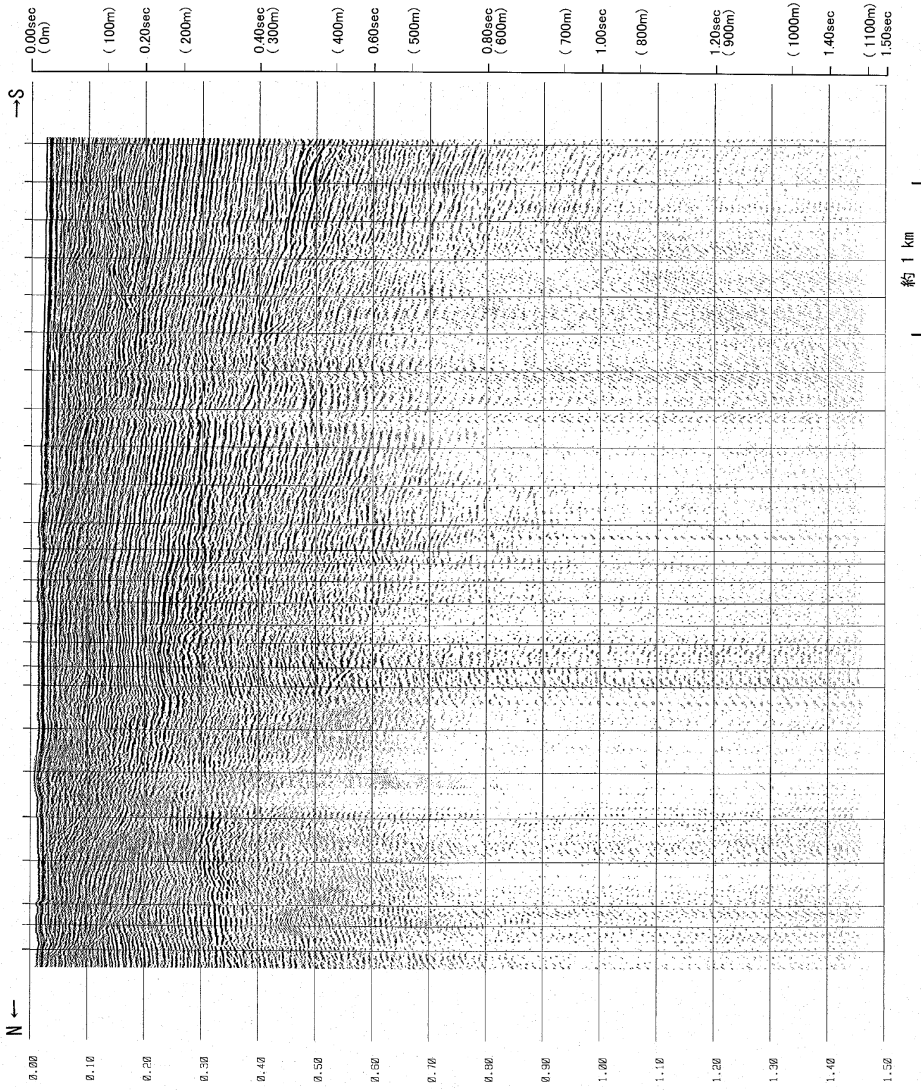
第 3. 2. 155 図 (13) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-3)



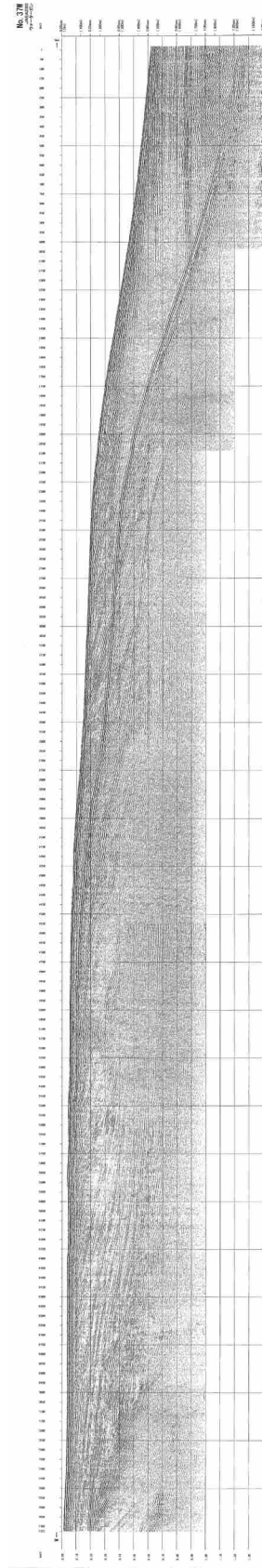
第 3. 2. 155 図 (14) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-4)

No. 110W-5
 原電・JAEA2008
 ウォーターガン

EVENT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

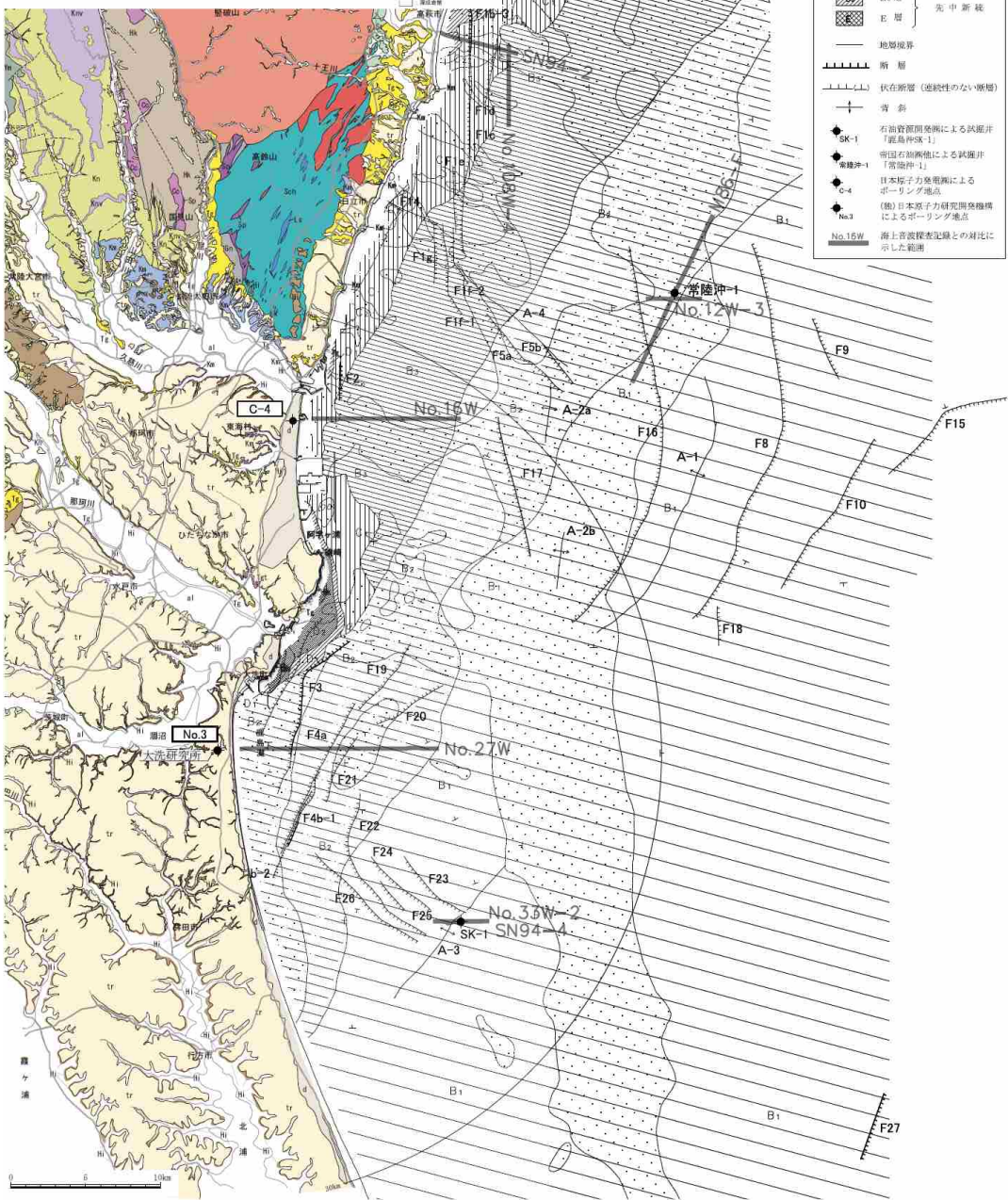


第 3. 2. 155 図 (15) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.110W-5)

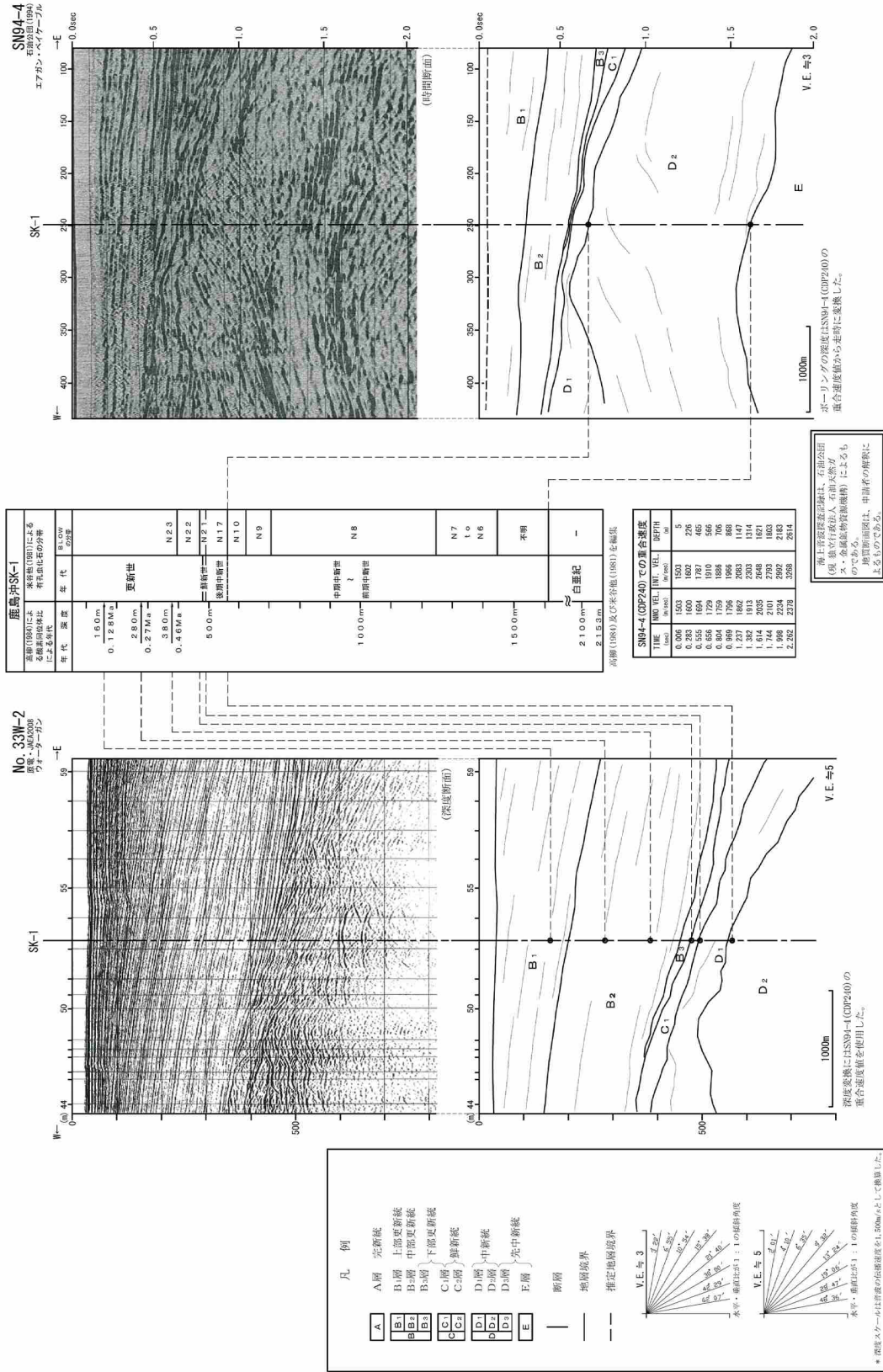


第 3. 2. 155 図 (16) 敷地前面海域の海上音波探査記録 (No.37W)

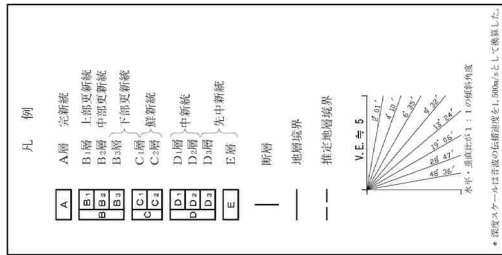
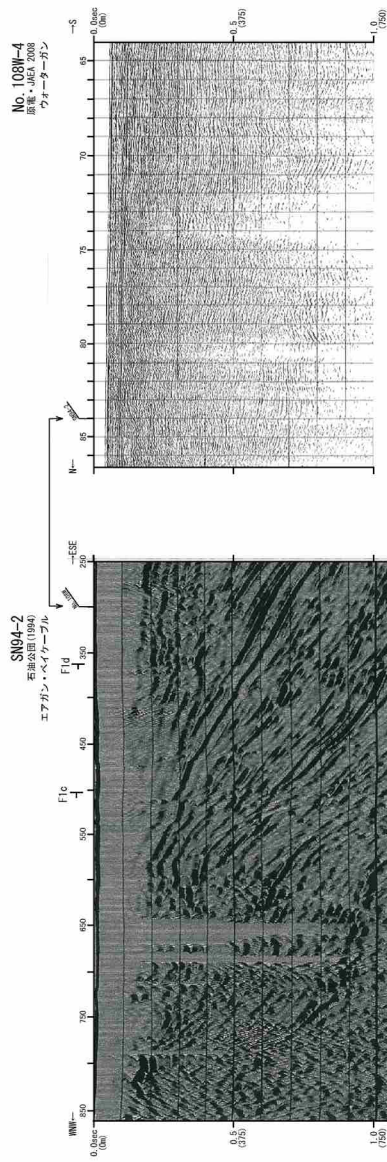
年代階層区分	久慈川沖積		久慈川山岳		新巻山沖積		新巻山山岳	
	地層名	主な構成・層位	地層名	主な構成・層位	地層名	主な構成・層位	地層名	主な構成・層位
第四紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
更新世	経路堆積物	砂・シルト・礫	経路堆積物	砂・シルト・礫	経路堆積物	砂・シルト・礫	経路堆積物	砂・シルト・礫
	東茨城層	砂・シルト・礫	東茨城層	砂・シルト・礫	東茨城層	砂・シルト・礫	東茨城層	砂・シルト・礫
新第三紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
白垩紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
白垩紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
白垩紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
白垩紀	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫
	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫	沖積層	砂・シルト・礫



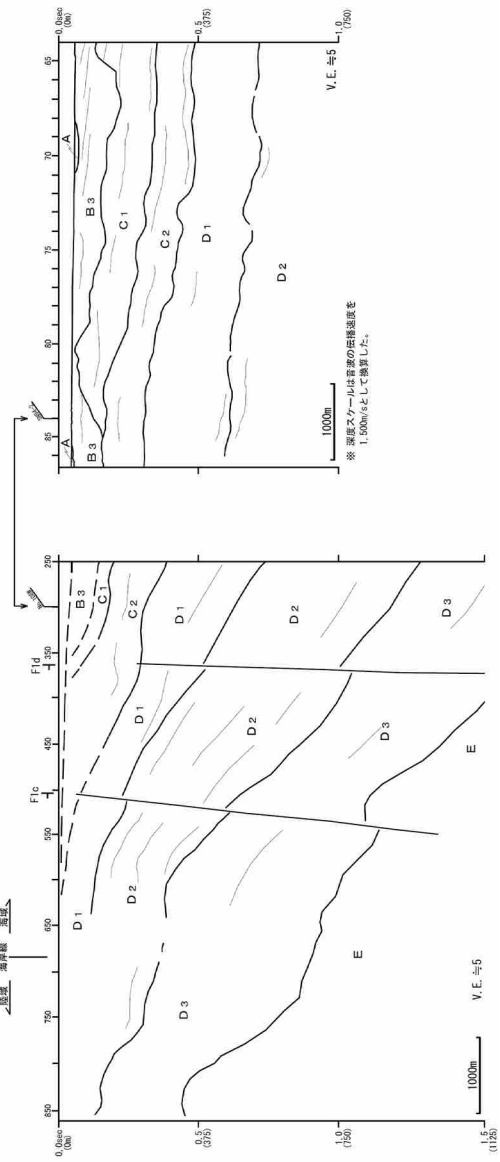
第 3. 2. 156 図 対比した海上音波探査記録の位置図



第3.2.157 図(1) 海上ボーリング調査結果と海上音波探査記録の対比 (その1)

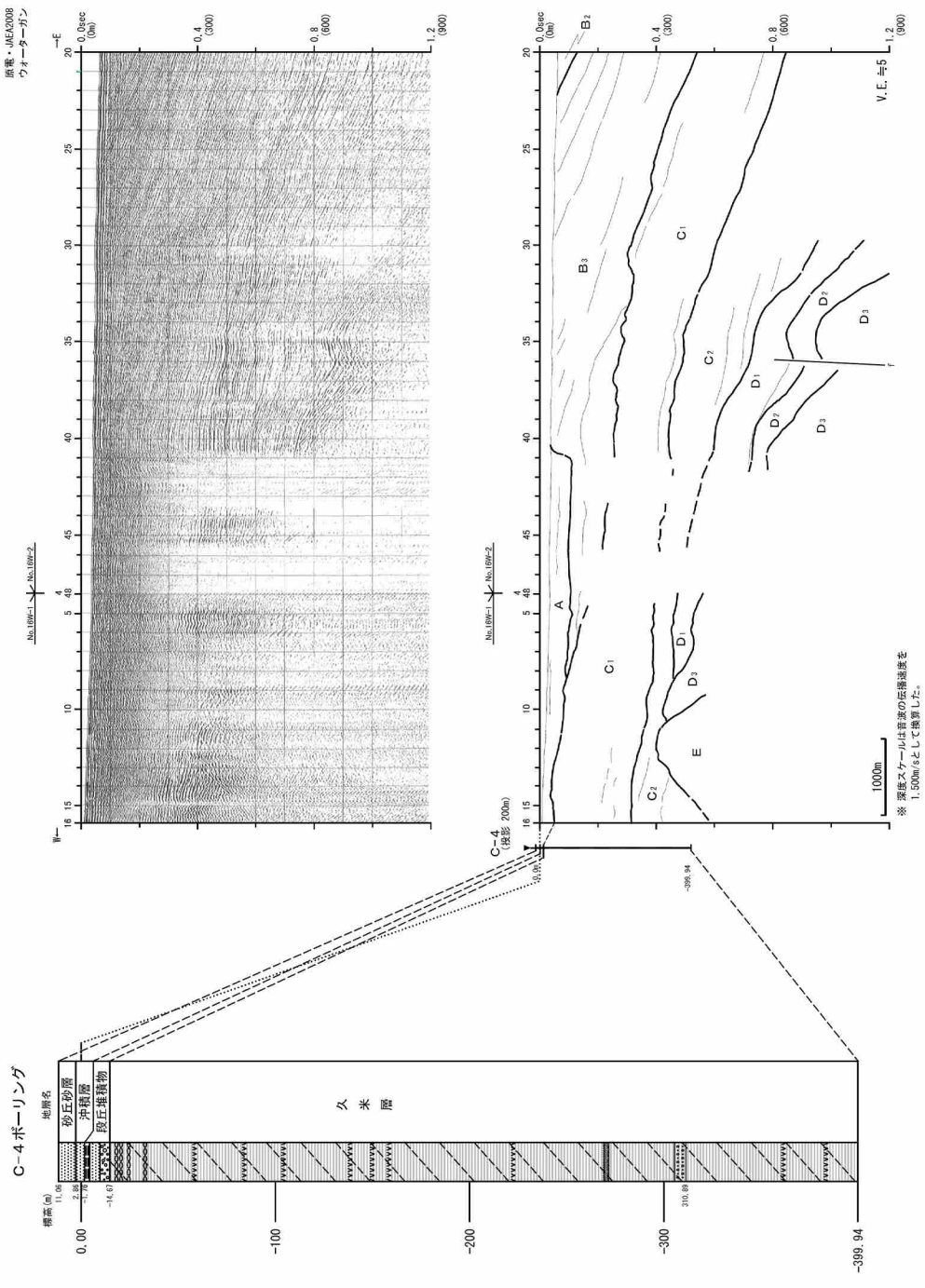


海上音波探査株式会社(石川公司)
(現 独立行政法人 石川天然ガス・
エネルギー供給機構)によるもの
である。本図等は、申請者の権利に
上るものである。

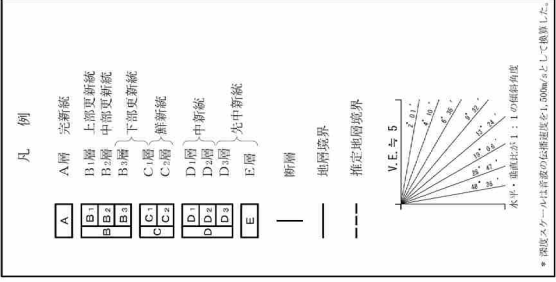
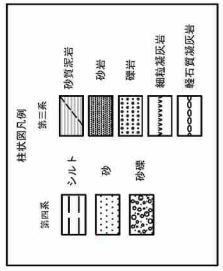


第3.2.158 図(1) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その1)

No. 16W-1
No. 16W-2
原産・JAEA2008
ウォーターガン

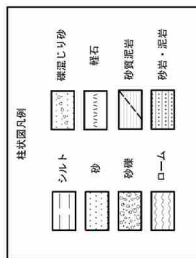
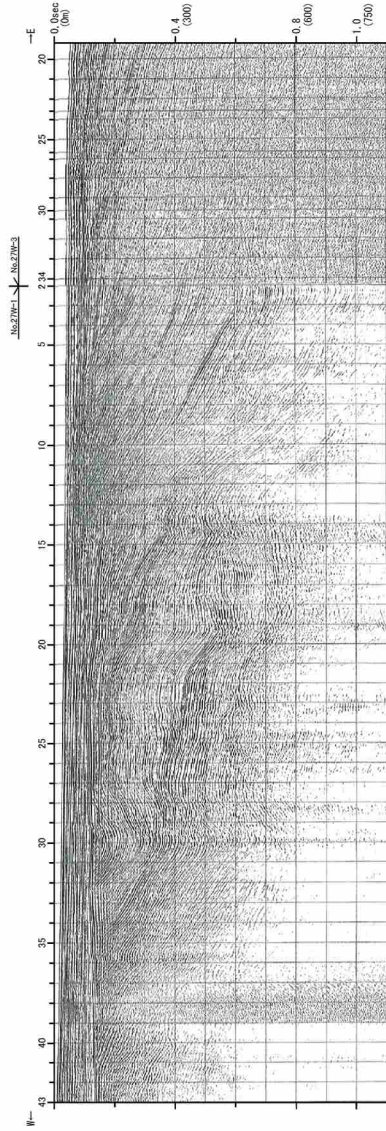


C-4ボーリング

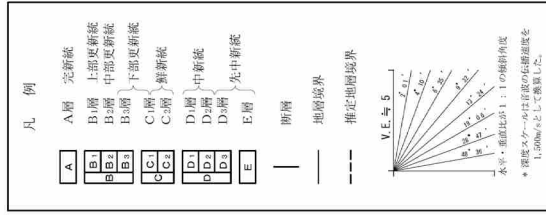
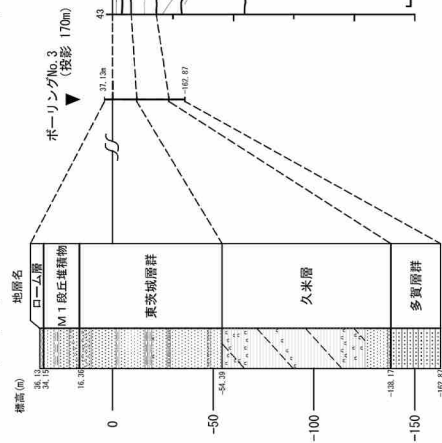


第3.2.158 図(2) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その2)

No. 27W-1
No. 27W-3
原案・JREA008
ワーターマン

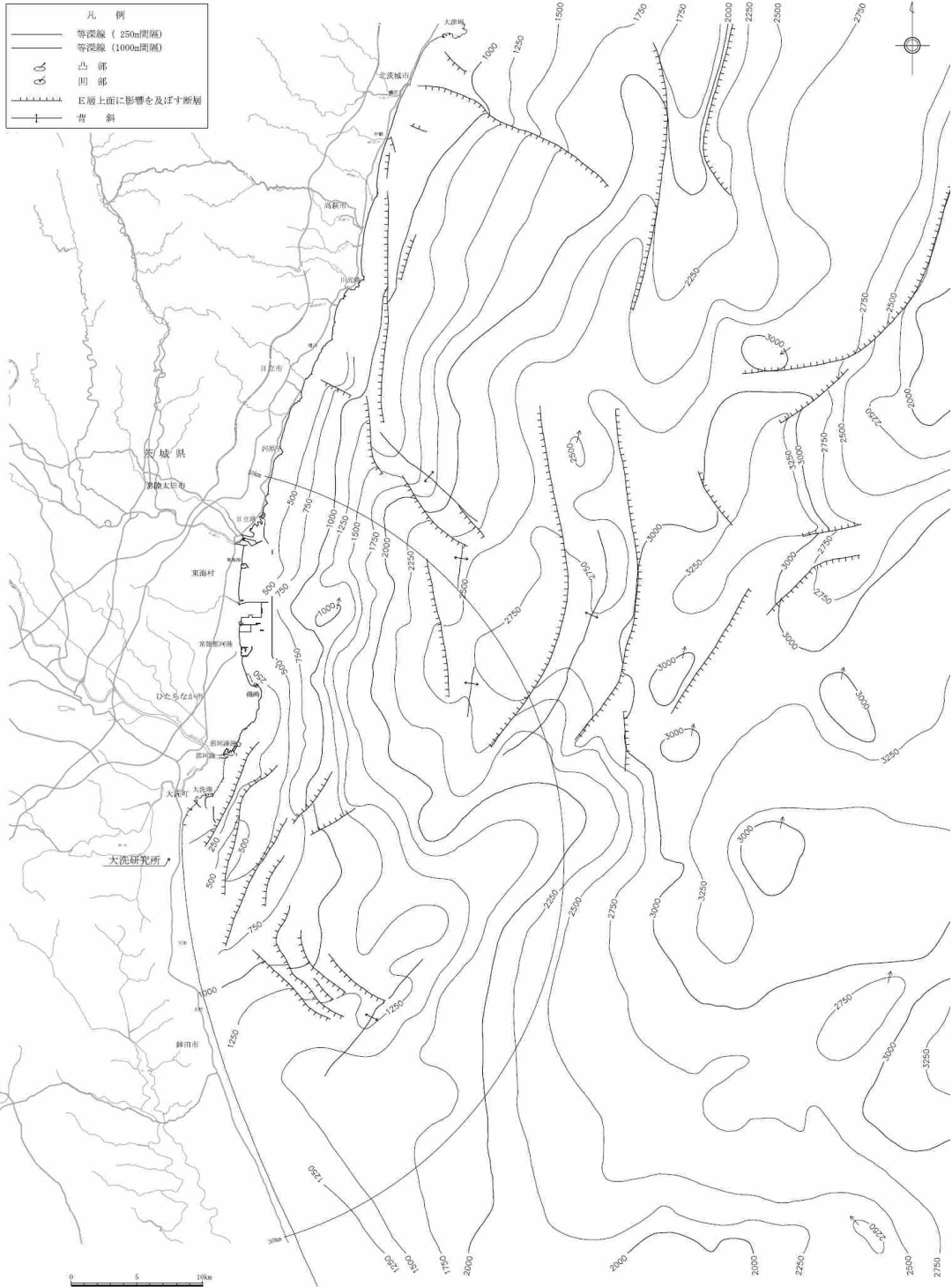


ボーリングNo. 3

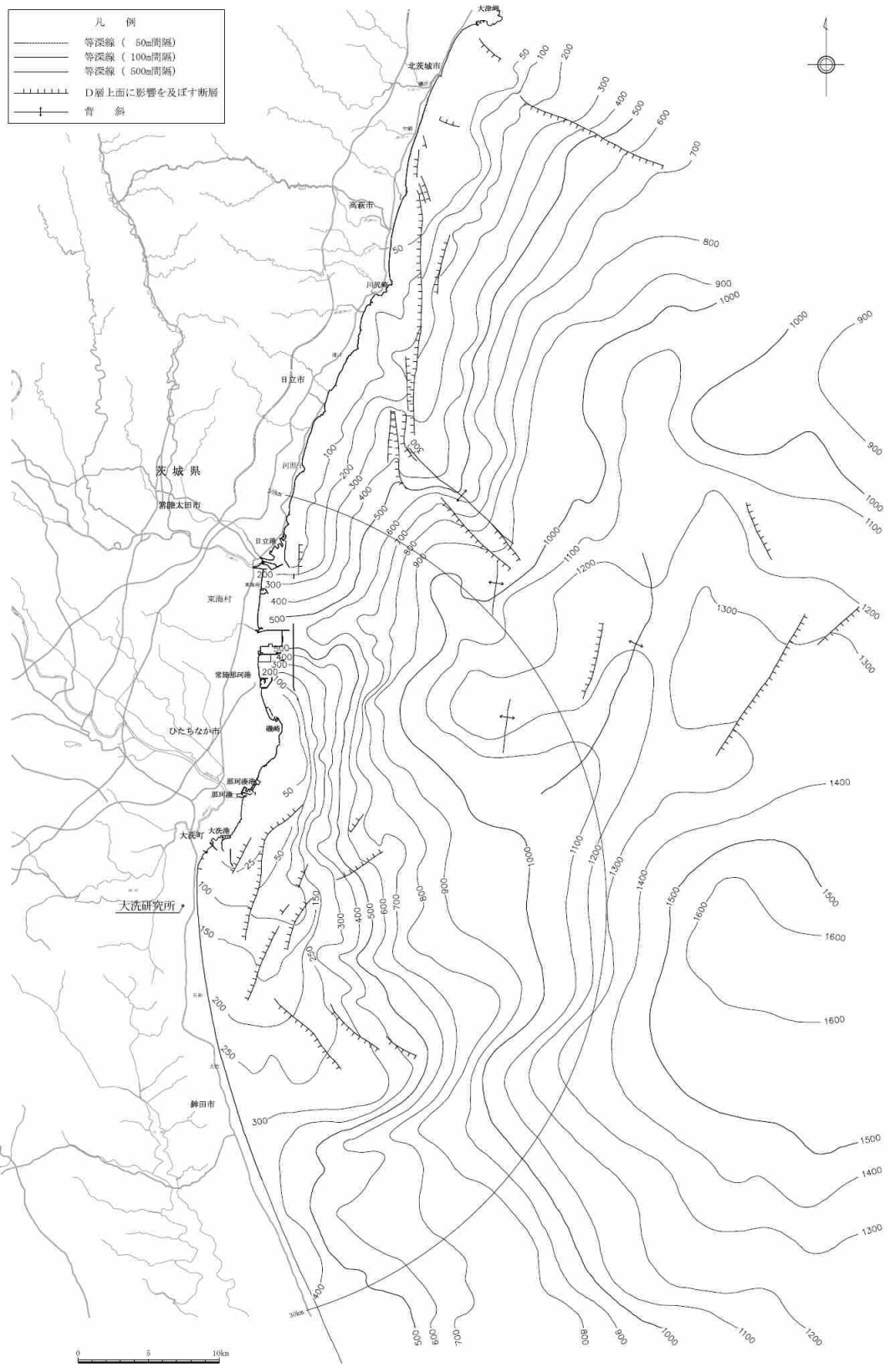


第 3.2.158 図 (3) 陸域調査結果と海上音波探査記録の対比 (その 3)

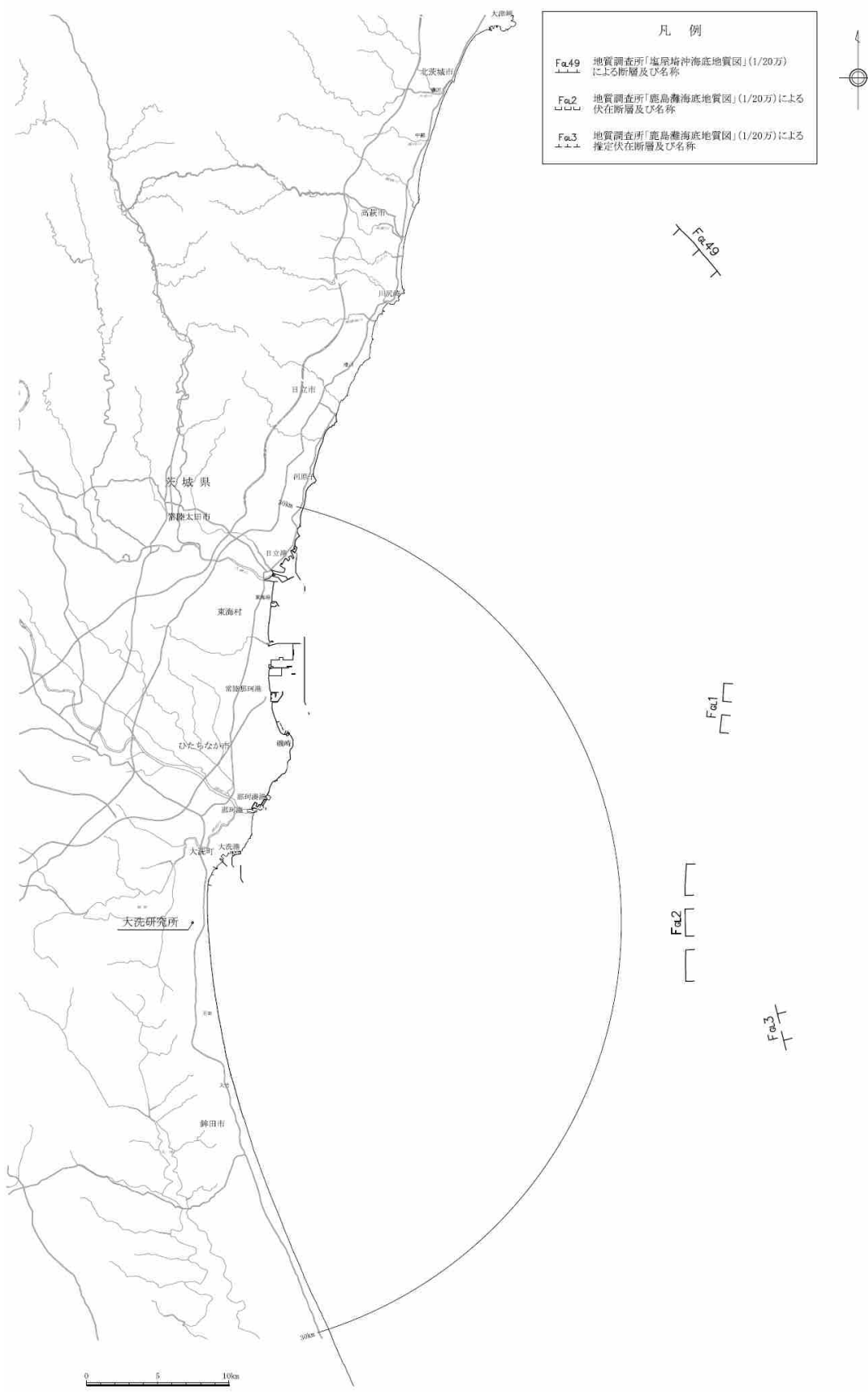
○	凡例
—	等深線 (250m間隔)
—	等深線 (1000m間隔)
凸	凸部
凹	凹部
+	E層上面に影響を及ぼす断層
+	背斜



第3.2.159図 敷地前面海域のE層上面等深線図

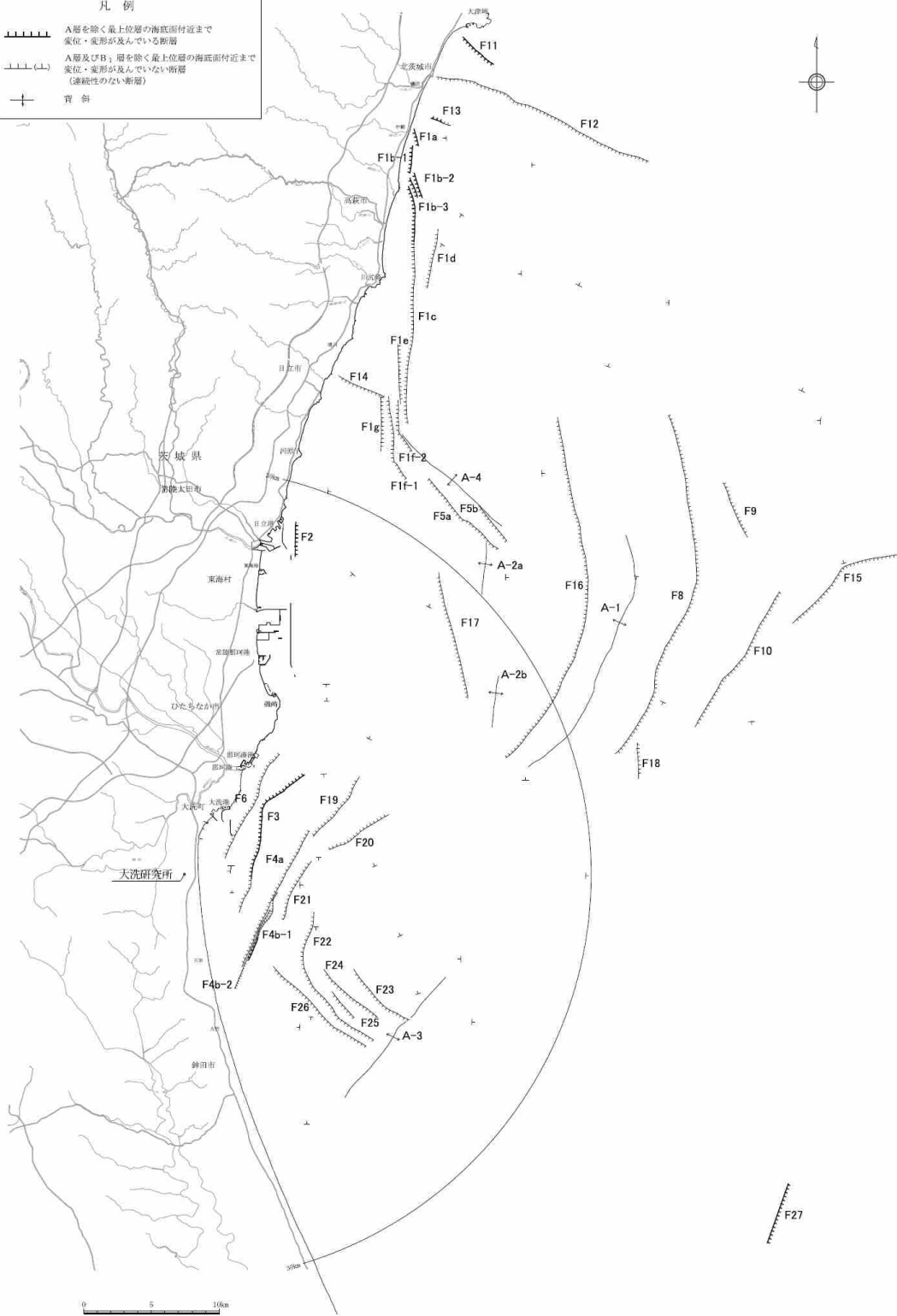


第3.2.160図 敷地前面海域のD層上面等深線図

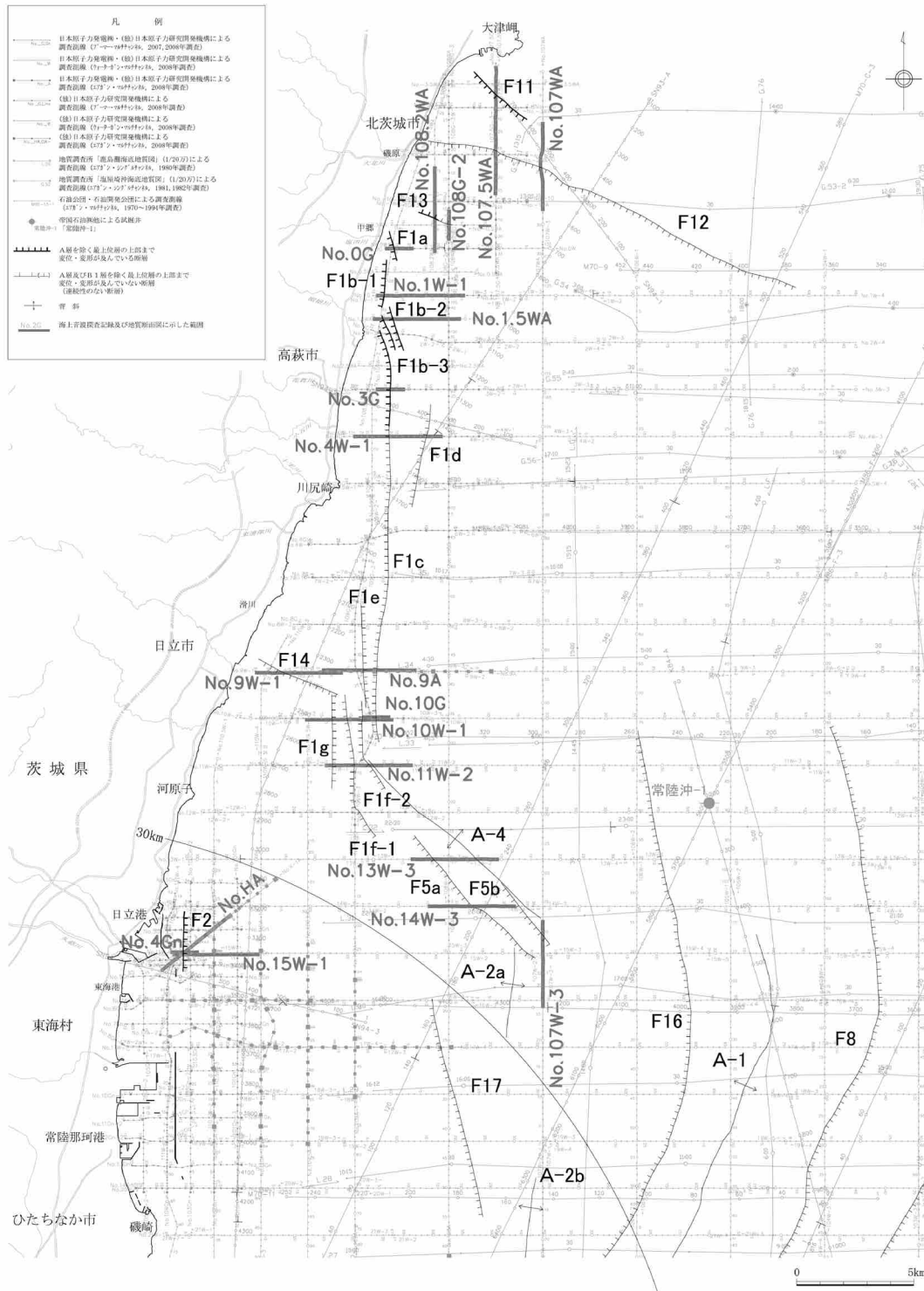


第3.2.162 図 敷地前面海域及びその周辺海域の主要文献断層分布図

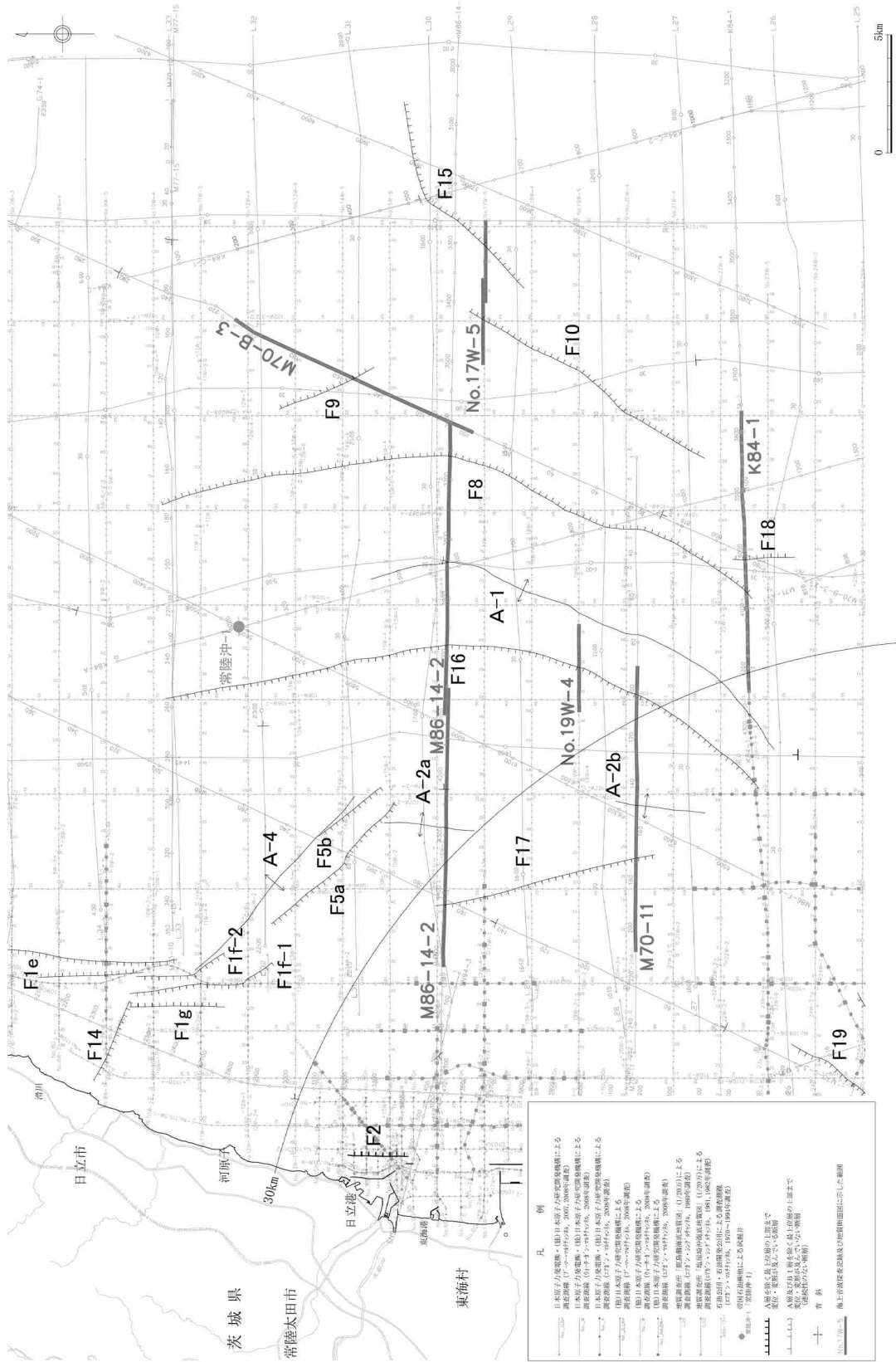
凡例	
	A層を除く最上位層の海底面付近まで 変位・変形が及んでいる断層
	A層及びB層を除く最上位層の海底面付近まで 変位・変形が及んでいない断層 (連続性のない断層)
	背斜



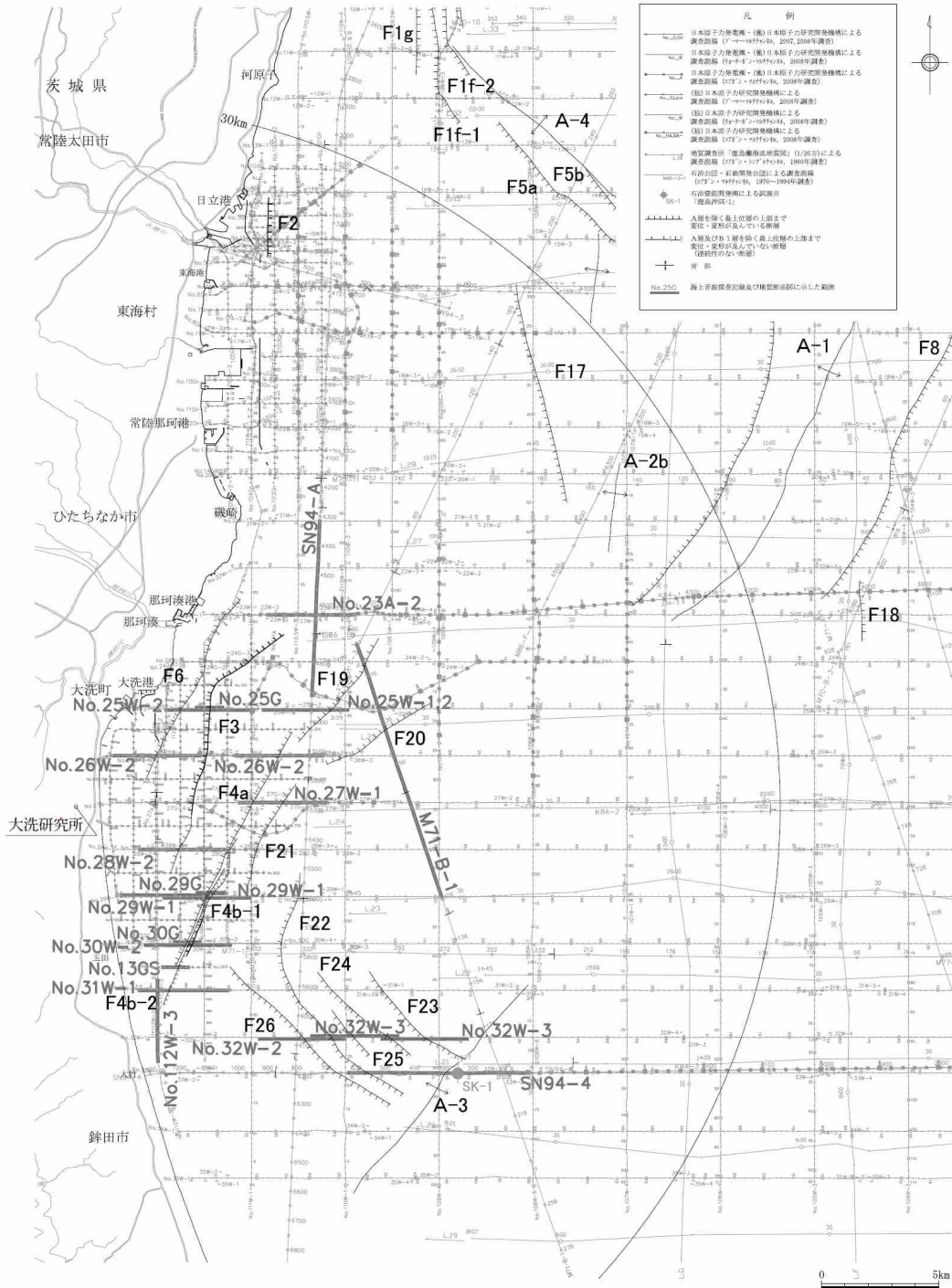
第 3. 2. 163 図(1) 敷地前面海域の断層等分布図(1)



第 3.2.163 図(2) 敷地前面海域の断層等分布図(2)

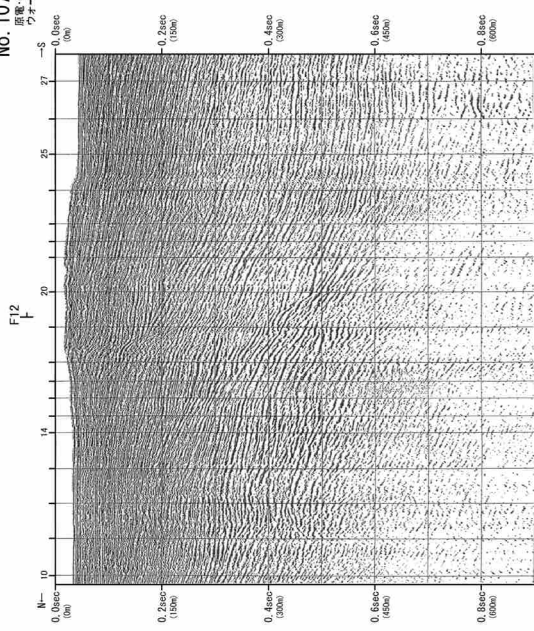


第 3.2.163 図(3) 敷地前面海域の断層等分布図(3)



第 3.2.163 図(4) 敷地前面海域の断層等分布図(4)

No. 107WA
原震-JAEA 2008
ウォーターガン



凡 例

F12 | 断層及び断層番号
F12 | 接曲及び接曲番号
F12延長部 | 断層または接曲の延長位置

凡 例

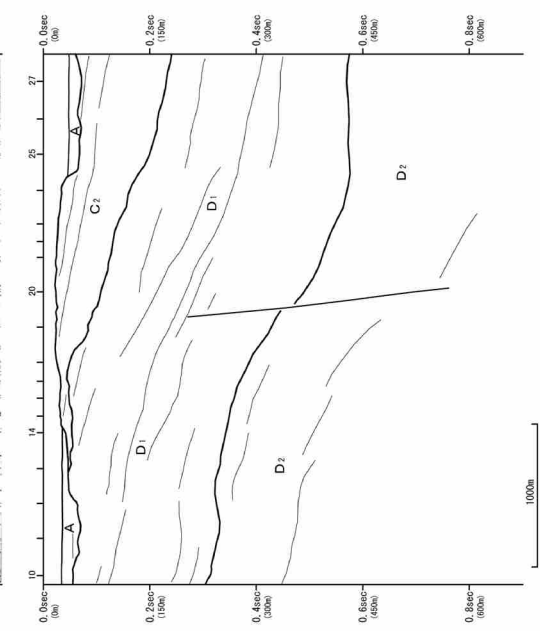
A	A層	完新統
B1	B層	上部更新統
B2	B層	中部更新統
B3	B層	下部更新統
C1	C層	鮮新統
C2	C層	中新統
D1	D層	中新統
D2	D層	中新統
D3	D層	中新統
D4	D層	中新統
E	E層	先中新統

— 断層
- - - 推定断層境界

V.E. 号 6
V.1, V.2, V.3, V.4, V.5, V.6, V.7, V.8, V.9, V.10, V.11, V.12, V.13, V.14, V.15, V.16, V.17, V.18, V.19, V.20, V.21, V.22, V.23, V.24, V.25, V.26, V.27, V.28, V.29, V.30, V.31, V.32, V.33, V.34, V.35, V.36, V.37, V.38, V.39, V.40, V.41, V.42, V.43, V.44, V.45, V.46, V.47, V.48, V.49, V.50, V.51, V.52, V.53, V.54, V.55, V.56, V.57, V.58, V.59, V.60, V.61, V.62, V.63, V.64, V.65, V.66, V.67, V.68, V.69, V.70, V.71, V.72, V.73, V.74, V.75, V.76, V.77, V.78, V.79, V.80, V.81, V.82, V.83, V.84, V.85, V.86, V.87, V.88, V.89, V.90, V.91, V.92, V.93, V.94, V.95, V.96, V.97, V.98, V.99, V.100

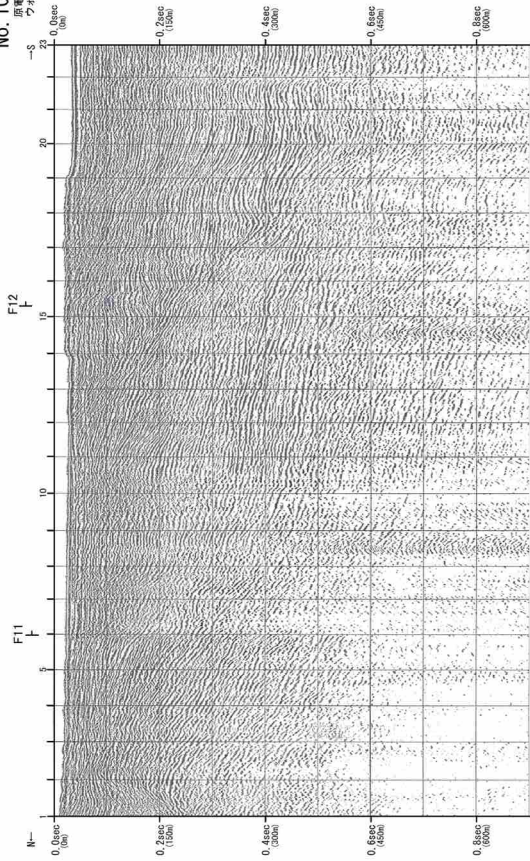
水平・垂直比が1 : 1の縦断有度

* 断層スケールは首段の総距離を1,000mとして換算した。



第3.2.164図 F12断層周辺の音波探査記録及び地質断面図 (No.107WA)

No. 107.5WA
 原簿-JAEA 2008
 ウォーターガン

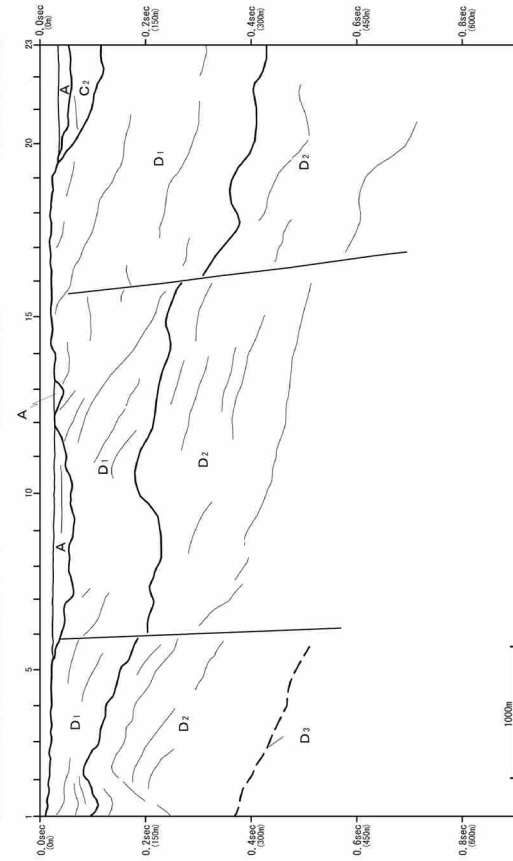


凡 例	
F12	断層及び断層番号
F12	繰曲及び繰曲番号
F12延長部	断層または繰曲の延長位置

凡 例	
A	A層 完新統
B	B層 上部更新統
B ₁	B層 中部更新統
B ₂	B層 下部更新統
C	C層 礫新統
D	D層 中新統
D ₁	D層 中新統
D ₂	D層 中新統
E	E層 先中新統
—	断層
- - -	地層境界
- - -	推定地層境界

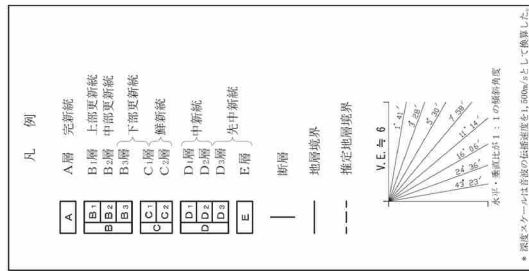
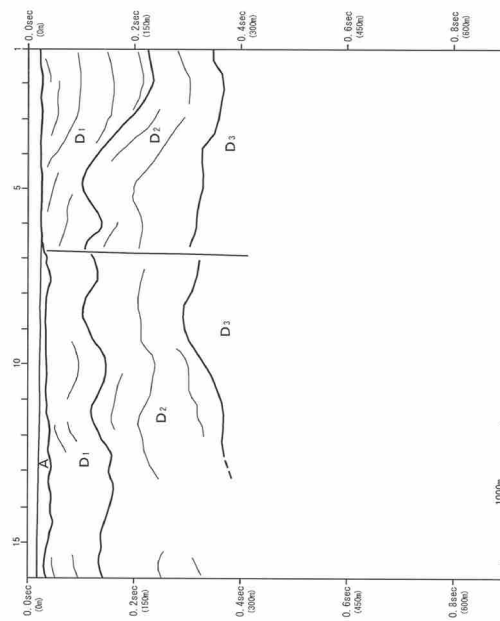
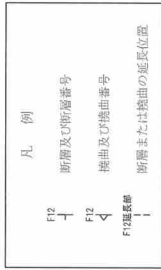
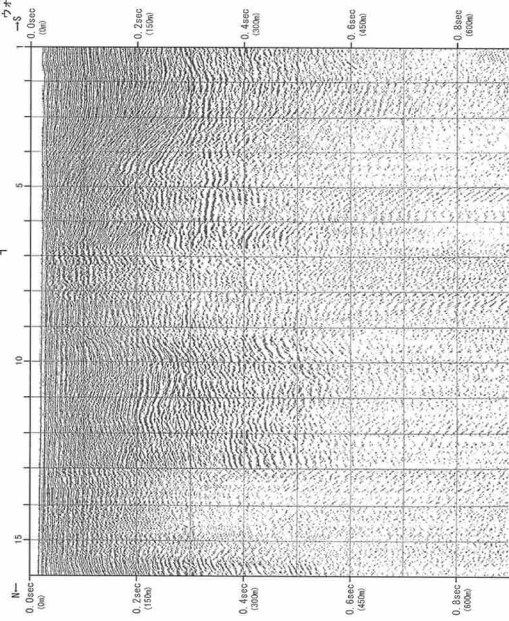
VEとθ
 1°41' 7.2分
 3°2分 30.0分
 5°0分 0.0分
 7°0分 0.0分
 9°0分 0.0分
 11°0分 0.0分
 13°0分 0.0分
 15°0分 0.0分
 17°0分 0.0分
 19°0分 0.0分
 21°0分 0.0分
 23°0分 0.0分

水平・垂直は1:1の縮尺角度
 * 断層スケールは右図の距離縮尺を1.00kmとして裏取りした。



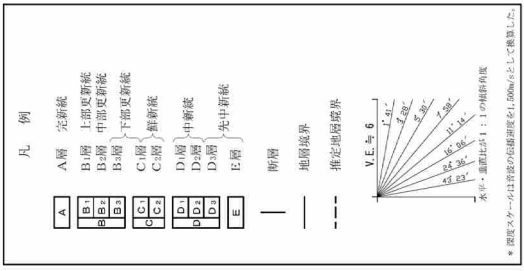
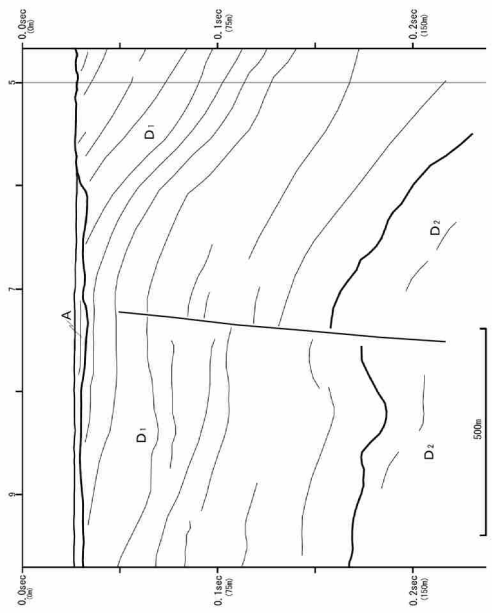
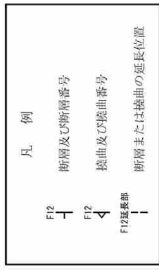
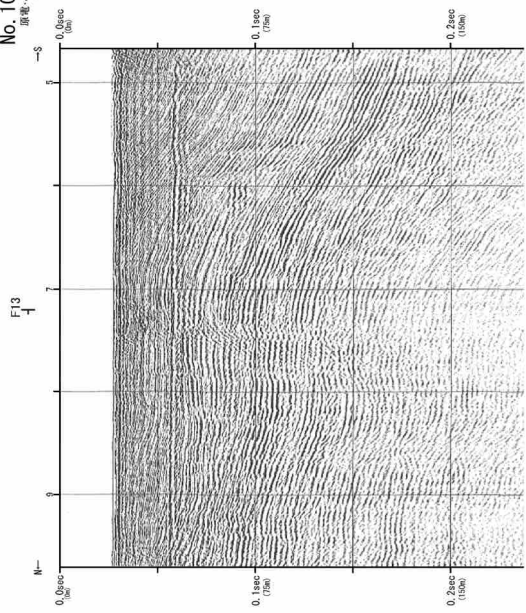
第 3. 2. 165 図 F 1 1 断層周辺の音波探査記録及び地質断面図 (No.107.5WA)

No. 108. 2WA
 位置-JOB. 2008
 プローファー-カリス



第 3. 2. 166 図(1) F 1 3 断層西部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.108. 2WA)

No. 108G-2
原電 0.1s 2000
フレーム

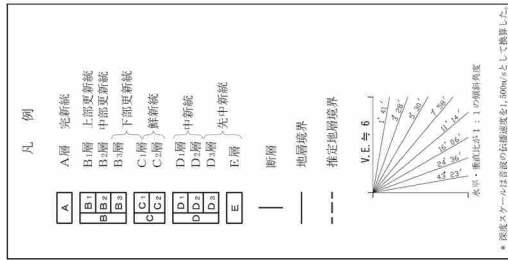
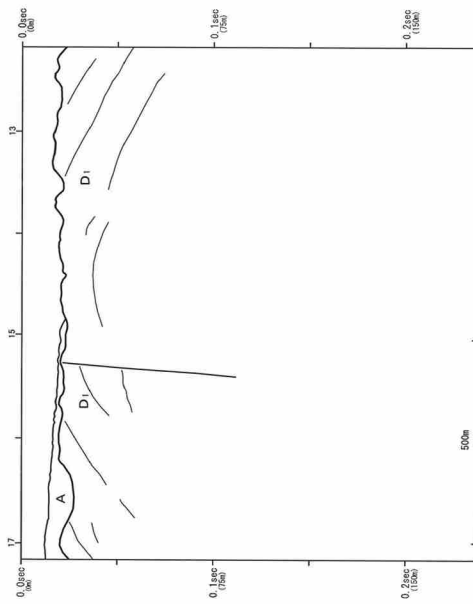
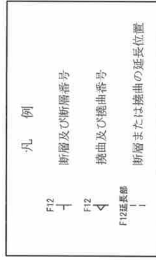
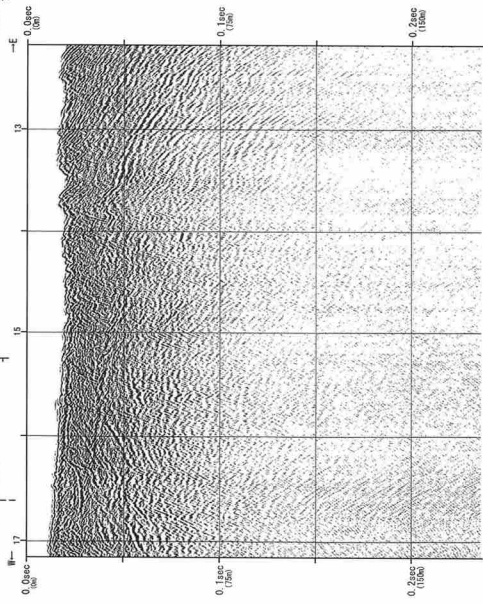


第3.2.166図(2) F13断層東部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.108G-2)

No. 0G
原簿 No. A 2008

F1a

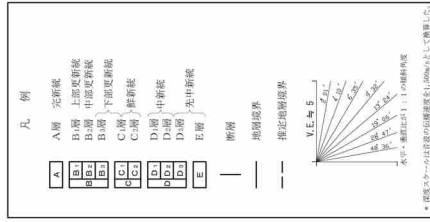
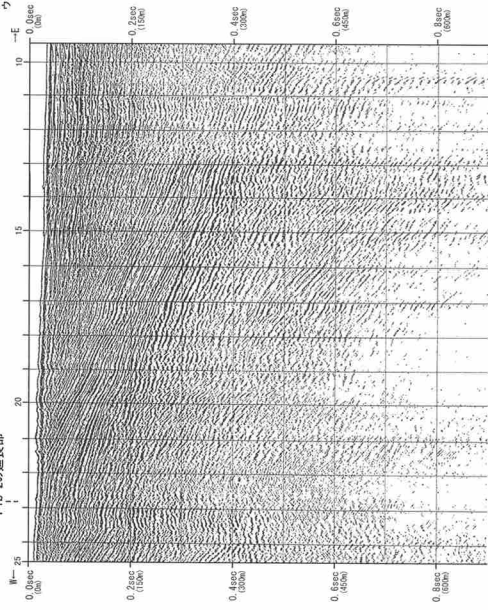
F1b-1の延長部



第 3. 2. 167 図(1) F 1 a 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.0G)

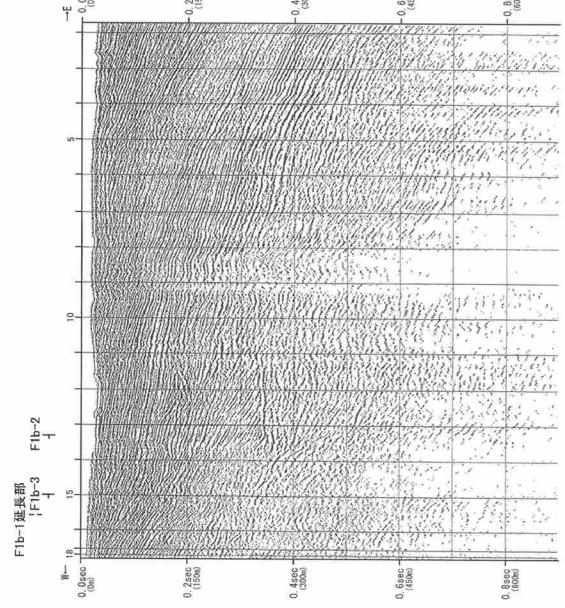
No. 1W-1
探査線 No. 3008
ウォーターガン

F1b-1
F1b-2の延長部



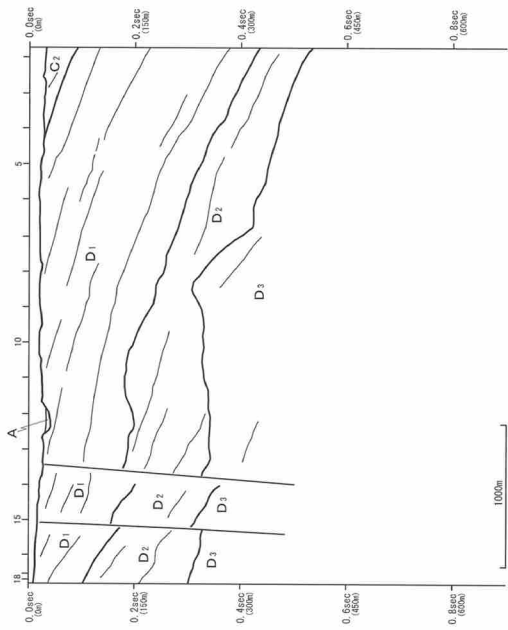
第 3. 2. 167 図 (2) F 1 b - 1 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.1W-1)

No. 1. 5WA
 原電: MSA 2000
 ワンターゲート



凡 例

- F12 断層及び断層番号
- F12 断層及び傾曲番号
- F12 断層番号
- F12 断層番号



凡 例

- A層 更新統
- B1層 上部更新統
- B2層 中部更新統
- B3層 下部更新統
- C1層 新統
- C2層 新統
- D1層 中新統
- D2層 中新統
- D3層 中新統
- E層 先中新統
- 断層
- 地層境界
- 推定地層境界

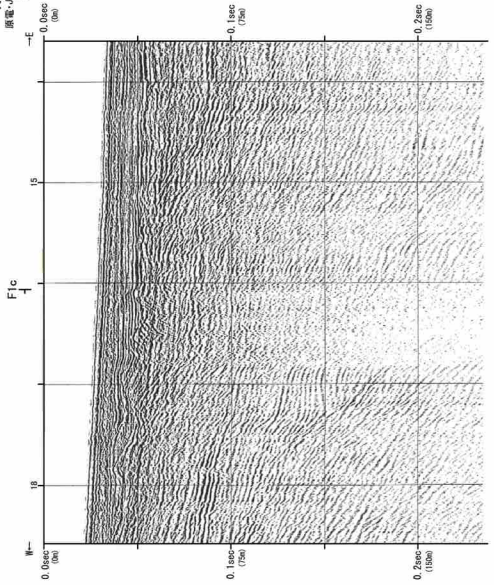
V.E. 5
 傾角
 10°
 20°
 30°
 40°
 50°
 60°
 70°
 80°
 90°

水平・垂直比が1:1の傾斜角

* 傾度スケールは対象の距離を1,000mとして換算した。

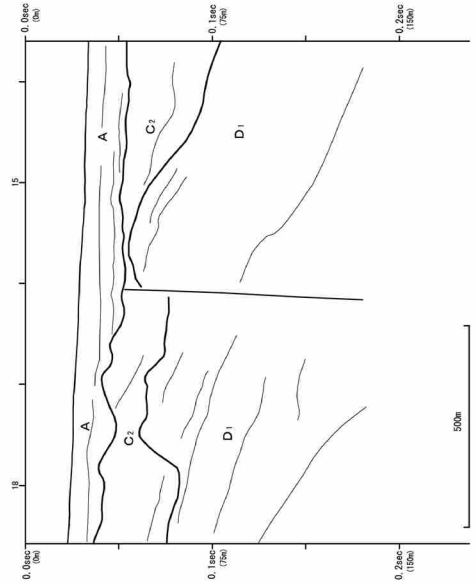
第 3.2.167 図(3) F1b-2断層, F1b-3断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.1. 5WA)

No. 3G
原電の500
プアズ



凡例

- F1c 断層及び断層番号
- F1c 挿曲及び挿曲番号
- F1c延長部
- 断層または挿曲の延長位置

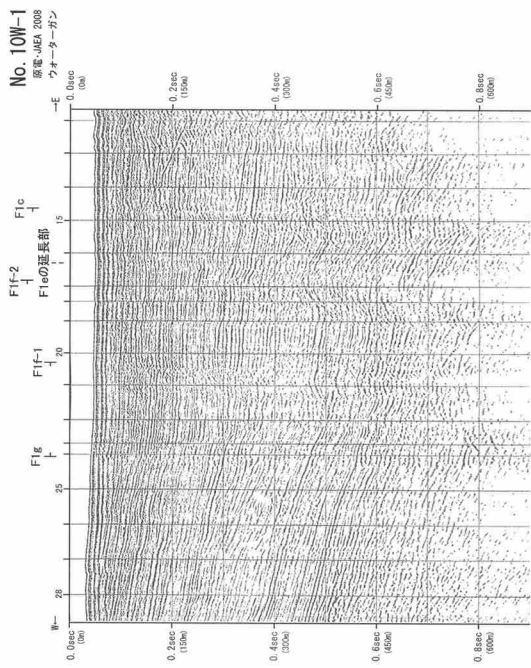


凡例

- A層 完新統
- B層 上部更新統
- B1層 中部更新統
- B2層 下部更新統
- C層 新新統
- D層 中新統
- D1層 旧新統
- D2層 先旧新統
- E層
- 断層
- 地層境界
- 推定地層境界

水平・垂直比は1:1の縮小角度
* 調査スケッチは任意の任意縮小角で1:1000として描画した

第3.2.167図(4) F1c断層北部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.3G)



凡例

F12 断層及び断層番号
F12 拗曲及び拗曲番号
F12断層部 断層または拗曲の延長位置

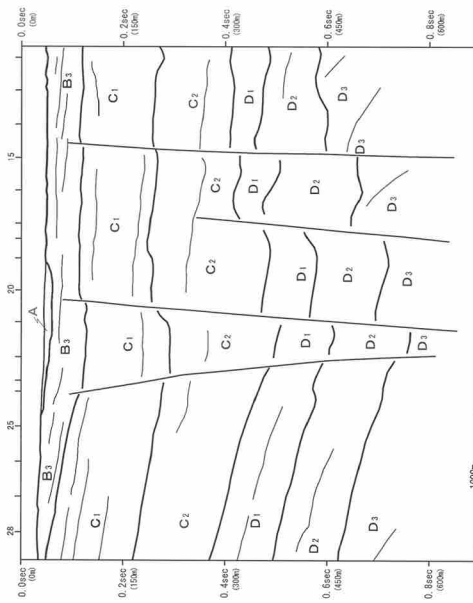
凡例

A層 完新統
B1層 上部更新統
B2層 中部更新統
B3層 下部更新統
C1層 鮮新統
D1層 中新統
D2層 上新統
D3層 旧新統
E層 先中新統

断層
地層境界
推定地層境界

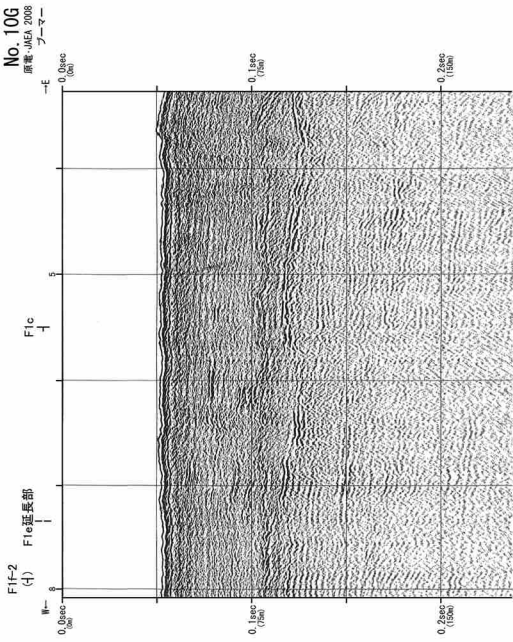
VE 層 5
Z11
Z12
Z13
Z14
Z15
Z16
Z17
Z18
Z19
Z20

* 測線スケールは直度の圧縮率が1.500mとして換算した。
本平・重直は1:1の縮率を示す。



第 3.2.167 図(5) F1c断層中南部, F1g断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.10W-1)

No.106
 原電-JAEA 2008
 フォーマ



凡例

- F12 断層及び断層番号
- F12 接曲及び接曲番号
- F12延長部 断層または接曲の延長位置

(1) は探査深度外に認められる断層

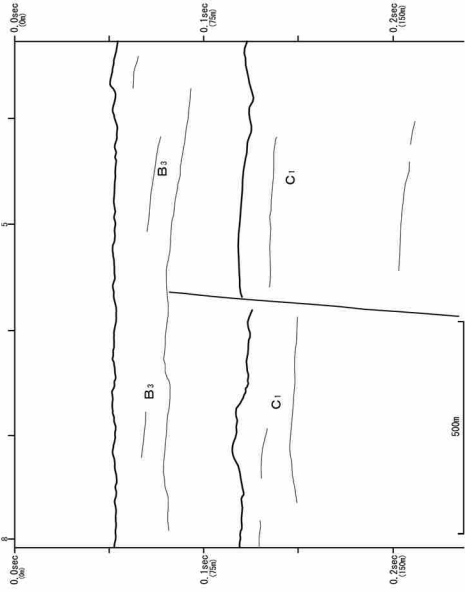
凡例

- A層 壳新統
- B1層 上部更新統
- B2層 中部更新統
- B3層 下部更新統
- C1層 礫新統
- D1層 中新統
- D2層 中新統
- D3層 先中新統
- E層

断層
 地層境界
 推定地層境界

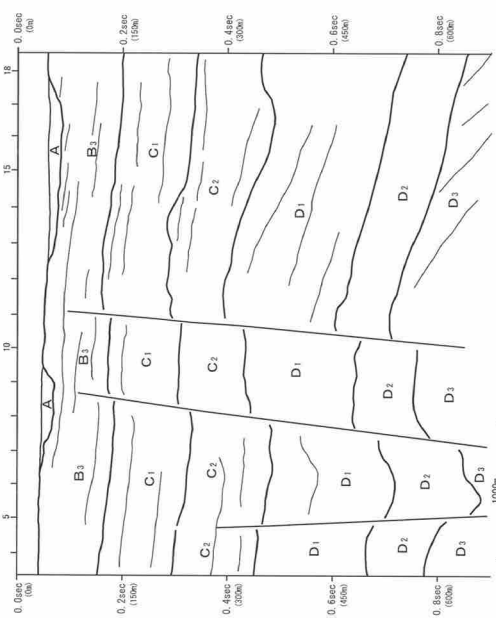
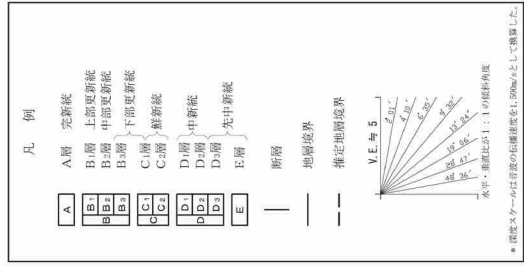
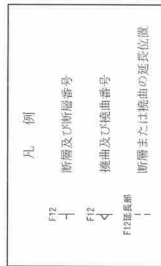
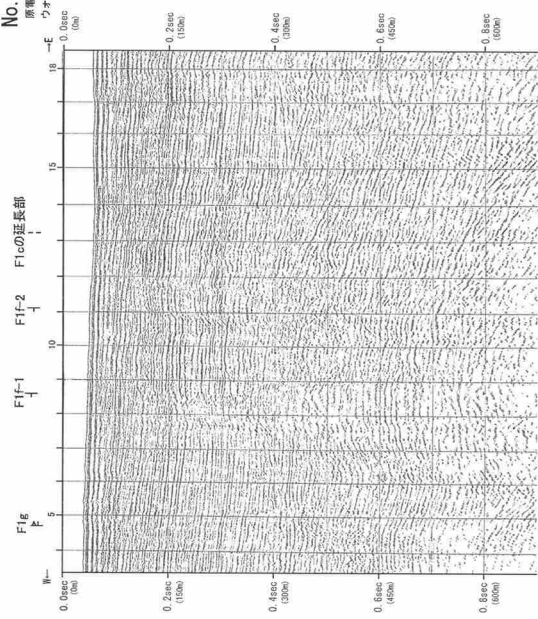
VE. 号 5
 4.0
 3.0
 2.0
 1.0
 0.0

本平：傾斜は1:1の傾斜角度
 * 断層スケールは探査の傾斜角度を1:500mとして換算した。



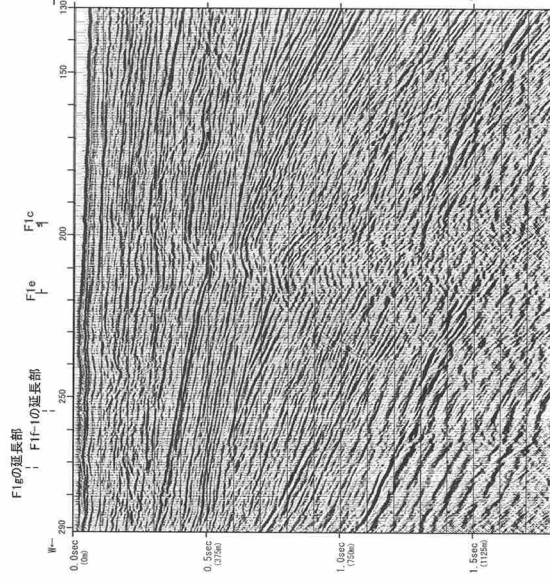
第 3.2.167 図 (6) F 1 c 断層中南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.106)

No. 11W-2
原集-JEA, 2008
ウォーターガン



第 3.2.167 図(7) F1 f-1 断層, F1 f-2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.11W-2)

No. 9A
原電・JEA, 2008
エフガン



凡例

F1g 断層及び断層番号

F1f 断層及び断層番号

F1e 断層及び断層番号

F1c 断層及び断層番号

F1d 断層及び断層番号

F1fの延長部

F1eの延長部

凡例

A層 完新統

B1層 上部更新統

B2層 中部更新統

B3層 下部更新統

C1層 新新統

C2層 新新統

D1層 中新統

D2層 中新統

D3層 中新統

E層 先中新統

断層

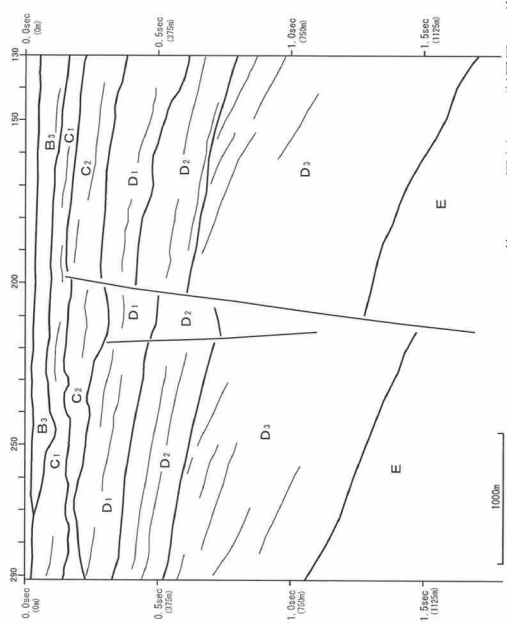
地層境界

推定地層境界

VE 5

水圧・震度比が 1 : 1 の放射角度

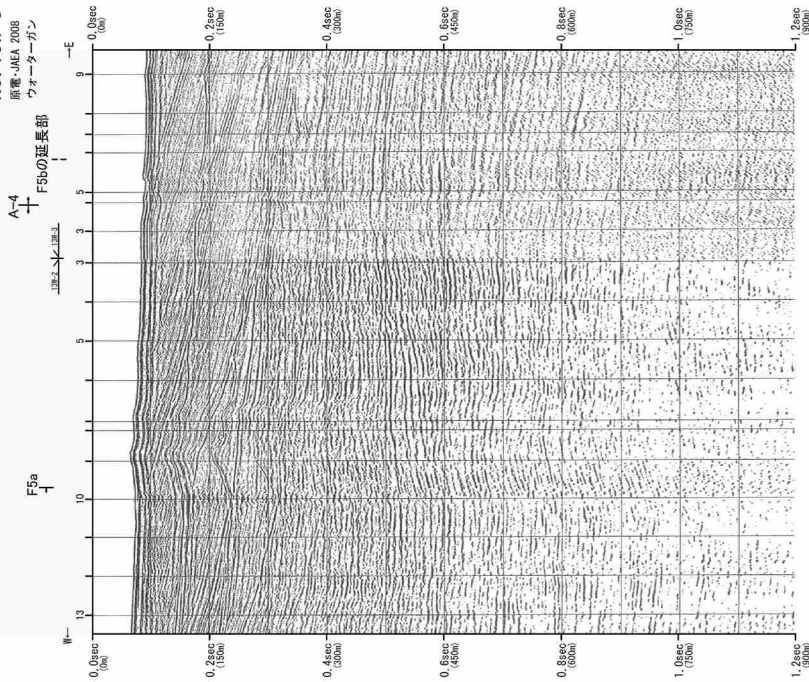
* 断層マーカーは距離の正確さを100%として表示した。



第 3.2.167 図(9) F1e 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.9A)

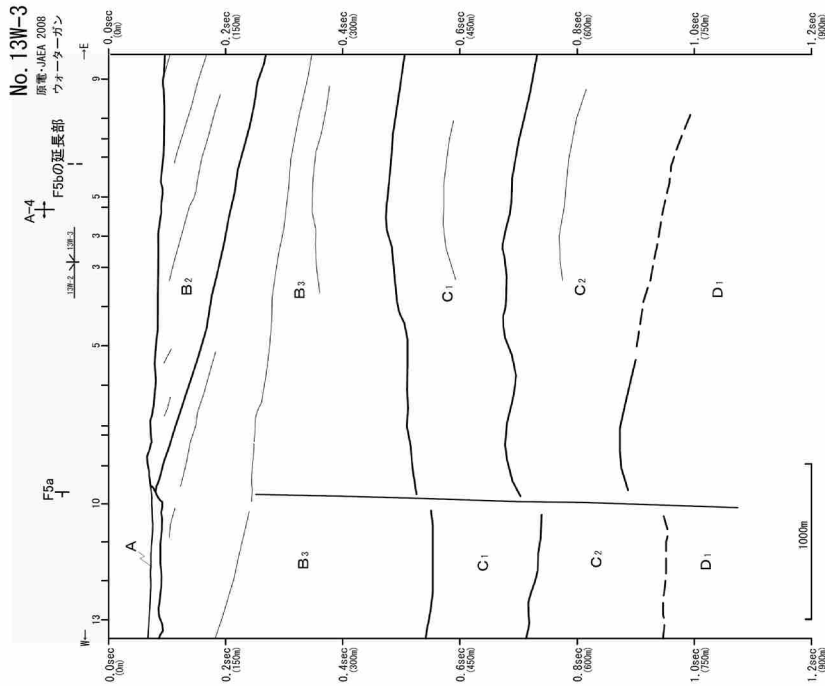
No. 13W-3

原電-JAEA 2008
ウォーターガン



No. 13W-3

原電-JAEA 2008
ウォーターガン



凡 例

F12 断層及び断層番号
F12 拗曲及び拗曲番号
F12延長部 断層または拗曲の延長位置
A-1 背斜及び背斜番号

凡 例

A層 完新統
B1層 上部更新統
B2層 中部更新統
B3層 下部更新統
C1層 鮮新統
D1層 中新統
D2層 中新統
D3層 中新統
E層 先中新統

断層
地層境界
推定地層境界

V.E. 5
4.0
4.10
4.20
4.30
4.40
4.50
4.6
4.7
4.8
4.9
5.0
5.1
5.2
5.3
5.4
5.5
5.6
5.7
5.8
5.9
6.0
6.1
6.2
6.3
6.4
6.5
6.6
6.7
6.8
6.9
7.0
7.1
7.2
7.3
7.4
7.5
7.6
7.7
7.8
7.9
8.0
8.1
8.2
8.3
8.4
8.5
8.6
8.7
8.8
8.9
9.0
9.1
9.2
9.3
9.4
9.5
9.6
9.7
9.8
9.9
10.0
10.1
10.2
10.3
10.4
10.5
10.6
10.7
10.8
10.9
11.0
11.1
11.2
11.3
11.4
11.5
11.6
11.7
11.8
11.9
12.0
12.1
12.2
12.3
12.4
12.5
12.6
12.7
12.8
12.9
13.0

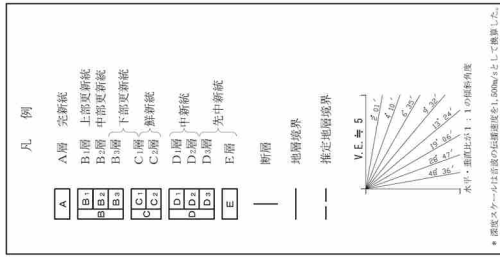
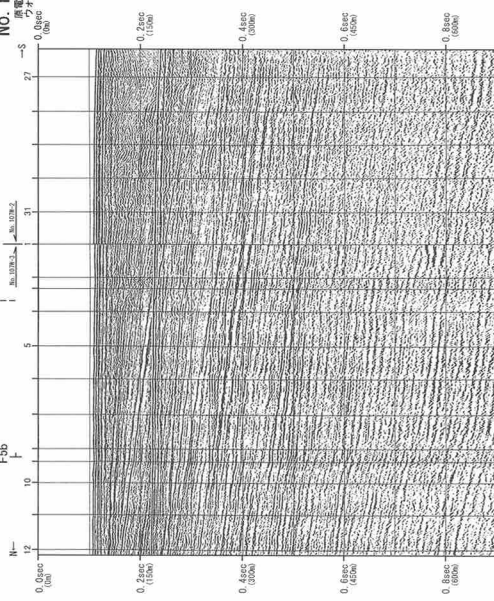
* 傾度スケールは首波の伝播速度を1500m/sとして換算した。
水平・垂直比が1:1の傾斜角度

第 3.2.168 図 F 5 a 断層, A-4 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.13W-3)

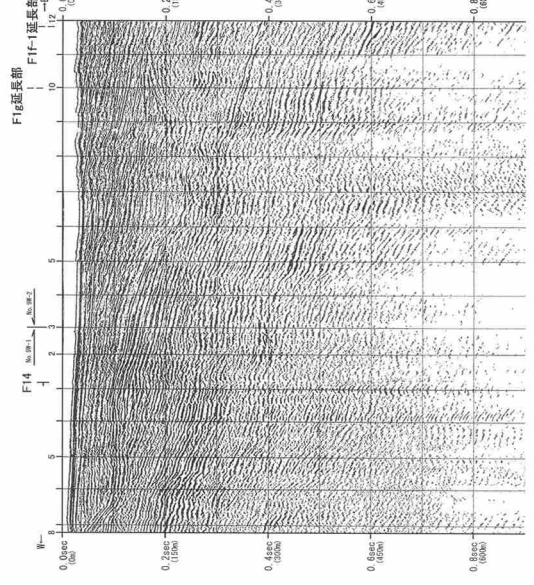
No. 107W-3

F5b延長部

高層-JAEA 2008
ウチターゲ



No. 9W-1
原簿: JGA, 2008
ウォーターガン



凡例

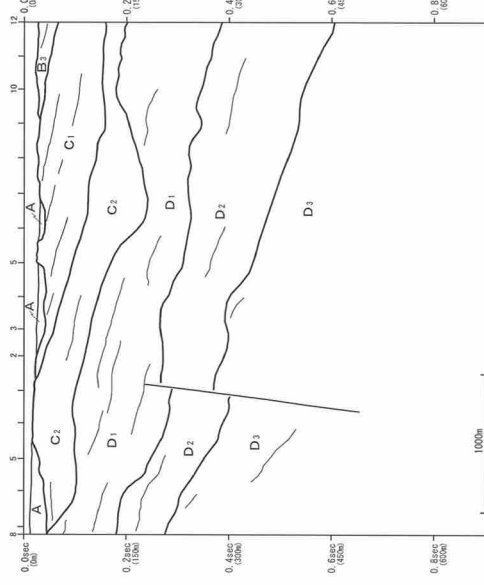
- F12 断層及び断層番号
- f12 断層及び断層番号
- f1 断層及び断層番号
- F12延長部 断層または断層の延長位置

凡例

- A層 完新統
- B1層 上部更新統
- B2層 中部更新統
- B3層 下部更新統
- C1層 新第三統
- D1層 中新統
- D2層 中新統
- D3層 中新統
- E層 先中新統
- 断層
- 地層境界
- 推定地層境界

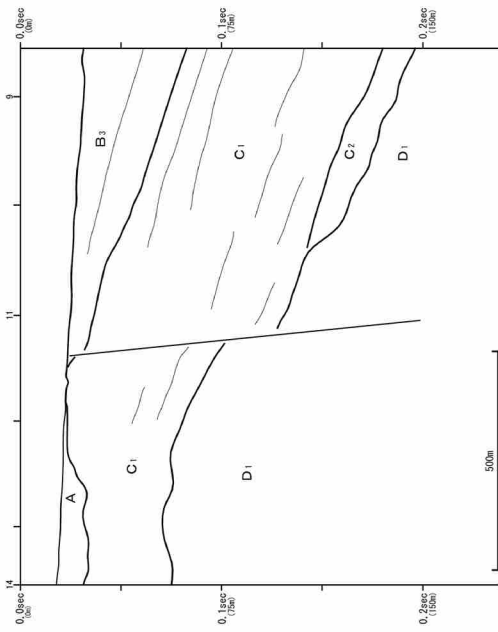
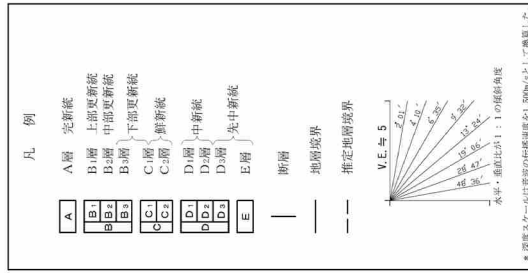
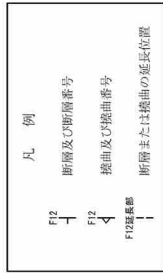
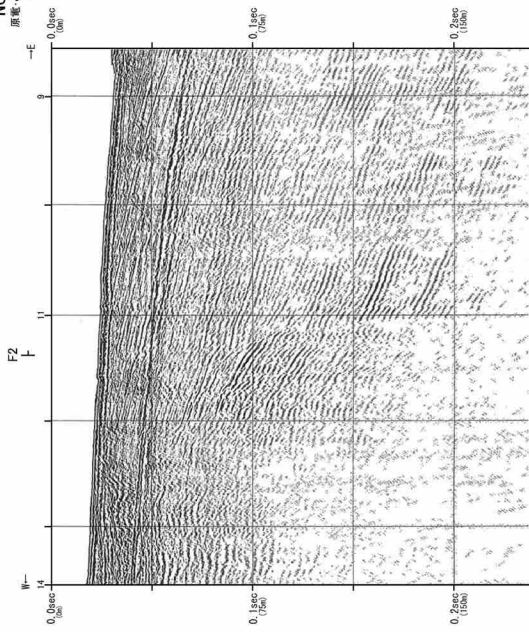
V.E. 年 5
 5000
4000
3000
2000
1000
0

※ 深度スケールは首原の任層速度を1.50km/sとして計算した。
 水平・垂直比が1:1の縮尺内度



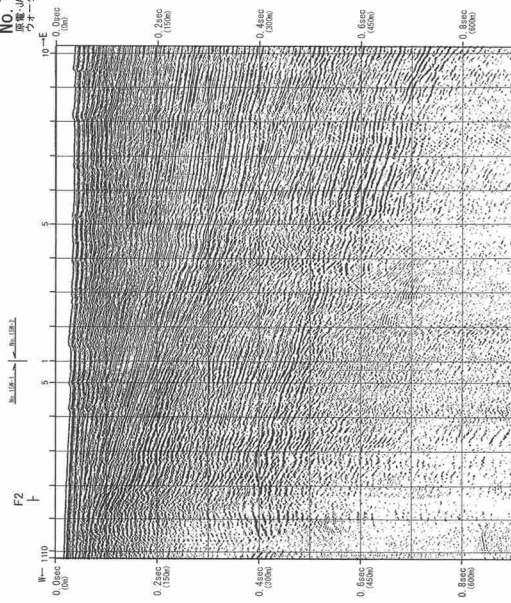
第3.2.170図 F14断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.9W-1)

No. 46n
 原標: A-1007
 フォトタイプ



第 3.2.171 図(1) F 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.46n)

No. 15W-1
 図 3.2.171 (2)
 ウォーターガン



凡 例

F12 断層及び階層番号
 F12 接曲及び拗曲番号
 F12 階層部
 F12 断層部

断層または接曲の延長位置

凡 例

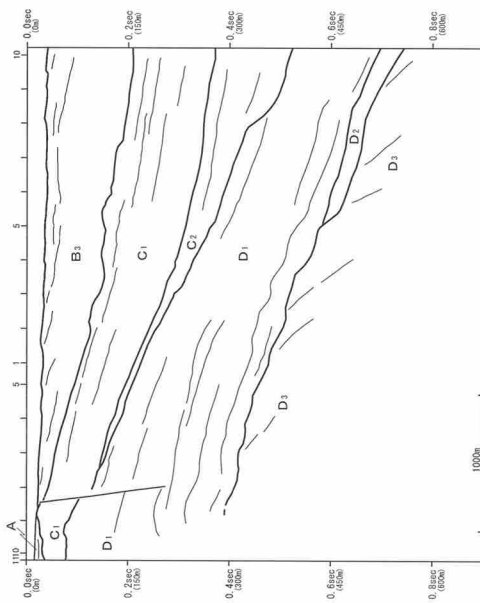
A 層 完新統
 B1層 上部更新統
 B2層 中部更新統
 B3層 下部更新統
 C1層 鮮新統
 C2層 }
 D1層 中新統
 D2層 中新統
 D3層 } 中新統
 E 層 先中新統

断層
 階層境界
 推定階層境界

V.E. 層 5
 47°
 46°
 45°
 44°
 43°
 42°
 41°
 40°
 39°
 38°
 37°
 36°
 35°
 34°
 33°
 32°
 31°
 30°
 29°
 28°
 27°
 26°
 25°
 24°
 23°
 22°
 21°
 20°
 19°
 18°
 17°
 16°
 15°
 14°
 13°
 12°
 11°
 10°
 9°
 8°
 7°
 6°
 5°
 4°
 3°
 2°
 1°
 0°

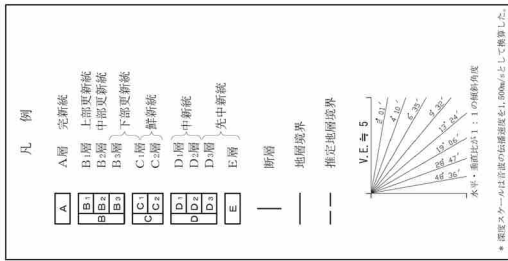
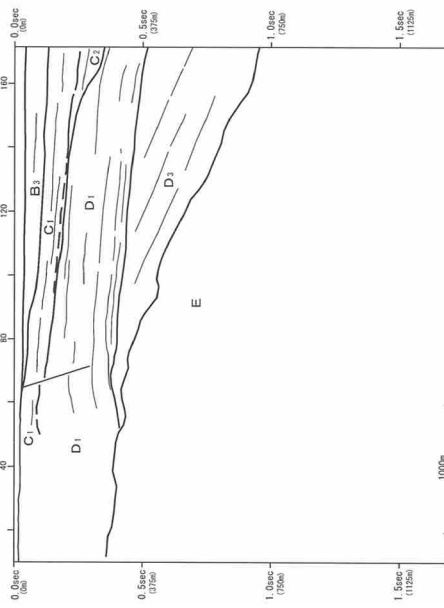
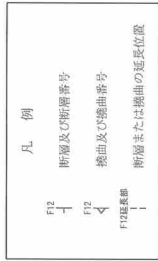
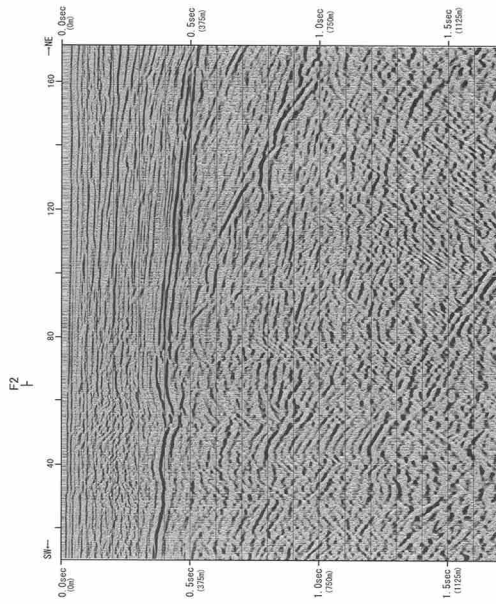
水平・垂直比が1:1の傾斜角度

* 断層スケールは訂後の右傾角を1:1000mとして換算した。

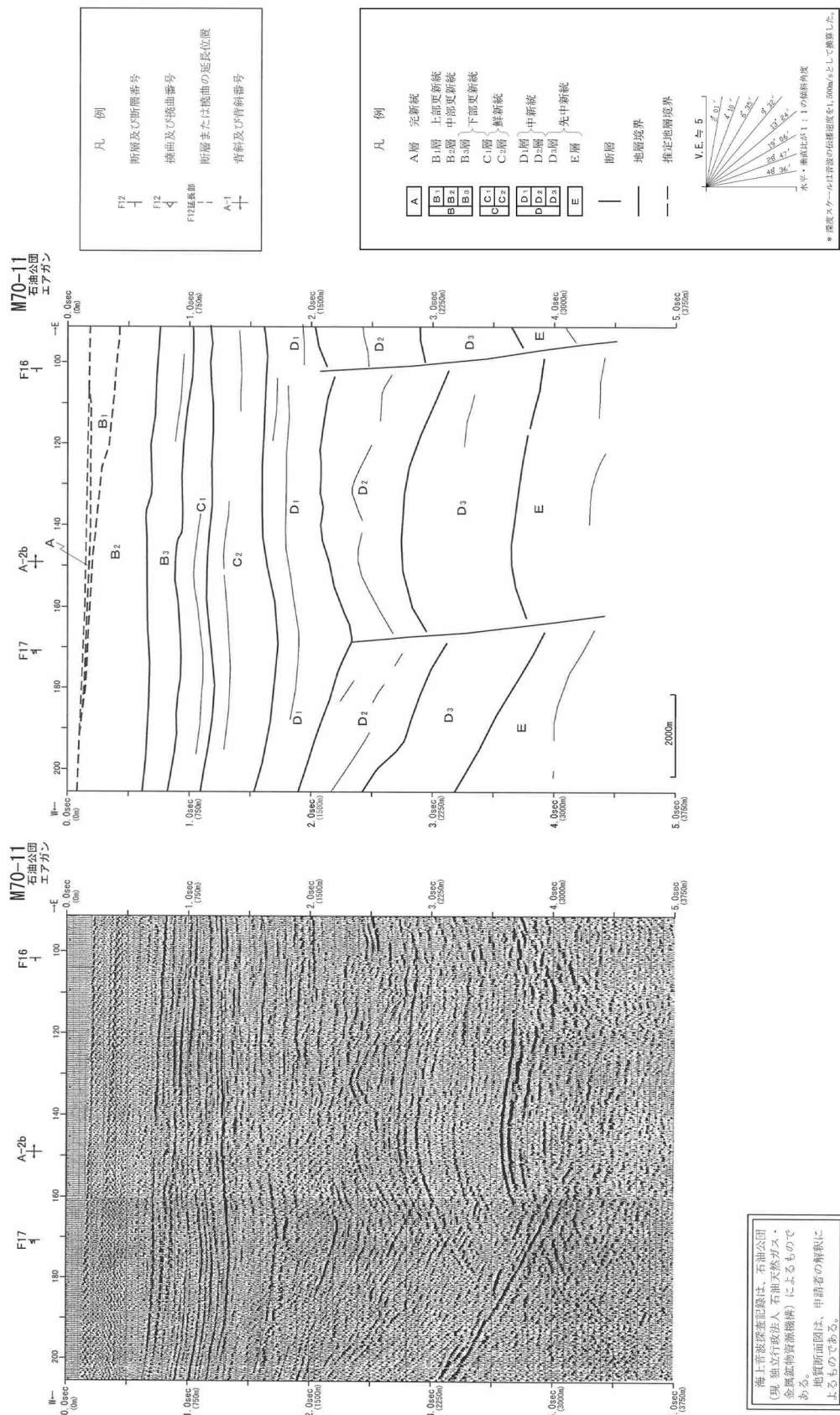


第 3.2.171 図 (2) F 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.15W-1)

No. HA
JEA 2008
エアガン



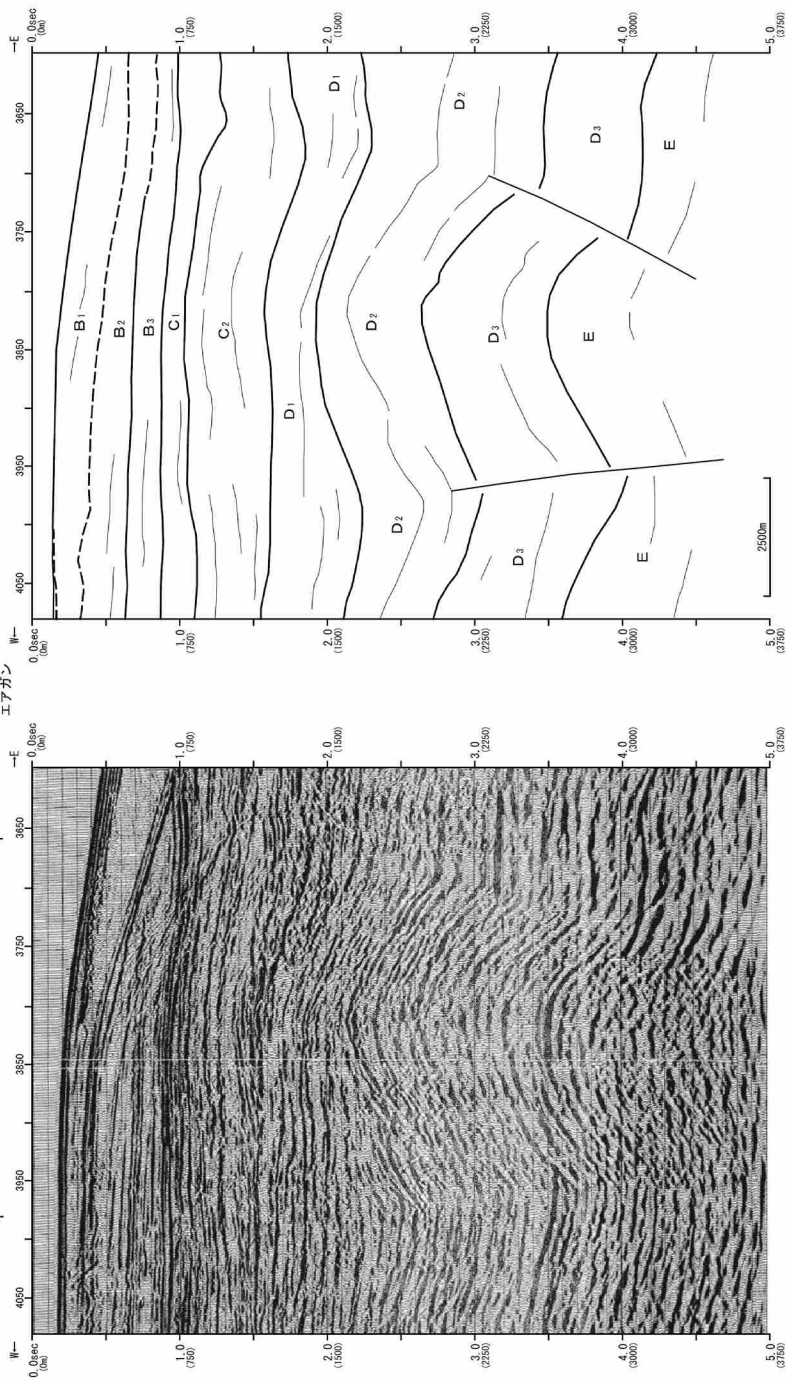
第3.2.171図(3) F2断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.HA)



第 3. 2. 173 図 A-2 b 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M70-11)

M86-14-2
石油公団(1986)
エアガン

M86-14-2
石油公団(1986)
エアガン



凡例

F12 断層及び断層番号
F2 断層及び褶曲番号
F12基線部 断層または褶曲の延長位置
A-1 背斜及び背斜番号

凡例

A層 完新統
B1層 上部更新統
B2層 中部更新統
B3層 下部更新統
C1層 鮮新統
C2層 鮮新統
D1層 中新統
D2層 中新統
D3層 中新統
E層 先中新統

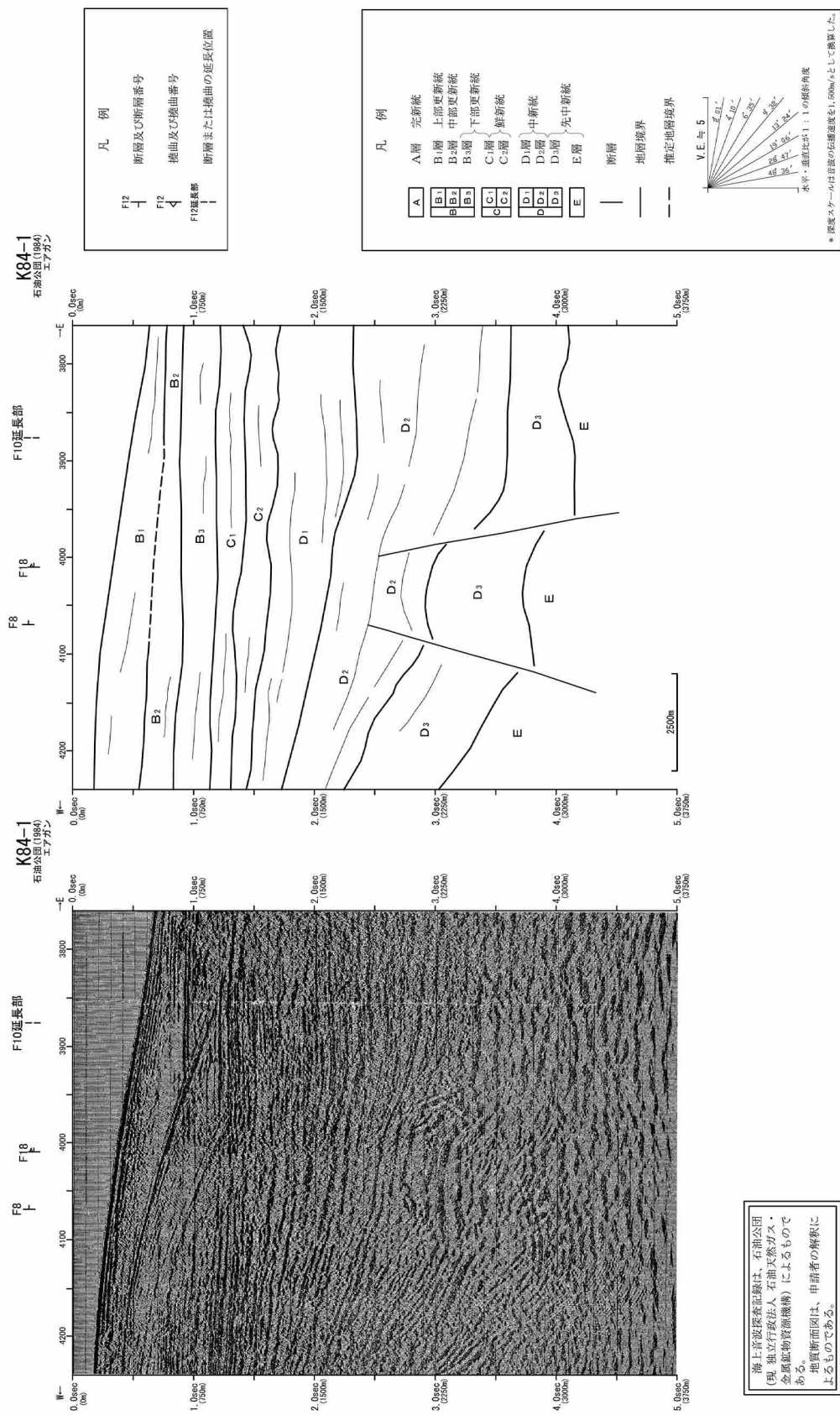
断層
断層境界
推定断層境界

V.E. 与 5
10°
15°
20°
25°
30°
35°
40°
45°
50°
55°
60°
65°
70°
75°
80°
85°
90°
95°
100°
105°
110°
115°
120°
125°
130°
135°
140°
145°
150°
155°
160°
165°
170°
175°
180°
185°
190°
195°
200°
205°
210°
215°
220°
225°
230°
235°
240°
245°
250°
255°
260°
265°
270°
275°
280°
285°
290°
295°
300°
305°
310°
315°
320°
325°
330°
335°
340°
345°
350°
355°
360°
365°
370°
375°
380°
385°
390°
395°
400°
405°
410°
415°
420°
425°
430°
435°
440°
445°
450°
455°
460°
465°
470°
475°
480°
485°
490°
495°
500°
505°
510°
515°
520°
525°
530°
535°
540°
545°
550°
555°
560°
565°
570°
575°
580°
585°
590°
595°
600°
605°
610°
615°
620°
625°
630°
635°
640°
645°
650°
655°
660°
665°
670°
675°
680°
685°
690°
695°
700°
705°
710°
715°
720°
725°
730°
735°
740°
745°
750°
755°
760°
765°
770°
775°
780°
785°
790°
795°
800°
805°
810°
815°
820°
825°
830°
835°
840°
845°
850°
855°
860°
865°
870°
875°
880°
885°
890°
895°
900°
905°
910°
915°
920°
925°
930°
935°
940°
945°
950°
955°
960°
965°
970°
975°
980°
985°
990°
995°
1000°

水平・垂直比が1:1の傾斜角度
* 傾度スケールは傾度の傾斜角度を1.500%として換算した。

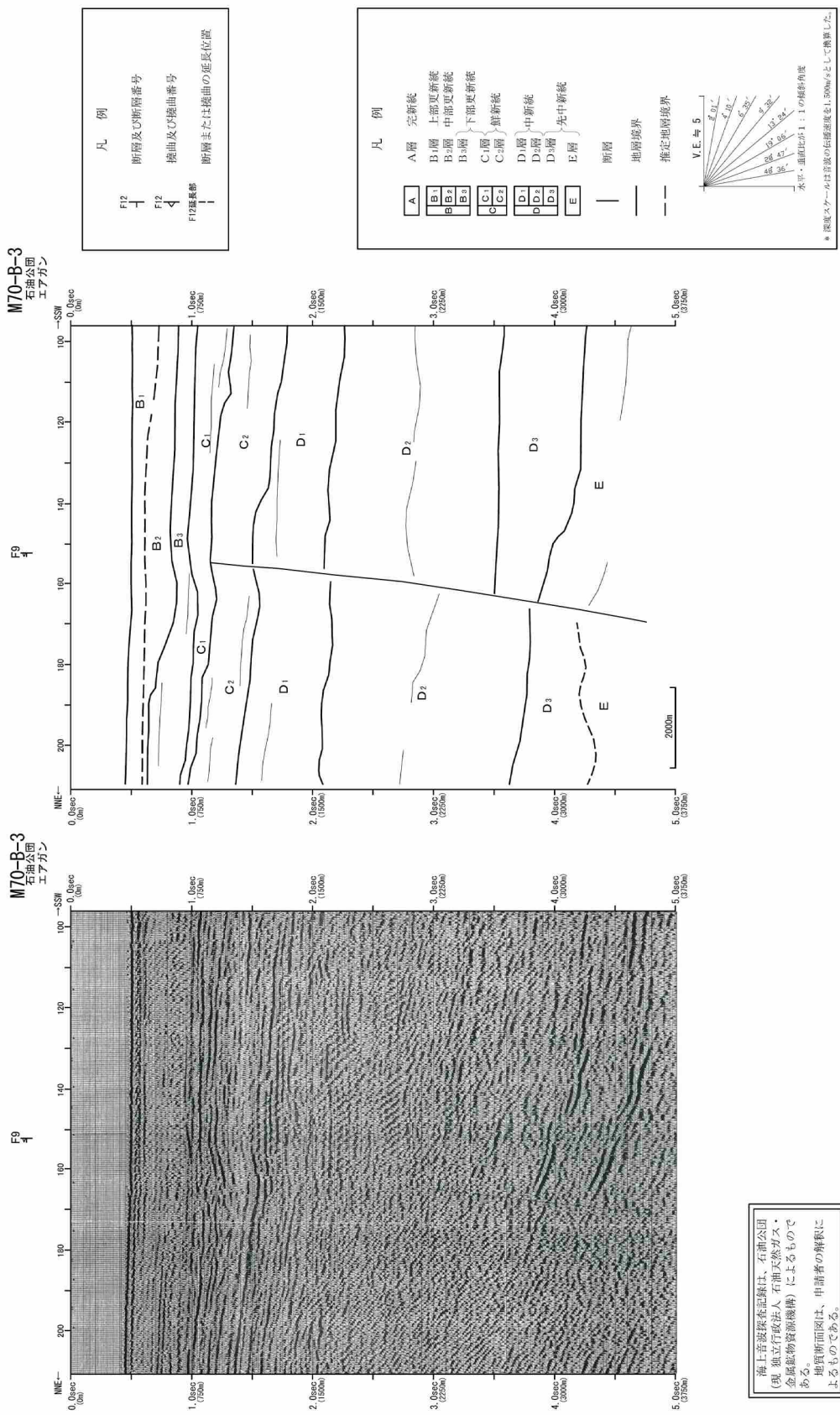
海上音波探査記録は、石油公団(現 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)によるものである。地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

第3.2.174 図 F 8断層, F 1 6断層, A - 1 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M86-14-2)



第 3. 2. 175 図 F 1 8 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (K84-1)

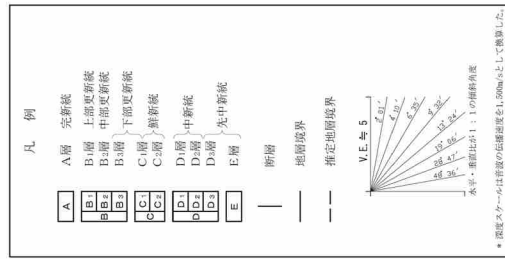
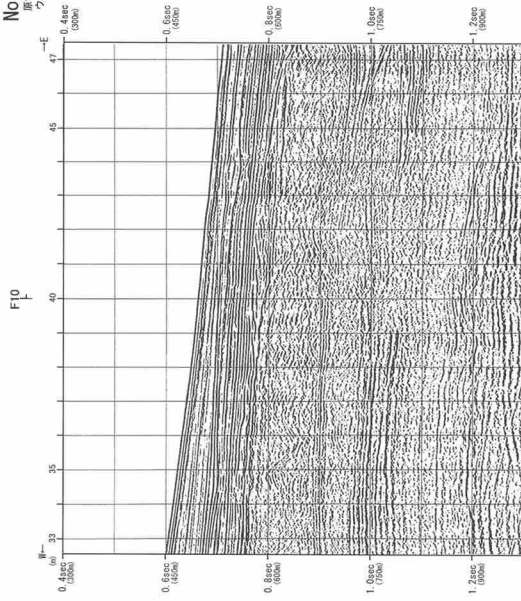
海上音波探査記録は、石油公社 (現 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構) によるものである。地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



第 3.2.176 図 F 9 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M70-B-3)

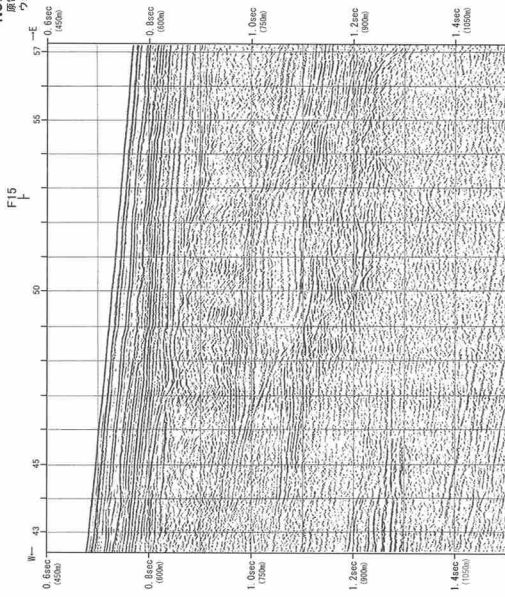
海上音波探査記録は、石油公社
(現 独立行政法人 石油天然ガス・
金属鉱物資源機構) によるもので
ある。地質断面図は、申請者の解釈に
よるものである。

No. 17W-5
原電・JEA, 2008
ウオーターガン



第 3.2.177 図 F10 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.17W-5)

No. 17W-5
 原電-JNEA 2008
 フォトターガン



凡 例

- F12 断層及び断層番号
- F13 接曲及び接曲番号
- F14 断層または接曲の延長位置

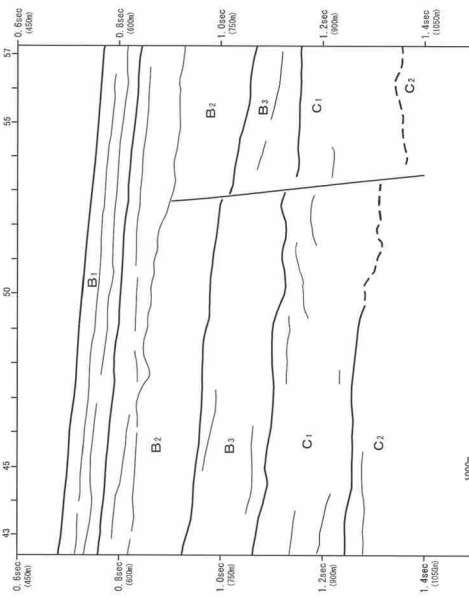
凡 例

- A層 安新統
- B₁層 上部更新統
- B₂層 中部更新統
- B₃層 下部更新統
- C₁層 中新統
- C₂層 中新統
- C₃層 中新統
- D₁層 中新統
- D₂層 中新統
- D₃層 中新統
- E層 先中新統

— 断層
 --- 地層境界
 - - - 推定地層境界

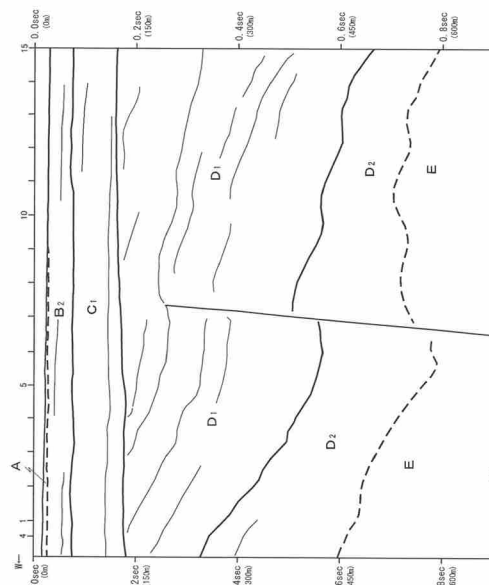
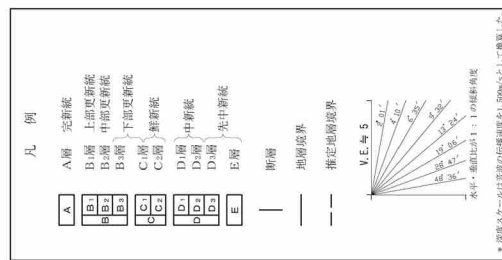
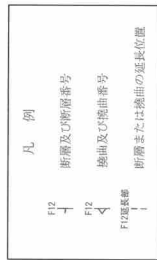
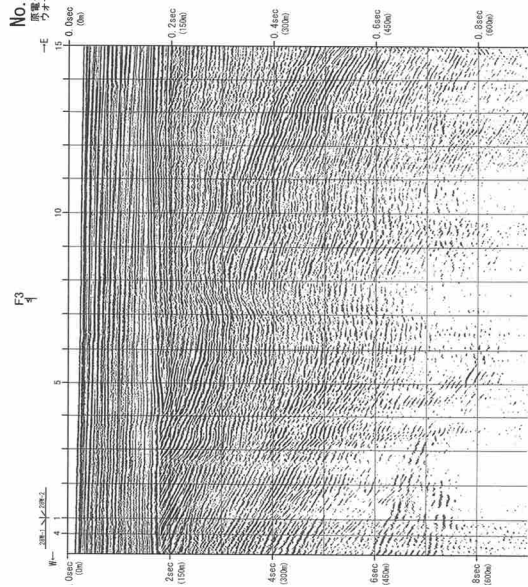
V.E. No. 5
 水平・垂直比が1:1の傾斜角度

※ 断層スケールは首段の傾斜角度を1:300として換算した。



第 3.2.178 図 F 1 5 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.17W-5)

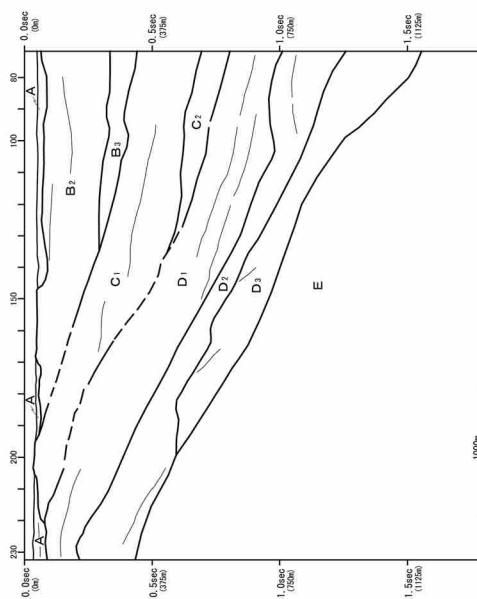
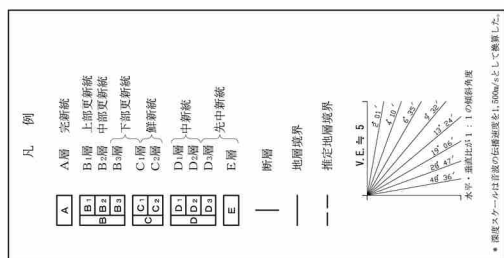
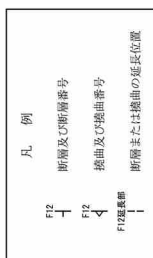
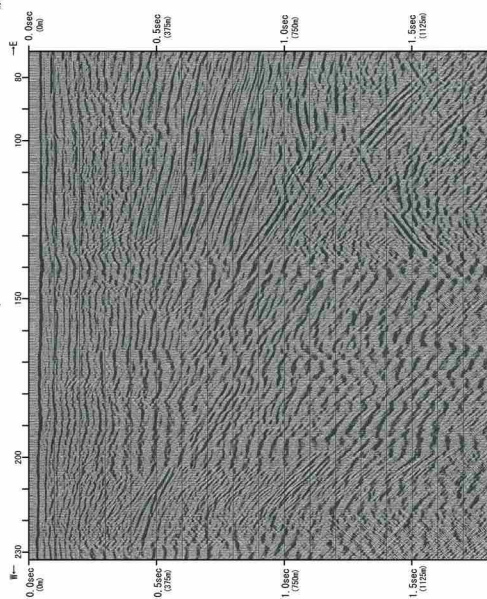
No. 28W-2
 調査: JNEA 2008
 ナウターガン



第 3.2.179 図(3) F 3 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.28W-2)

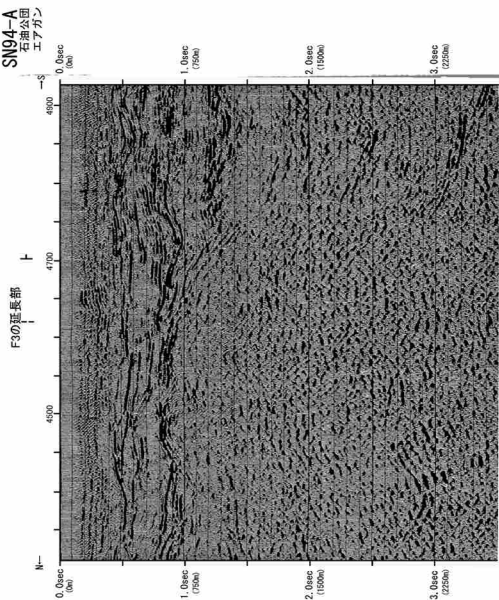
No. 23A-2
原震: MEA 2008
エアガン

F3延長部



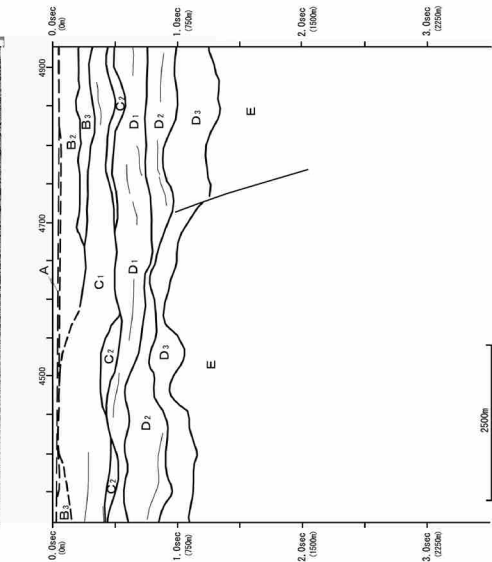
第 3. 2. 179 図(4) F 3 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.23A-2)

SN94-A
石油公団
エフカン



凡 例
 断層及び断層番号
 断層番号
 断層番号
 断層または断層の延長位置

海上音波探査記録は、石油公団
 (現 独立行政法人 石油天然ガス・
 金属鉱物資源機構) によるもので
 ある。
 地質断面図は、申請者の解釈に
 よるものである。

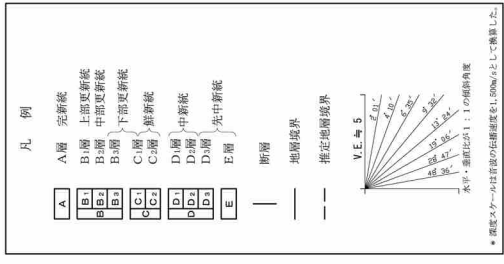
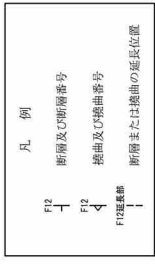
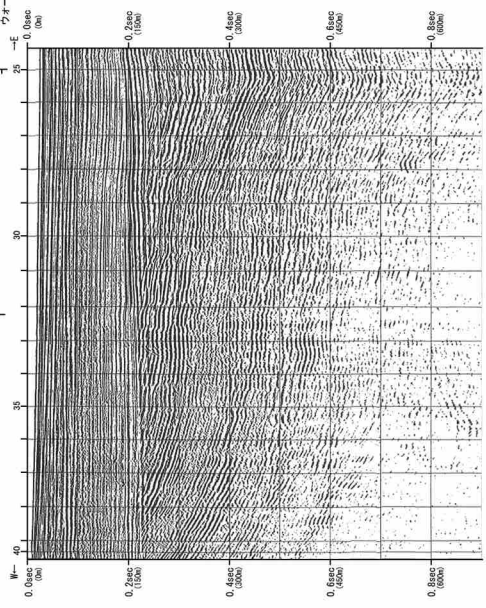


凡 例
 A層 突新統
 B1層 上部突新統
 B2層 中部突新統
 B3層 下部突新統
 C層 新新統
 D1層 中新統
 D2層 中新統
 D3層 中新統
 E層 先中新統
 断層
 地層境界
 推定地層境界
 本図は、断面比が1:1の傾斜角度
 * 傾斜スケールは首尾の傾斜角を1:1.50m/mとして換算した。

第 3. 2. 179 図 (5) F 3 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (SN94-A)

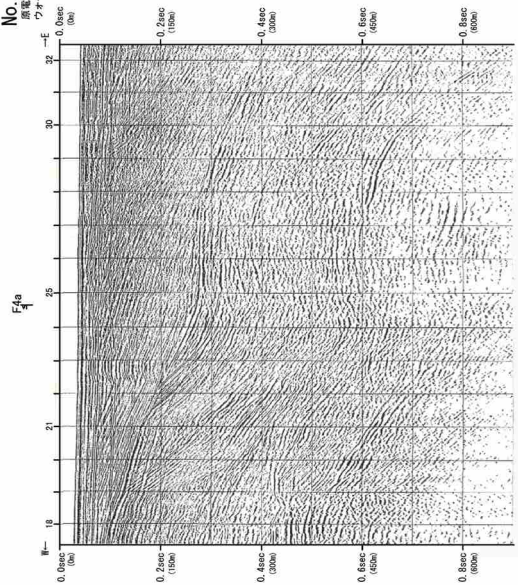
F4b-2 No. 29W-1
F4a-1 原案 JEA 2008
F4a-1 フォーダーガン

F3断長部

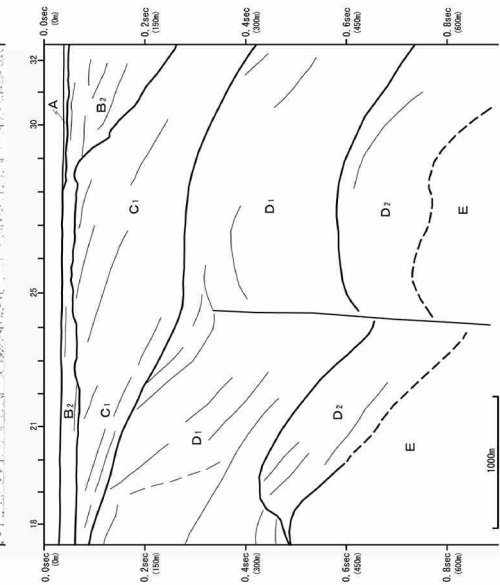


第 3. 2. 179 図 (6) F 3 断層南側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.29W-1)

No. 26W-2
F4a
F4a



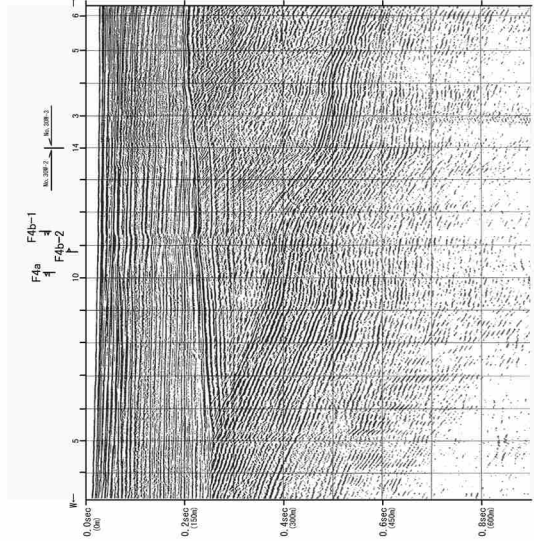
凡例
 F1Z 断層及び断層番号
 F2Z 拗曲及び拗曲番号
 F1Z延長部 断層または拗曲の延長位置



凡例
 A層 変新統
 B層 上部更新統
 B1層 中部更新統
 B2層 下部更新統
 C層 新新統
 D層 中新統
 D1層 中層
 D2層 先中新統
 E層
 断層
 地層境界
 指定地層境界
 VE 5
 傾斜角
 本図・断面は1:1の傾斜角
 * 断面スケールは指定の地層厚さを1.0kmとして換算した。

第 3.2.180 図(1) F 4 a 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.26W-2)

No. 30W-2
 震度計 200
 カリフォルニア型



凡 例

F4b 断層及び断層番号
 F4b-1 断層及び断層番号
 F4b-2 断層及び断層番号
 F4e 断層番号
 断層または断層の延長位置

凡 例

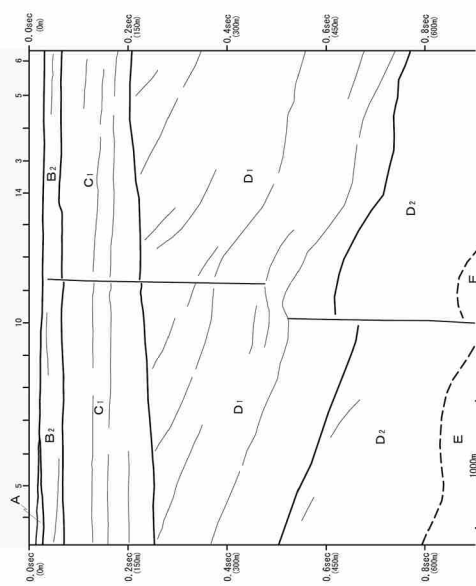
A 層 完新統
 B1層 上部更新統
 B2層 中部更新統
 B3層 下部更新統
 C1層 鮮新統
 D1層 中新統
 D2層 中新統
 D3層 中新統
 E層 先中新統

断層
 断層境界
 推定断層境界

V E 層 5
 P21
 P20
 P19
 P18
 P17
 P16
 P15
 P14
 P13
 P12
 P11
 P10
 P9
 P8
 P7
 P6
 P5
 P4
 P3
 P2
 P1

水平・傾斜比が1:1の傾斜角度

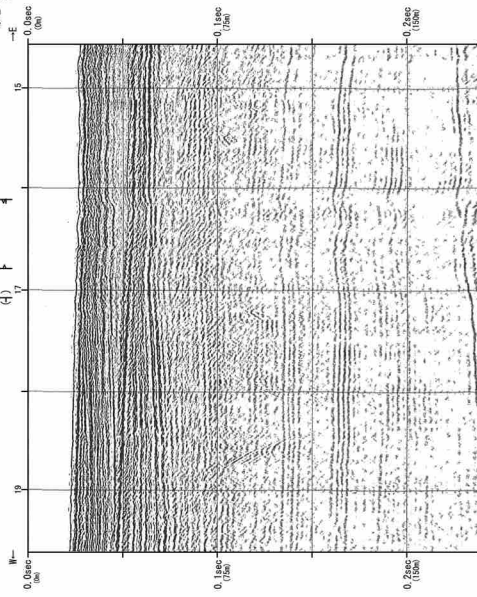
* 震度スケールは官設の傾斜角度を1,500m/sとして換算した。



第 3.2.180 図 (2) F 4 b - 1 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.30W-2)

No. 30G
調査: JMA, 2008

F4a F4b-2 F4b-1 F4c-1
(1) 1 2 3 4



凡 例

FZ 断層及び断層番号
1 断層番号
FZ 拗曲及び拗曲番号
4 拗曲番号
FZ 断層部 断層または拗曲の延長位置
| (1)は調査区域外に認められる断層

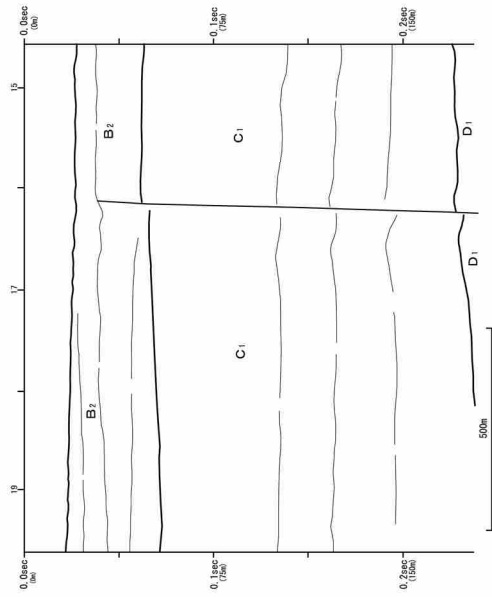
凡 例

A 層 元新統
B1層 上部更新統
B2層 中部更新統
B3層 下部更新統
C1層 漸新統
D1層 中新統
D2層 上新統
D3層 先中新統
E 層 先中新統

断層
地層境界
推定地層境界

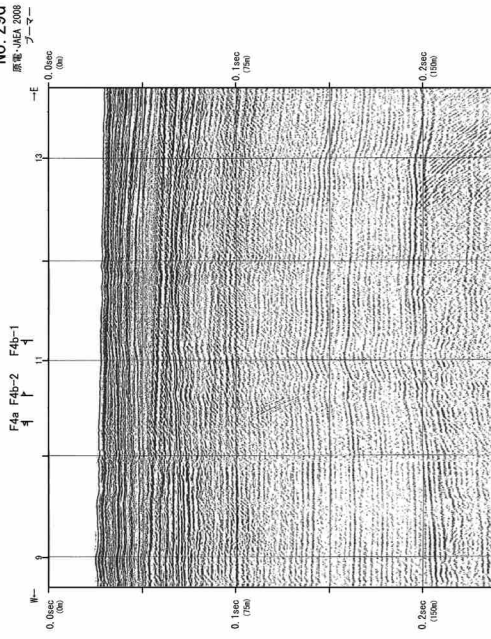
V.E. 5
V.D. 1
V.C. 2
V.B. 3
V.A. 4
V. 5

水中・距離比が 1 : 1 の傾斜角度
* 断層スケールは首尾の傾斜角度を 1:500m として換算した。



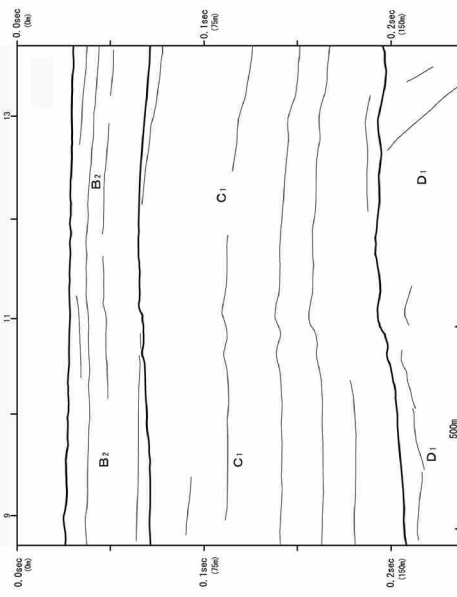
第 3.2.180 図 (3) F 4 b - 1 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.30G)

No. 29G
原簿:MEA 2008
シーケン



凡例

F2 断層及び断層番号
F2 拗曲及び拗曲番号
F2 断層部
断層または拗曲の延長位置



凡例

A 層 完新統
B1層 上部更新統
B2層 中部更新統
B3層 下部更新統
C1層 新新統
D1層 中新統
D2層 中新統
D3層 中新統
E 層 先中新統

断層
地層境界
推定地層境界

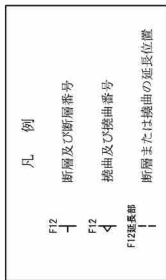
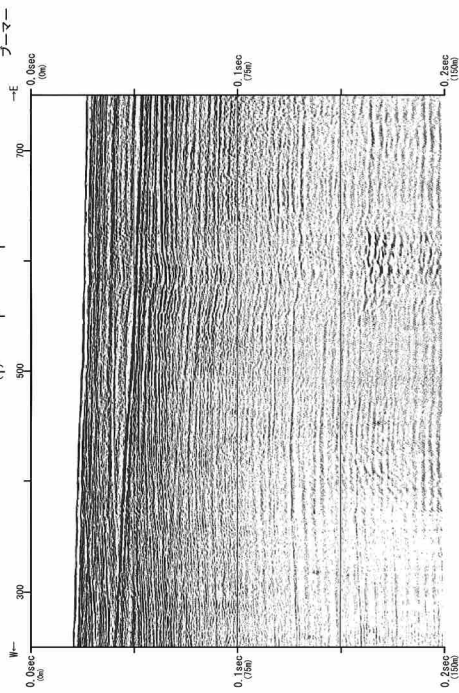
ME 号 E
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

本図・断面図は1:1の傾斜角で
* 深度スケールは上部の傾斜角を1:100%として換算した。

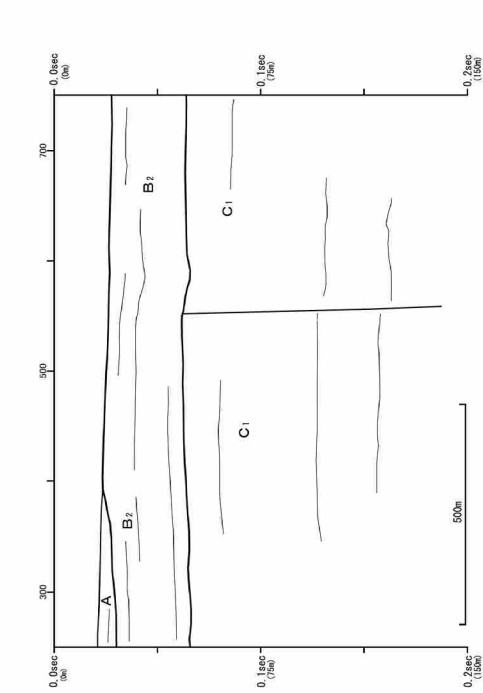
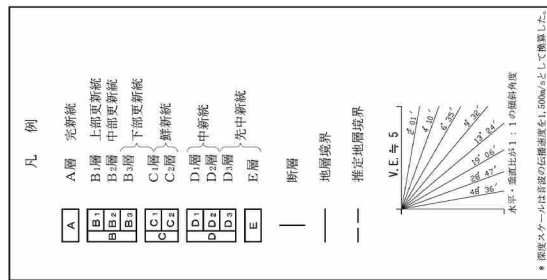
第 3.2.180 図(5) F 4 b - 1 断層北部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.29G)

No. 136S
JAEA (2008)

F4a F4b-2 F4b-1延長部
(1) プーマー

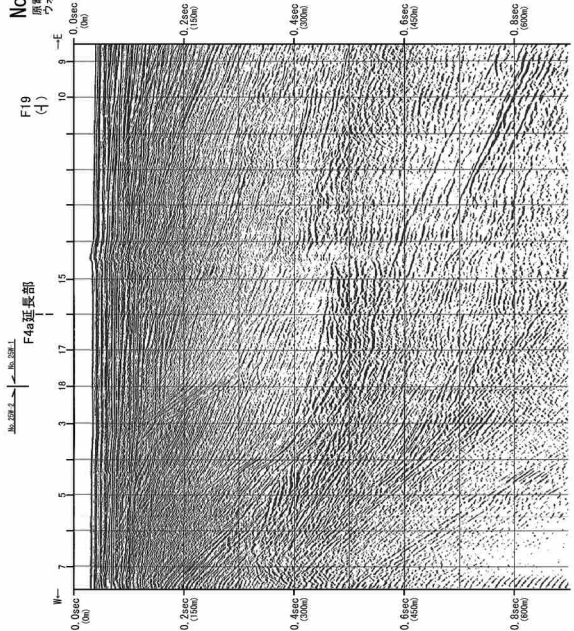


(1)は探査深度外に認められる断層



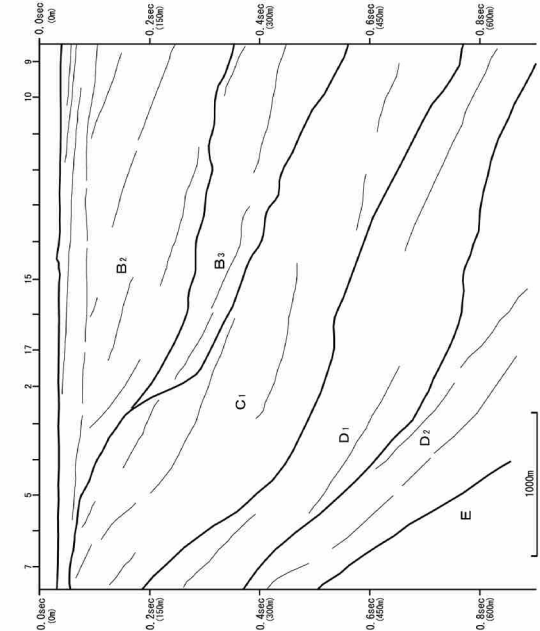
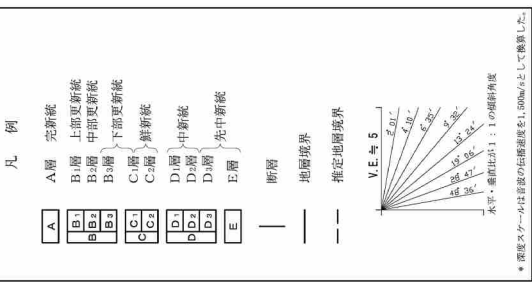
第3.2.180図(6) F4b-2断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.136S)

No. 25W-1
 原簿: JAEA 2008
 ワネーターガン



凡 例
 F12 断層及び断層番号
 F12 接曲及び接曲番号
 F12延長部 断層または接曲の延長位置

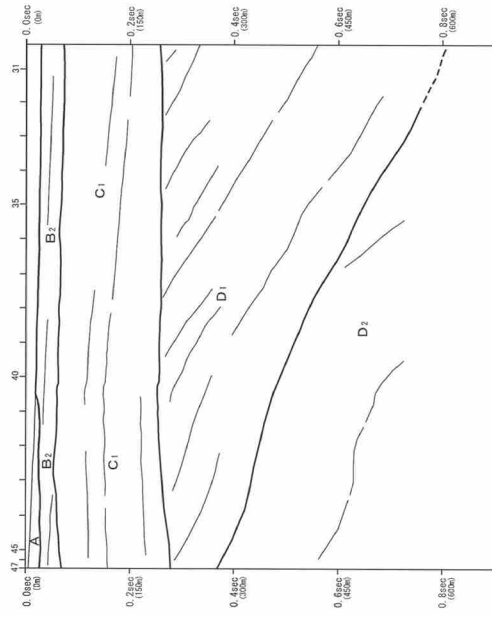
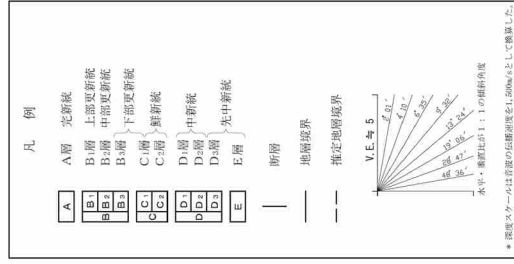
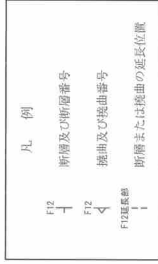
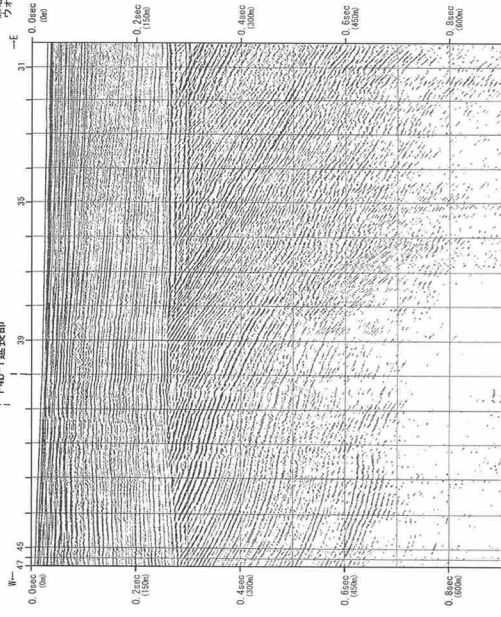
(1)は探査深度外に認められる断層



第 3. 2. 180 図 (7) F 4 a 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.25W-1, 2)

No. 31W-1
原電: JEA, 2008
フオーターガン

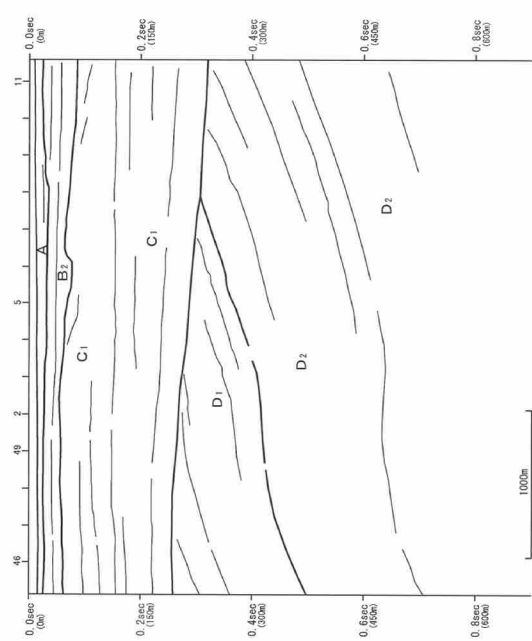
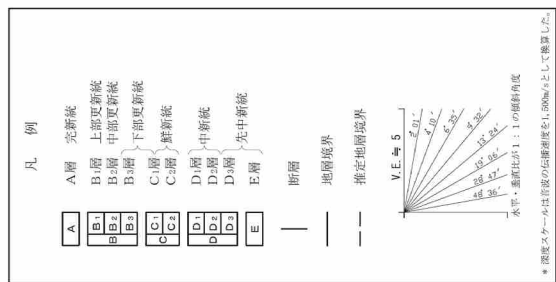
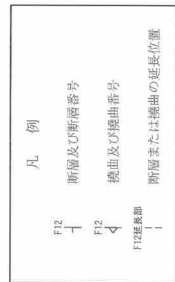
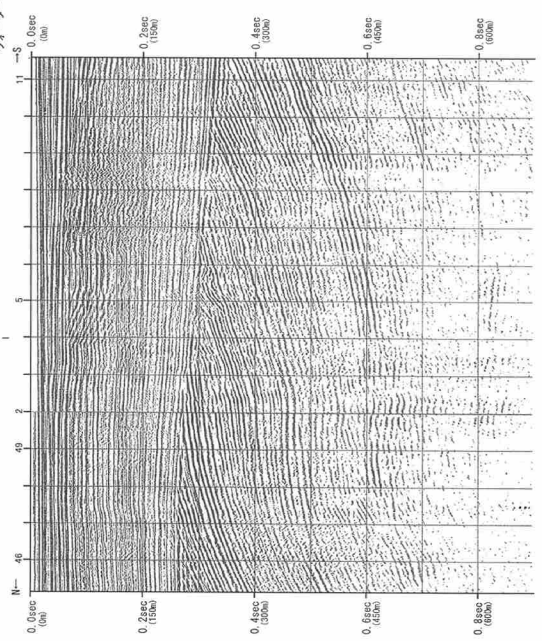
F4b断層部 F4b-2
F4b-1延長部



第 3. 2. 180 図 (8) F 4 b - 1 断層南側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.31W-1)

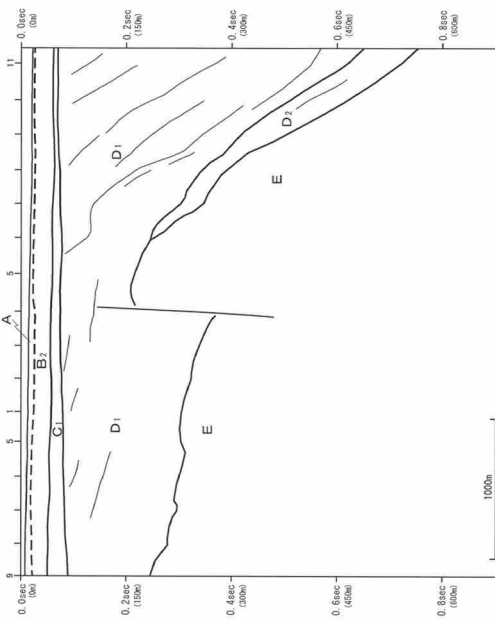
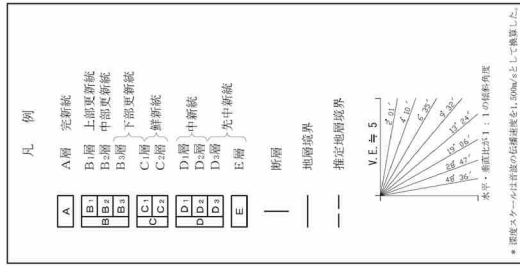
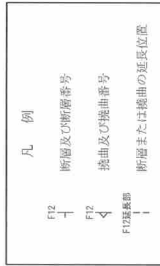
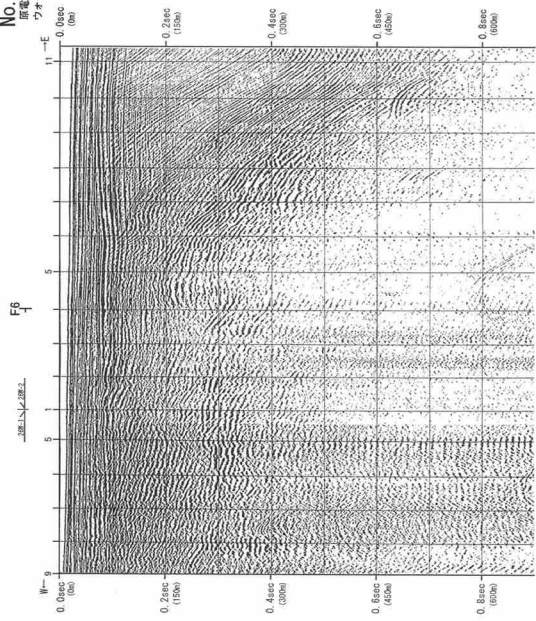
No. 112W-3
 原簿-JAEA 2008
 号子-ターファン

No. 112W-3
 F4b-2延長部



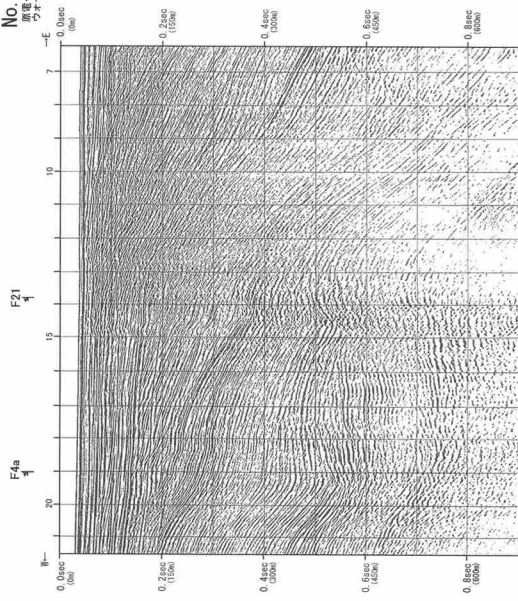
第 3. 2. 180 図 (9) F 4 b - 2 断層南側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.112W-3)

No. 26W-2
 原電 UGEA 2008
 ワオナーカーガン



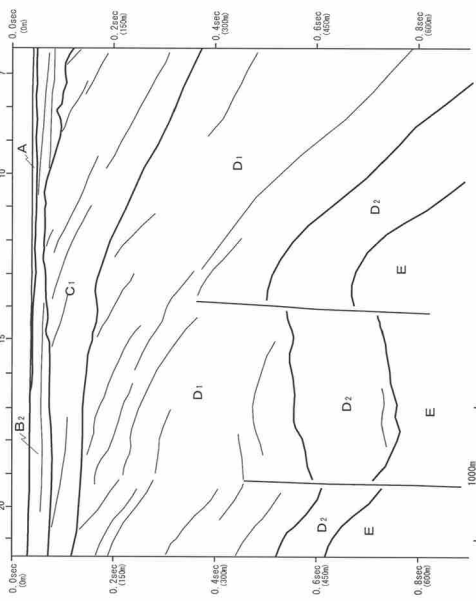
第 3. 2. 181 図 F 6 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.26W-2)

No. 27W-1
 原簿・原図 No. 2008
 ワークシート



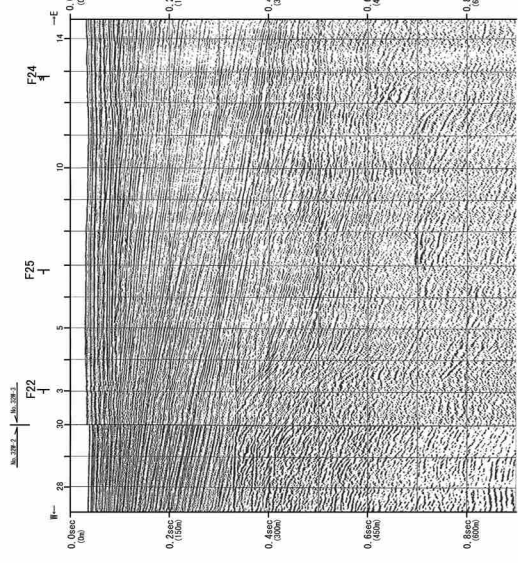
凡例
 F21 新層及び新層番号
 F20 接面及び地曲番号
 F20a 断層番号
 F20b 断層または接面の延長位置

凡例
 A層 完新統
 B1層 上部中新統
 B2層 中部中新統
 B3層 下部中新統
 C層 新新統
 D1層 中新統
 D2層 中新統
 D3層 中新統
 E層 先中新統
 断層
 地層境界
 推定地層境界
 V.E. 每 5
 水平・距離比が 1 : 1 の傾斜角度
 * 傾斜スケールは各層の傾斜度を 1:500m として換算した。



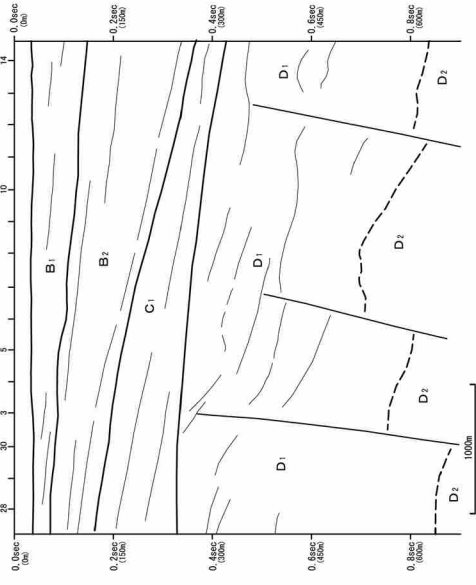
第 3.2.183 図 F 2 1 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.27W-1)

No. 32W-3
 断層-JGS 2000
 断層-メッシュ-ターザン



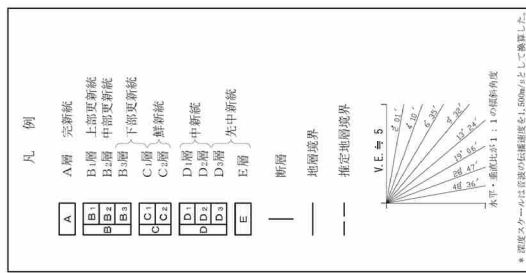
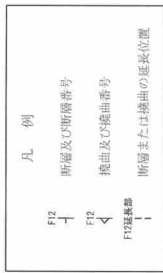
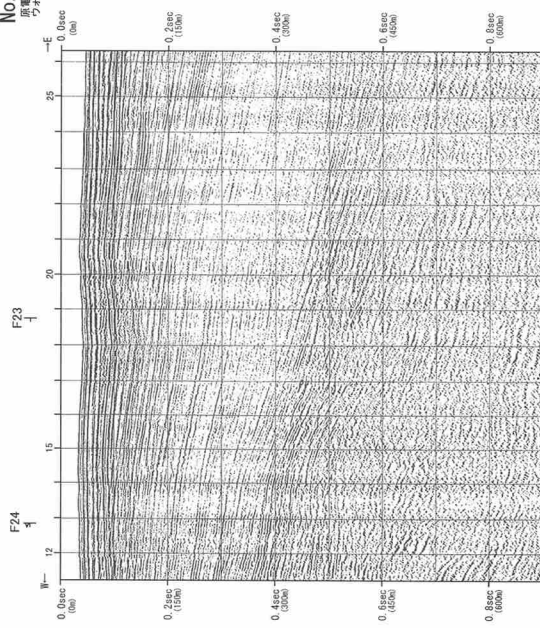
凡例
 F12 断層及び断層番号
 F2 拗曲及び拗曲番号
 F12 断層番号
 断層または拗曲の延長位置

凡例
 A層 先新統
 B1層 上部更新統
 B2層 中部更新統
 B3層 下部更新統
 C1層 礫層
 D1層 中新統
 D2層 旧第三紀
 D3層 先中新統
 E層
 断層
 地層境界
 推定地層境界
 V.E. 5
 傾斜角
 40°
 30°
 20°
 10°
 0°
 本図・断面比が 1 : 1 の傾斜角定



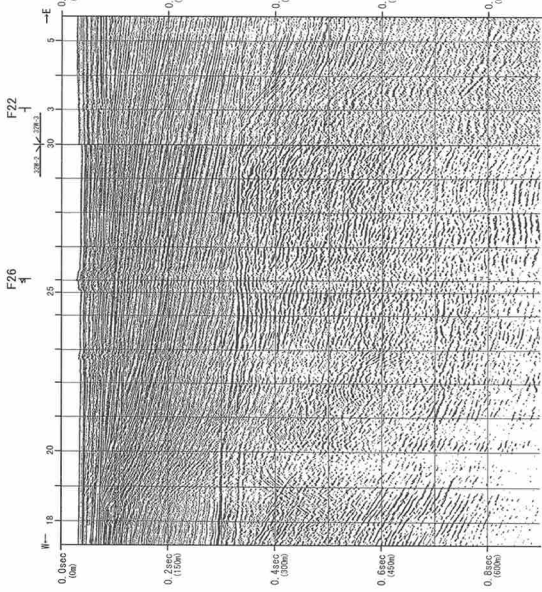
第 3.2.184 図 F 2 2 断層, F 2 4 断層, F 2 5 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-3)

No. 32W-3
原電: JME4. 2009
フラーマーガン



第 3.2.185 図 F 2 3 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-3)

No. 32W-2
 図集-JEA 2008
 フォーカシング



凡例

F12 断層及び断層番号
 F12 抽出及び抽出番号
 F12断層部 断層または抽出の延長位置

凡例

A層 完新統
 B1層 上部更新統
 B2層 中部更新統
 B3層 下部更新統
 C1層 新新統
 C2層 新新統
 D1層 中新統
 D2層 中新統
 D3層 中新統
 E層 先中新統

断層
 地層境界
 推定地層境界

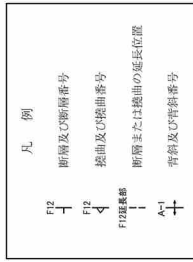
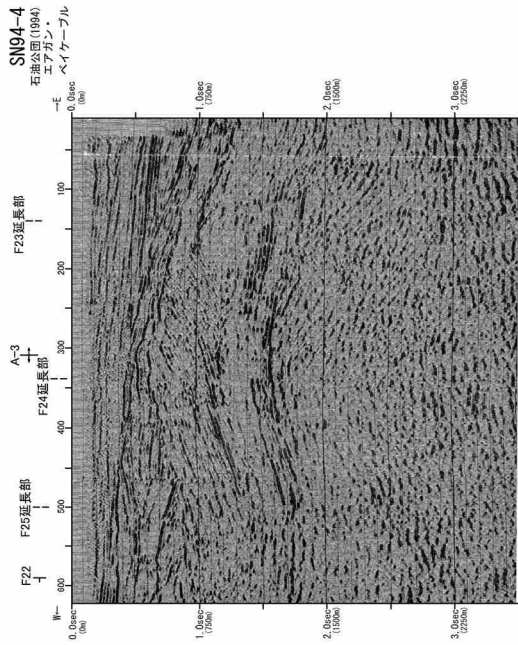
M.E. 号 5
 水平・垂直比が1:1の傾斜角度

* 図集スケールは各層の白濁度を1:1000として換算した。

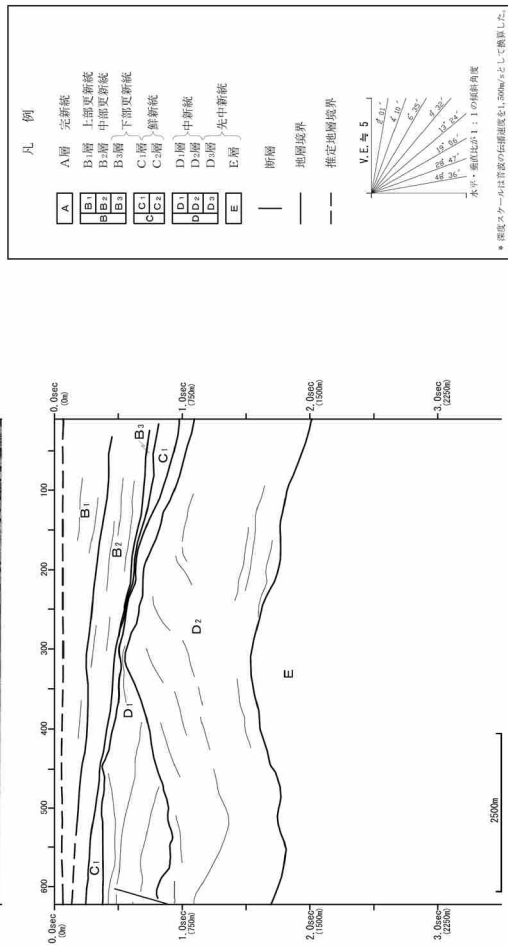


第 3.2.186 図 F 2 6 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-2)

SN94-4
石油公団(1994)
ベイカーブール



海上音波探査記録は、石油公団(現 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)によるものである。地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



第 3. 2. 187 図 A-3 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (SN94-4)